

れいわ ねんどだい かいよこはまししょうがいしゃし さくすいしんきょうぎかい
令和3年度第1回横浜市障害者施策推進協議会

にちじ れいわ ねん がつ にち すいようび
日時 令和3年6月30日（水曜日）

ごご じ ごご じ ふん
午後2時～午後3時30分

ばしょ よこはましちょうしゃ かい
場所 横浜市庁舎18階 みなと1・2・3

し だい
《次 第》

1 ^{かいかい} 開会

2 ^{けんこうふくしきよくちょう} 健康福祉局長あいさつ

3 ^{ぎだい} 議題

(1) ^{よこはまししょうがいしゃ} 横浜市障害者プラン^{しみんせつめいかい}市民説明会について

4 ^{ほうこくじこう} 報告事項

(1) ^{ようしきしょうがいしゃてちょう} カード様式障害者手帳^{こうふかいし}の交付開始について

5 ^{ほか} その他

れいわ ねんどだい きよこはまししょうがいしゃ しみんせつめいかい 令和3年度第4期横浜市障害者プラン市民説明会の かいさい 開催について

れいわ ねん がつ だい きよこはまししょうがいしゃ さくてい
令和3年3月に、第4期横浜市障害者プランを策定しました。

つきましては、だい きよこはまししょうがいしゃ ないようとう しみん みなさま つた せつめい
つきましては、第4期横浜市障害者プランの内容等を市民の皆様にお伝えする説明
かい かいさい
会を開催します。

かいさいがいよう 1 開催概要

(1) にちじ 日時

れいわ ねん がつ にち げつようび じ ふん じ ふん
令和3年7月19日(月曜日)10時30分～12時30分

(2) かいさいけいしき 開催形式

オンラインによる開催 (YouTube)

(3) せつめいないよう 説明内容

- だい きよこはまししょうがいしゃ ないよう
・第4期横浜市障害者プランの内容
- れいわ ねん ど ぐたいてきとりくみないよう
・令和3年度の具体的取組内容
- だい きよこはまししょうがいしゃ ねんじっせき
・第3期横浜市障害者プランの6か年実績

(4) どうじつ なが よてい 当日の流れ (予定)

- だい きよこはまししょうがいしゃ ないようおよ れいわ ねん ど ぐたいてきとりくみないよう せつめい
・第4期横浜市障害者プラン内容及び令和3年度具体的取組内容を説明します。
おんせい せつめい あ がめん せつめいしりょう じまく しゅわつうやく うつ
音声による説明に合わせ、画面には説明資料、字幕、手話通訳を映します。
- しちょうしゃ いけん ゆーちゅーぶ らん か こ しゅうやく
・視聴者の意見はYouTubeのコメント欄に書き込んでもらい、集約します。
- いけんこうかん じかん もう いただ たいおう がめんじょう せつめいしゃ
・意見交換の時間を設け、頂いたコメントに対応します。画面上には、説明者、
しゅわつうやくしゃ ようやくひっき も じじょうほう うつ こうどうせつめい おんせい なが
手話通訳者、要約筆記による文字情報を映し、口頭説明を音声として流します。
- だい きよこはまししょうがいしゃ ねんじっせき どうよう すず
・第3期横浜市障害者プランの6か年実績についても、同様に進めます。

せつめいしりょう 2 説明資料

しりょう
資料のとおり

た 3 その他

せつめいしりょう いけんこうかん ぎじろく ほうえい ないよう ろくが どうが どうじつと あ
説明資料、意見交換の議事録、放映した内容を録画した動画、当日取り上げられな
かったいけん かいとう せつめい ほんし けいさい
かった意見への回答・説明は、本市ホームページに掲載します。

れ い わ ね ん ど
令和3年度

だ い き よ こ は ま し し ょ う が い し ゃ
第4期横浜市障害者プラン

し み ん せ つ め い か い
市民説明会

障害者プラン策定の趣旨・位置づけ

【第1章】

横浜市障害者プランは本市の障害福祉施策に関する中長期的な計画であり、3つの法定計画を一体的に策定しています。

◆障害者計画(障害者基本法)…施策の方向性

◆障害福祉計画(障害者総合支援法)…サービスの見込み量

◆障害児福祉計画(児童福祉法)…サービスの見込み量

計画期間は6年間(R3～R8)ですが、「障害福祉計画」「障害児福祉計画」は3年間(法定)のため、令和5年度に改訂します。その際、社会情勢や新たなニーズを考慮し全体を見直します。

第4期障害者プランの構成

【第1章】

様々な施策・事業は、障害のある人が日常生活を送る上での視点に立ち
4つの「生活の場面」と全ての生活場面に共通する「様々な生活の場面を
支えるもの」の5つに分類しています。

◆様々な生活の場面を支えるもの

◆生活の場面1 住む・暮らす

◆生活の場面2 安全・安心

◆生活の場面3 育む・学ぶ

◆生活の場面4 働く・楽しむ

更に「地域生活支援拠点」「精神障害にも対応した地域包括ケアシステム」は、障害児者を支える基盤整備として別に章立てしています。

横浜市よこはましの障害福祉しょうがいふくしのあゆみ

だい しょう
【第2章】

きんねん うご 近年の動き

- ・ ① サービスは充足じゅうそくに向かい、市単独事業したんどくじぎょうも制度化せいどか（法定化ほうていか）へ。
- ・ ② 福祉ふくし・保健ほけん・医療いりょうなどの連携れんけいが重要化じゅうようか

ほんし しょうがいしさく たいせつ 本市が障害施策しょうがいしさくにおいて大切たいせつにしてきたこと

- ・ 障害しょうがいのある人ひとたちやその家族かぞく、支援者しえんしゃ、地域住民ちいきじゅうみんと行政ぎょうせいとが協力きょうりし合い、障害しょうがいのある人ひとたちが地域ちいきで自立じりつした生活せいかつを送るための施策しさくをともに考え、一緒かんがに進めていく姿勢いっしょすす しせい

しょうらい 将来にわたるあんしん施策

だい しょう
【第2章】

- ざいたくしんしんしょうがいしゃてあて しつてきてんかんさく えいち
・在宅心身障害者手当の質的転換策(H21～)
- こじんしきゅう てあて はいし ざいげん おやな あと せいかつ あん
・個人支給の手当を廃止し、それを財源に「親亡き後の生活の安心」「障害者の高齢化・重度化への対応」「地域生活のためのきめ細やかな支援」など様々な施策展開へ。
- ひじょう じゅうよう ふへんてき かんが かた
・非常に重要で、普遍的な考え方。
- じだい へんか おう しょうらい しさく ほんしつ み
・時代の変化に応じ、「将来にわたるあんしん施策」の本質を見失わず様々な事業に取り組む責務が行政にはある、と認識。

とうけいとうすい い しょうがいしゃてちようしょじしゃすう
統計等推移～障害者手帳所持者数

だい しょう
【第2章】

	えいち H26	えいち H27	えいち H28	えいち H29	えいち H30	えいち H31
しじんこう 市人口	3,712,170	3,725,042	3,728,124	3,731,706	3,741,317	3,753,771
しんたいしょうがいしゃ 身体障害者	99,120	99,199	99,356	99,361	99,515	99,732
ちてき しょうがいしゃ 知的障害者	25,447	26,712	27,958	29,409	30,822	32,281
せいしんしょうがいしゃ 精神障害者	28,285	30,225	32,249	34,578	36,901	39,232
てちようしょじしゃぜんたい 手帳所持者全体	152,852	156,136	159,563	163,348	167,238	171,245
しじんこう 市人口における てちようしょじしゃ わりあい 手帳所持者の割合	ばーせんと 4.12%	ばーせんと 4.10%	ばーせんと 4.28%	ばーせんと 4.38%	ばーせんと 4.47%	ばーせんと 4.56%

身体障害者手帳 障害種別推移

【第2章】

	えいち H26	えいち H27	えいち H28	えいち H29	えいち H30	えいち H31
しかくしょうがい 視覚障害	6,447	6,397	6,370	6,349	6,397	6,438
ちょうかく 聴覚・ へいこう きのう しょうがい 平衡機能障害	8,452	8,585	8,643	8,706	8,842	8,919
おんせい げんご 音声・言語・ そしゃく きのうしょうがい そしゃく機能障害	982	993	979	995	1,021	1,031
したい ふじゆう 肢体不自由	52,284	51,420	50,669	49,700	48,893	48,233
ないぶしょうがい 内部障害	30,955	31,804	32,695	33,611	34,362	35,111
けい 計	99,120	99,199	99,356	99,361	99,515	99,732

愛の手帳 障害程度別推移

【第2章】

	えいち H26	えいち H27	えいち H28	えいち H29	えいち H30	えいち H31
えー A 1	4,908	4,995	5,087	5,209	5,340	5,498
えー A 2	4,799	4,932	5,040	5,140	5,222	5,300
びー B 1	5,646	5,843	6,009	6,296	6,556	6,724
びー B 2	10,094	10,951	11,822	12,764	13,704	14,759
けい 計	25,447	26,712	27,958	29,409	30,822	32,281

せいしんしょうがいしゃ ほけんふくしてちょう とうけい
精神障害者保健福祉手帳 統計

だい しょう
【第2章】

	えいち H26	えいち H27	えいち H28	えいち H29	えいち H30	えいち H31
きゅう 1級	2,994	3,118	3,308	3,457	3,673	3,809
きゅう 2級	15,477	16,623	17,844	19,313	20,731	22,264
きゅう 3級	9,814	10,484	11,097	11,808	12,497	13,159
けい 計	28,285	30,225	32,249	34,578	36,901	39,232

	えいち H26	えいち H27	えいち H28	えいち H29	えいち H30	えいち H31
さい みまん 20歳未満	596 ぼーせんと 2.1%	727 ぼーせんと 2.4%	869 ぼーせんと 2.7%	1,021 ぼーせんと 3.0%	1,150 ぼーせんと 3.1%	1,341 ぼーせんと 3.4%
さい 20歳～	23,682 ぼーせんと	25,126 ぼーせんと	26,666 ぼーせんと	28,523 ぼーせんと	30,428 ぼーせんと	32,246 ぼーせんと
さい みまん 65歳未満	83.7%	83.1%	82.7%	82.5%	82.5%	82.2%
さい いじょう 65歳以上	4,007 ぼーせんと 14.2%	4,372 ぼーせんと 14.5%	4,714 ぼーせんと 14.6%	5,034 ぼーせんと 14.6%	5,323 ぼーせんと 14.4%	5,645 ぼーせんと 14.4%

じつたいはあく むずか しょうがい 実態把握が難しい障害

だい しょう
【第2章】

はったつしょうがい そうだんけんすう しんだんけんすう あき ぞうかけいこう は
・発達障害 相談件数、診断件数から明らかに増加傾向。どう把握し、適切な支援につなげていくかが課題。

きょうどこうどうしょうがい しょうがいしえんくぶんにんていちょうさ にんいじょう
・強度行動障害 障害支援区分認定調査から3,400人以上いると推定。施策検討に必要な対象者の全体把握自体が課題。

いりょうてき てちょうこうふう ひと はあく こんなん
・医療的ケア 手帳交付を受けていない人もいるため把握が困難
にんていど すいけい あき ぞうかけいこう
1,200人程度と推計するが、明らかに増加傾向。

第3期プランの振り返り

【第2章】

- ・ テーマ1 出会う・つながる・助け合う 普及啓発イベント、防災訓練等での出前講座、相談支援体制の強化、情報保障の取組を推進。

→ 【課題】 生活を支える環境整備の充実

- ・ テーマ2 住む、そして暮らす 後見的支援制度、強度行動障害支援力向上研修、グループホームの設置などを推進。

→ 【課題】 住まい・暮らしの充実

第3期プランの振り返り

【第2章】

- ・ テーマ3 毎日を安心して健やかに過ごす 知的障害者専門外来の5か所設置、医療的ケア児・者等コーディネーターの配置、公共交通機関や学校のバリアフリー化、障害者差別解消法の趣旨を踏まえた取組などを推進。
→ 【課題】 安心・安全に暮らせる生活環境の充実

第3期プランの振り返り

【第2章】

- ・ **テーマ4** **いきる力を学び・育む** **地域療育センターの初診待期**
期間短縮に向けた取組、教育環境の充実、障害福祉人材確保
の取組などを推進。

→ 【課題】 療育・教育の充実、障害福祉人材確保への対応

- ・ **テーマ5** **働く・活動する・余暇を楽しむ** **就労支援の促進、移**
動情報センター全区展開、ラポール上大岡の整備などを推進。

→ 【課題】 自分らしく過ごすための環境の充実

第4期障害者プランの基本目標

【第3章】

障害のある人もない人も、
誰もが人格と個性を尊重し合いながら、
地域共生社会の一員として、自らの意思により
自分らしく生きることが出来るまちヨコハマを目指す。

津久井やまゆり園事件などを通して、社会の障害理解は十分ではなく
偏見もいまだ深いと知らされました。そこで改めて、障害のある人の
尊厳と人権を尊重することの大切さを社会に示します。

基本目標の実現に向けて必要な視点

【第3章】

行政が様々な施策・事業を進めるうえで、障害のある人の視点を踏まえることが重要です。4期プランでは、それに加え、障害者プランの基本目標実現に向け、どの事業にも共通して必要な7つの視点を設定しました。

- 1 障害のある人個人の尊重と人権の保障の視点
- 2 障害状況やライフステージに合わせたニーズを捉えていく視点

基本目標の実現に向けて必要な視点

【第3章】

3 将来にわたるあんしん施策を踏まえた視点

4 親なき後の安心と、親あるうちからの自立につなげて

いく視点

5 障害のある人全てが生きがいを実感できるようにして

いく視点

6 障害理解を進め、社会の変容を促していく視点

7 必要なサービスの提供体制を確保し続けていく視点

さまざまな生活の場面を支えるもの

【第3章】

1 普及啓発

(1) 互いの存在に気づき、身近に感じる仕組みづくり

「障害者週間」などをきっかけに、誰もが障害のある人の存在に気づき、日頃の生活の中で互いに関わって身近に感じる仕組みづくりや、日常的なふれあいの中で地域の誰もがお互いを理解し受け止める機会を増やすなどの取組を進めます。

さまざまな生活の場面を支えるもの

だい しょう
【第3章】

1 普及啓発

(2) 障害に対する理解促進

- さまざまな媒体・機会を通じ、障害等の情報を発信します。
- 障害のある人や家族、障害福祉関係団体等による普及啓発活動への支援や地域福祉保健計画の取組を通じた住民同士の交流の推進など、地域住民の障害に対する理解を進めます。

さまざまな生活の場面を支えるもの

だい しょう
【第3章】

1 普及啓発

(3) 学齢期への重点的な普及啓発

幼児期・学齢期から障害児・者ととともに取り組む様々な活動や体験などの機会を通して、児童・生徒や、その保護者の障害理解を進めていきます。

さまざまな生活の場面を支えるもの

【第3章】

2 人材確保・育成

(1) 障害福祉人材の確保と育成

民間との協働により、障害福祉分野の魅力発信、求人支援、雇用支援、人材育成支援を検討・実施します。

(2) 業務効率化に向けたロボット・AI・ICT等の導入支援

業務効率化や介護負担軽減などを進めるため、ロボット・AI・ICTなどの導入検討を進めます。

さまざまな生活の場面を支えるもの

だい しょう
【第3章】

3 権利擁護

(1) 虐待防止の取組の浸透

ぐ たい れい こう ほう けん しゅう しょう が い しゃ ぎゃく たい じゅう だい じん けん しん
具体例の広報や研修により、障害者虐待が重大な人権侵
害であることや予防・早期発見の重要性などを啓発します。

(2) 成年後見制度の利用促進

けん り よう ご よう ひと ぞう か たい せい ど けい はつ り よう そく しん
権利擁護を要する人の増加に対し、制度啓発や利用促進
を進めます。

さまざまな生活の場面を支えるもの

【第3章】

3 権利擁護

(3) 障害者差別解消法に基づく取組

- ・ 障害を理由とする差別の解消に向けて周知を図ります。
- ・ 障害者差別に関する相談、紛争の防止等のための体制を充実させます。

さまざまな生活の場面を支えるもの

【第3章】

3 権利擁護

(4) 情報保障の取組

- ・ 視覚障害者、聴覚障害者及び知的障害者等への情報提供
について定めた行政情報発信のルールに基づき、本人の
意向や障害に応じた配慮を行うよう徹底します。
- ・ 必要な配慮について検討を行ってまいります。

さまざまな生活の場面を支えるもの

【第3章】

4 相談支援

- ・ 障害児・者を地域全体で支える相談支援機能の充実を図ります。
- ・ 相談支援機関の連携強化や体制の整理をします。
- ・ 相談支援従事者の人材育成や当事者による相談の活用を進めます。

生活の場面1 住む・暮らす

【第3章】

1-1 住まい

(1) 障害状況に合わせた住まいの選択肢の充実

希望や状況に合わせた多様なニーズに応えられるよう、
多様な形態の住まいの構築を進めます。

(2) 高齢化・重度化を踏まえた住まいの構築

ニーズに対応したグループホームの整備やバリアフリー
改修等により、安心できる住まいの構築を進めます。

生活の場面1 住む・暮らす

【第3章】

1-2 暮らし

(1) 地域での生活を支える仕組みの充実

既存のサービスを充実させ、地域で安心して暮らすことができる体制づくりを目指します。

(2) 本人の力を引き出す支援の充実

障害の状況が変わっても、自ら希望するところで暮らしていくために、必要なサービスを提供します。

生活の場面1 住む・暮らす

【第3章】

1-3 移動支援

移動情報センターの運営推進やガイドヘルパー等担い手の
発掘・育成の強化等を通じ、移動支援の充実を進めます。

1-4 まちづくり

市民・事業者・行政の協力で、誰もが安全・安心に移動し、
施設を利用できるようハードとソフトと一体的に整えるなど
福祉のまちづくりを推進します。

けんこう いりょう 2-1 健康・医療

しょうがいしゃ けんこう すいしん (1) 障害者の健康づくりの推進

- うんどう は こうくう しょくせいかつ けんこうぞうしん しょうがいしゃ
・運動、歯・口腔や食生活などの健康増進について、障害者
- だんたい きょうりょく けんとう すいしん
団体とも協力しながら検討・推進します。
- たいりょく ちいき おこな
・体力づくりやリハビリテーションが地域で行えるよう、
- じんざいいくせい ふく かんきょう せいび すす
人材育成も含めた環境の整備を進めます。

けんこう いりょう 2-1 健康・医療

いりょうかんきょう じゅうじつ (2) 医療環境の充実

- なんびょうかんじゃ いりょうてき じ しゃとう しえん じゅうじつ 難病患者や医療的ケア児・者等への支援を充実させます。
- いりょうじゅう じ しゃ たい しょうがい り かい ふか けんしゅう つう 医療従事者に対する障害理解を深める研修などを通じ、
いりょうかんきょう じゅうじつ つと 医療環境の充実に努めます。
- せいしん かきゅうきゅういりょう どにち しゅくじつ しんやたいとう 精神科救急医療について、土日・祝日・深夜帯等における
うけいれびょうしょう かく ほ たいせい じゅうじつ つと 受入病床を確保し、体制が充実されるよう努めます。

ぼう さい げ ん さい
2—2 防災・減災

- しょう が い じ しゃ かん け い き かん さい が い お じ ゅ ん び ひ なん こう どう
・ 障害児・者や関係機関に、災害に向けた準備や避難行動につ
ひ ご ろ け い は つ お こ な
いて日頃から啓発を行います。
- ぼう さい いく ん れ ん どう しょう が い じ しゃ こ ま ひ つ よ う し え ん ち い き
・ 防災訓練等で障害児・者の困りごとや必要な支援を地域に
り かい じ じ ょ き ょ う じ ょ と り く み し え ん
理解していただくなど、自助・共助の取組を支援します。
- かん せん しょう り ゅ う こう じ て い き ょ う た い せい け い ぞ く へ い じ ょ う
・ 感染症流行時もサービス提供体制を継続できるように、平常
じ そ な き ん き ゅ う じ し え ん けん どう じ ゅ ん び す す
時の備えと緊急時の支援について検討と準備を進めます。

生活の場面3 育む・学ぶ

【第3章】

3-1 療育

(1) 地域療育センターを中心とした支援の充実

相談初期の段階から、地域療育センターの知識や経験に
基づく適切な評価、療育計画の作成・支援、並行通園を前提
とした集団療育、保育所・幼稚園への支援を充実させます。

りょういく
3-1 療育

き め し えん たい せい じゅう じつ
(2) 切れ目のない支援体制の充実

ち い き り ゑう いく どう ほ い く しょ よう ち えん ち い き く ん れん かい れん
・地域療育センター等と保育所・幼稚園、地域訓練会との連

けい き め い っ かん し えん め ざ
携により、切れ目のない一貫した支援を目指します。

ふ く し き ゑう いく か く か て い れん けい し えん たい せい せい び ほ ご し ゃ し
・福祉・教育・各家庭が連携した支援体制の整備や保護者支
えん と く
援に取り組みます。

しょう がい じ そう だん し えん じ ぎ ゑう しょ ふ ひ つ よう けい ぞく
・障害児相談支援事業所を増やし、必要なサービスを継続的
せん たく そう だん し えん たい せい め ざ
に選択できる相談支援体制を目指します。

りょういく
3-1 療育

がくれいしょうがい じ たい しえん じゅうじつ
(3) 学齡障害児に対する支援の充実

- ほうかごとう がくれいしょうがい じ いばしよ かくほ
・ 放課後等デイサービスなど学齡障害児の居場所の確保と
しつ こうじょう はか
質の向上を図ります。
- ほうかご じ どういくせい じ ぎょう うけい すいしん
・ 放課後児童育成事業における受入れも推進します。
- がくれいこうき はったつしょうがい じ じりつ せいじんき むか
・ 学齡後期の発達障害児が、自立した成人期を迎えられる
そうだん しえん たいせい かくじゅう
ための相談支援体制を拡充します。

きょういく
3—2 教育

りょういく きょういく き め し えん
(1) 療育と教育の切れ目のない支援

ち いきりょういく とくべつ し えん がっこうとう せんもんせい かつよう
地域療育センターや特別支援学校等の専門性を活用した
がっこう し えん ほいく りょういく しゅうがくさき じょうほうきょうゆうとう き め
学校支援、保育・療育と就学先の情報共有等による切れ目の
ない一貫した支援を行います。

生活の場面3 育む・学ぶ

【第3章】

3-2 教育

(2) 教育環境・教育活動の充実

- すべての子どもにあらゆる教育の場で、一貫した支援、適切な指導支援や必要な合理的配慮を提供します。
- すべての教職員が特別支援教育に対して理解を深め、校内支援体制の充実を図ります。

生活の場面3 育む・学ぶ

【第3章】

3-2 教育

(3) 教育から就労への支援

特別支援学校等と就労支援機関の連携をより一層強化し
就労支援・職場定着支援の充実を進めていきます。

生活の場面4 働く・楽しむ

だい しょう
【第3章】

4-1 就労

(1) 企業等への就労促進と働き続けるための支援の充実
多様化する就労ニーズや生活面での支援も含めた定着支
援、障害者雇用の広がりを踏まえた企業支援の充実など、
障害者就労支援センターを中心に、関係機関と連携を図り
ながら障害者の就労を支えます。

生活の場面4 働く・楽しむ

【第3章】

4-1 就労

(2) 幅広い仕事や工賃の向上による生活の充実

共同受注窓口等を通じた企業等からの様々な仕事のあつせん、行政機関の優先調達、自主製品の販路拡大や、様々な発注ニーズ対応に向けた事業所のスキルアップなど、受発注双方の底上げによる工賃の向上を図ります。

生活の場面4 働く・楽しむ

【第3章】

4-1 就労

(3) 多様な働き方や障害者就労に対する理解促進

- ・ 業種や勤務形態などが多様化する働き方について、市民や民間企業向けに、シンポジウムやセミナーで広く紹介します。
- ・ ふれあいショップ等の就労啓発拠点を通じて、障害者就労に対する理解促進を図ります。

生活の場面4 働く・楽しむ

【第3章】

4-2 日中活動

(1) 日中活動場所の選択肢の充実

希望する活動場所を選択できる方法や、医療的ケアなど

専門的な支援が必要な人への支援方法を検討します。

(2) 地域でのつながりと広がりの促進

住まいや日中活動先がある地域で、地域や施設の行事等

を通して、地域でのつながりを深めます。

生活の場面4 働く・楽しむ

【第3章】

4-3 スポーツ・文化芸術

(1) スポーツ活動の推進

障害者スポーツ文化センターを中核拠点として、身近な地域の様々な団体や施設等で障害者スポーツの取組が行われるよう積極的に働きかけ、障害者スポーツの場の充実や支える人材の育成に取り組みます。

4-3 スポーツ・文化芸術

(2) 文化芸術活動の推進

だれ ぶん かげいじゅつ そうぞう きょうじゅ
誰もが文化芸術を創造し享受することができるよう、「ヨ
コハマ・パラトリエンナーレ」の取組を生かし、障害のある
ひと ひと きょうどう かつどう ば そうしゅつ
人とない人の協働によるクリエイティブな活動の場の創出
とう と く しょうがい ひと みぢか ばしょ ぶんか
等に取り組むとともに、障害のある人が身近な場所で文化
げいじゅつかつどう した かんきょう すす
芸術活動に親しめる環境づくりを進めます。

障害のある人を地域で支える基盤整備

【第4章】

障害児者の生活を支えるには、個々の事業・取組を進めるだけでは不十分です。行政と関係機関や地域住民が対話し、様々な取組や役割をつなげ、地域全体で支えていけるようにすることが大切です。

そこで、国の動向を踏まえ、「地域生活支援拠点機能」の整備と「精神障害にも対応した地域包括ケアシステム」の構築に、同時並行で取り組んでいます。

P D C A サイクルによる計画の見直し

だい しょう
【第5章】

- まいねんど しみんむ せつめいかい かいさい よこはまししょうがいしゃし さくすいしんきょうぎ
・毎年度、市民向け説明会の開催、横浜市障害者施策推進協議
かいおよ しょうがいしゃし さくけんとうぶかいほんし ふぞくきかん かぶそしき
会及び障害者施策検討部会（本市附属機関とその下部組織）
ほうこくとう かくじぎょう しさく ひょうか けんとう じっし
での報告等により、各事業・施策の評価・検討を実施。
ちゅうかんき れいわ ねんど しょうがいふくし けいかくおよ しょうがいじふくし
・中間期である令和5年度に、障害福祉計画及び障害児福祉計
かく かにてい あ ぜんたい みなお じっし
画の改定に合わせ、プラン全体の見直しを実施。
さい さくていじ どうよう しょうがい ひと かぞく しえんしゃとう
その際、策定時同様、障害のある人やその家族、支援者等の
いけんき かだい たいおうさく けんとう
意見を聴きながら、課題や対応策を検討。

【評価の説明】

- ：想定した目標を達成し、想定したとおりの効果が得られた。
- △：一定程度の効果は得られた。
- ×：想定した目標は達成できず、効果も得られなかった。

テーマ1 であう・つながる・たす あう

とりぐみ 取組 1 - 1 ふきゅう 普及・啓発

事業名	目標 (第3期改定時)	第3期計画期間の実績	評価
当事者や障害福祉関連施設、市民団体等による普及・啓発活動への支援	推進	セイフティーネットプロジェクト横浜や各区自立支援協議会等による出前講座の開催など、障害理解に向けた普及啓発活動を協働で実施しました。	○
障害者本人及び家族による普及・啓発活動の推進	推進	社会参加推進センターにより、普及啓発リーフレットの作成及び配布を行いました。また、障害者週間に合わせた講演会の実施をしました。	○
疾病や障害に関する情報の発信	推進	ホームページや「障害福祉のあんない」などの媒体を活用して、疾病や障害に関する情報や支援に関する活動を紹介しました。	○

事業名 <small>じぎょうめい</small> 事業名	目標 <small>もくひょう</small> 目標 <small>だい き かい てい じ</small> (第3期改定時)	<small>だい き けい か く き かん じ っ せ き</small> 第3期計画期間の実績	<small>ひょうか</small> 評価
<small>かくく ふきゅう けいはつかつどう</small> 各区の普及・啓発活動の <small>そくしん</small> 促進	<small>すいしん</small> 推進	<small>かくく くばん こうほう</small> 各区において、区版の広報 <small>よこはま へ の き じ けい さ い</small> よこはまへの記事掲載やイ <small>べんと 等 を 開 催 す る な ど、</small> ベント等を開催するなど、 <small>そ れ ぞ れ の 地 域 特 性 に 応 じ</small> それぞれの地域特性に応じ <small>た 普 及 ・ 啓 発 活 動 を 実 施 し</small> た普及・啓発活動を実施し <small>ま し た。</small> ました。	○
<small>こうしゆ ず が こうさく びじゆつ</small> 4校種 図画工作・美術・ <small>しやうどうさくひんてん とくべつしえんきやういく</small> 書道作品展 特別支援教育 <small>ぶもん</small> 部門～つたえたい ぼくの <small>おもい わたし の きもち ～</small> おもい わたしのきもち～ <small>かいさい</small> の開催	<small>すいしん</small> 推進	<small>しりつがっこう じどうせいと さくひん</small> 市立学校の児童生徒の作品 <small>いちどう あつ しみんこうかい</small> を一堂に集める市民公開の <small>さくひんてん しな い とくべつしえん</small> 作品展で、市内の特別支援 <small>がっこう こべつしえんがつきやうどう</small> 学校や個別支援学級等に <small>ざいせき ようじじどうせいと さく</small> 在籍する幼児児童生徒の作 <small>ひん しゅってん</small> 品を出展しました。 <small>まいとし たすう らいじやう</small> 毎年、多数の来場があり <small>ま し た。</small> ました。	○
<small>ち い き きやうせいしやかい じつげん</small> 「地域共生社会」の実現に <small>む とりくみどう すいしん</small> 向けた取組等の推進	<small>しょうがいしやしゅうかん</small> 障害者週間を <small>りやう けいはつかつどう</small> 利用した啓発活動 <small>じっし</small> の実施	<small>へいせい ねん がつ きやう と けん</small> ・平成30年5月に九都県 <small>し しゆのう きやうせいしやかい じつ</small> 市の首脳が共生社会の実 <small>げん よ</small> 現を呼びかけるメッセージ <small>どうが さくせい</small> 動画を作成しました。 <small>しょうがいしやしゅうかん ちゅうしん</small> ・障害者週間を中心に <small>して、イベントの開催や</small> して、イベントの開催や <small>こころ わ ひろ しょうがいしやり</small> 心の輪を広げる障害者理 <small>かいそくしん じぎやうどう けいはつかつどう</small> 解促進事業等の啓発活動 <small>を 実 施 し ま し た。</small> を実施しました。	○
<small>がくれい き じ どうおよ ほ ごしゃ</small> 学齢期児童及び保護者への <small>しょうがいり かいけいはつ</small> 障害理解啓発	<small>すいしん</small> 推進	<small>しな い どう じ しゃだんたいどう きやう</small> 市内の当事者団体等の協 <small>りよく え きやういく いん</small> 力を得ながら、教育委員 <small>かい じ お きやく れんけい きやう</small> 会事務局と連携し、教 <small>しよくいん む しょうがいり かい すず</small> 職員向けの障害理解を進 <small>め る 冊 子 を 作 成 ・ 発 行 し ま</small> める冊子を作成・発行しま <small>し た。</small> ました。	○

事業名 <small>じぎょうめい</small>	目標 <small>もくひょう</small> (第3期改定時) <small>だい き かい てい じ</small>	第3期計画期間の実績 <small>だい きけいかくきかん じっせき</small>	評価 <small>ひょうか</small>
副学籍による交流教育及び共同学習 <small>ふくがくせき こうりゅうきょういくおよ び きょうどうがくしゅう</small>	推進 <small>すいしん</small>	特別支援学校に在籍する <small>とくべつしえんがっこう ざいせき</small> 児童生徒が居住地の小・ <small>じどうせいと きょじゅうち しょう</small> 中・義務教育学校での <small>ちゅう ぎ むきょういくがっこう</small> 授業や校外活動において <small>じゅぎょう こうがいかつどう</small> 一緒に学ぶ機会を設けまし <small>いっしょ まな きかい もう</small> た。 <交流実績> <small>こうりゅうじっせき</small> 平成27年度：220人 <small>へいせい ねんど にん</small> 平成28年度：233人 <small>へいせい ねんど にん</small> 平成29年度：219人 <small>へいせい ねんど にん</small> 平成30年度：242人 <small>へいせい ねんど にん</small> 令和元年度：207人 <small>れいわがん ねんど にん</small> 令和2年度：104人 <small>れいわ ねんど にん</small>	○

<p>じぎょうめい 事業名</p>	<p>もくひょう 目標 (第3期改定時)</p>	<p>だい きけいかくきかん じっせき 第3期計画期間の実績</p>	<p>ひょうか 評価</p>
<p>そろだんしえんじぎょう しゅうちおよぶ 相談支援事業の周知及び普 きゅう けいはつ 及・啓発</p>	<p>すいしん 推進</p>	<p>きかんそろだんしえん 基幹相談支援センターを ちゅうしん かくく そろ 中心に、各区において相 だんしえんじぎょう しゅうち けいはつ 談支援事業の周知、啓発 おこな を行いました。</p>	<p>○</p>
<p>そろだんしえんじゅうじしゃ じんざいいくせい 相談支援従事者の人材育成</p>	<p>すいしん 推進</p>	<p>よこはましじりつしえんきょうぎかいじんざい 横浜市自立支援協議会人材 いくせいぶかい かいてい 育成部会において改訂した よこはましそろだんしえんじゅうじしゃ 「横浜市相談支援従事者 じんざいいくせい もと 人材育成ビジョン」に基づ き、市主催の相談支援研 ししゅさい そろだんしえんけん 修等を実施しました。 しゅうどう じっし <平成27年度～令和2年度 へいせい ねんど れいわ ねんど の実施状況> じっしじょうきょう 実施回数：61回（市主催研 じっしかいすう かい ししゅさいけん 修45回、法定研修16回） しゅう かい ほうていけんしゅう かい 受講人数：延べ3,769人 じゅこうにんずう の にん （市主催研修2,044人、法 ししゅさいけんしゅう にん ほう 定研修1,725人） ていけんしゅう にん</p>	<p>△</p>
<p>どうじしゃ しろだん じゅうじつ 当事者による相談の充実</p>	<p>く しゃかいふくし 18区の社会福祉 ほうじんがたちかつ 法人型地活ホーム はけんそろだん において派遣相談 かつよう の活用</p>	<p>そろだんいんけんしゅう かつよう ピア相談員研修を活用 し、ピア相談員のスキルア ップを図りました。また、 はか イベント等でのチラシの配 どう 布により周知を図りまし はい た。</p>	<p>△</p>

事業名 <small>じぎょうめい</small>	目標 <small>もくひょう</small> (第3期改定時) <small>だい き かい てい じ</small>	第3期計画期間の実績 <small>だい き けい かく き かん じっせき</small>	評価 <small>ひょうか</small>
既存の相談窓口（地域ケア <small>きぞん そうだんまどぐち ちいき</small> プラザ等）による連携 <small>など れんけい</small>	推進 <small>すいしん</small>	地域の身近な相談機関であ <small>ちいき みぢか そうだんきかん</small> る地域ケアプラザにおい <small>ちいき</small> て、障害に関する相談を <small>しょうがい かん そうだん</small> 受け、必要に応じて適切な <small>う ひつよう おう てきせつ</small> 機関へつなげました。 <small>きかん</small> <相談件数> <small>そうだんけんすう</small> 平成27年度：1,622件 <small>へいせい ねんど けん</small> 平成28年度：2,501件 <small>へいせい ねんど けん</small> 平成29年度：2,504件 <small>へいせい ねんど けん</small> 平成30年度：2,665件 <small>へいせい ねんど けん</small> 令和元年度：1,961件 <small>れいわがねんど けん</small> 令和2年度：1,639件 <small>れいわ ねんど けん</small>	○

指標名 <small>しひょうめい</small>	平成29年度 <small>へいせい ねんど</small> (実績) <small>じっせき</small>	平成30年度 <small>へいせい ねんど</small> (実績) <small>じっせき</small>	令和元年度 <small>れいわがねんど</small> (実績) <small>じっせき</small>	令和2年度 <small>れいわ ねんど</small> (実績) <small>じっせき</small>
計画相談支援利用者数（年 <small>けいかくそうだんしえんりようしゃすう ねん</small> 間） <small>かん</small> 福	6,909人 <small>にん</small>	9,542人 <small>にん</small>	11,906人 <small>にん</small>	13,262人 <small>にん</small>

事業名 <small>じぎょうめい</small>	目標 <small>もくひょう</small> (第3期改定時) <small>だい き かい てい じ</small>	第3期計画期間の実績 <small>だい き けい かく き かん じっせき</small>	評価 <small>ひょうか</small>
市自立支援協議会と区自立 <small>しじりつしえんきょうぎかい くじりつ</small> 支援協議会の連携・連動 <small>しえんきょうぎかい れんけい れんどう</small>	推進 <small>すいしん</small>	市自立支援協議会のあり方 <small>しじりつしえんきょうぎかい かた</small> を見直し、市と区が連携・ <small>みなお し く れんけい</small> 連動する仕組みを整理しま <small>れんどう し く せいり</small> した。	△
区域を超えた横断的な検討 <small>くいき こ おうだんてき けんとう</small> の推進 <small>すいしん</small>	推進 <small>すいしん</small>	市自立支援協議会におい <small>しじりつしえんきょうぎかい</small> て、区域を超えた情報共 <small>くいき こ じょうほうきょう</small> 有が活性化する仕組みを整 <small>ゆう かつせいか し く せい</small> 理しました。	△

じぎょうめい 事業名	もくひょう 目標 だい き かい てい じ (第3期改定時)	だい き けい か く き かん じつ せ き 第3期計画期間の実績	ひょうか 評価
なんびょうかんじゃとう ひつよう じょう 難病患者等への必要な情 ほうていきょう 報提供	すいしん 推進	こうえんかい こうりゅうかいとう かいさい 講演会・交流会等の開催 つき かい や月2回のメールマガジン はいしんとう つう てき ぎ じょう 配信等を通じて、適宜情 ほうはっしん おこな 報発信を行いました。た だし、令和2年度は新型コ ろなウイルス感染症拡大 ぼうし おお こうえん 防止のため、多くの講演 かい こうりゅうかい ちゅうし 会・交流会が中止となり ました。 へいせい ねん ど れいわ ねん ど ・平成27年度～令和2年度 こうえんかい こうりゅうかいのべかいさいけん 講演会・交流会延開催件 すう かい 数：947回 へいせい ねん ど れいわ ねん ど ・平成27年度～令和2年度 はいしんかいすう メールマガジン配信回数 かい ：140回	△
はったつしょうがいしゃしえん 発達障害者支援センター うんえいじぎょう 運営事業	すいしん 推進	はったつしょうがいしゃ みぢか ちいき 発達障害者が身近な地域 そうだん う で相談を受けられるよう、 かくくふくしほけん 各区福祉保健センターでの とくていそうだん び じっし 特定相談日を実施しまし た。	○

しひょうめい 指標名	へいせい ねんど 平成29年度 じっせき (実績)	へいせい ねんど 平成30年度 じっせき (実績)	れいわがねんど 令和元年度 じっせき (実績)	れいわ ねんど 令和2年度 じっせき (実績)
はったつしょうがいしゃしえん ちいききょう 発達障害者支援地域協 ぎかい かいさいけんすう 議会の開催件数(福)	—	けん 3件	けん 4件	けん 2件
はったつしょうがいしゃしえん 発達障害者支援センター による さんだんけんすう 相談件数(福)	—	けん 5,567件	けん 6,169件	けん 4,598件
はったつしょうがいしゃしえん 発達障害者支援センター および 発達障害者地域支援 マネジャーの かんけいきかん 関係機関への じよげんけんすう 助言件数(福)	—	けん 484件	けん 907件	けん 1,227件
はったつしょうがいしゃしえん 発達障害者支援センター および 発達障害者地域支援 マネジャーの がいぶきかん ち 外部機関や地 いきじゅうみん けんしゅう けいはつ 域住民への研修、啓発(福)	—	けん 59件	けん 67件	けん 48件

<p>じぎょうめい 事業名</p>	<p>もくひょう 目標 だい き かい てい じ (第3期改定時)</p>	<p>だい き けい かく き かん じつ せき 第3期計画期間の実績</p>	<p>ひょうか 評価</p>
<p>ごうりてきはいりよ ふ じょう 合理的配慮を踏まえた情 ほうはっしん か 報発信のルール化</p>	<p>すいしん 推進</p>	<p>しょうがいしゃ さべつ かいしょう すい ・「障害者差別解消の推 しん かん とりにくみ しん 進に関する取組指針」や しょうがい りゆう さべつ 「障害を理由とする差別 かいしょう すいしん かん しょういん 解消の推進に関する職員 たいおうようりょう さくてい しょう 対応要領」を策定し、障 がい ひと いこう かくにん 害のある人の意向を確認 し、ばめん おう かんが し、場面に応じて考え、 たいおう ほんし 対応していくことを本市の たいおう きほん 対応の基本としました。 しかくしょうがい ひと ・視覚障害のある人への じょうほうほししょう もくてき きぼう 情報保障を目的に、希望 かた たい ほんし はっ する方に対して本市から発 しゅつ つうち つうちめい 出する通知の「通知名」、 といあわ さき とう 「問合せ先」等について、 てんじか つうち はっそう 点字化した通知を発送する しく ととの 仕組みを整えました。 どうろくしやすう じん <登録者数> 118人 れいわ ねん がつまつげんざい (令和3年3月末現在) ちょうかくしょうがい ひと ・聴覚障害のある人への じょうほうほししょう とりにくみ 情報保障の取組として、 たんまつ かつよう タブレット端末を活用した しゅわつうやく じょうほう 手話通訳サービスの情報 ていきょう あら しょうがいしゃし 提供や、新たに障害者支 えん どうにゆう おこな 援アプリの導入を行いま した。 よこはまし つく つうち し ・横浜市の作る通知やお知 しりょうどう ふくざつ ぶん らせ資料等は、複雑な文 しょうこうせい なんかい ひょうげん つか 章構成や難解な表現を使 ばあい ちてき っている場合があり、知的 しょうがい ひと せいかく 障害のある人には正確に</p>	<p>○</p>

		内容を把握することが難しい場合があります。このため、言葉の置き換えやデザイン、レイアウト等の変更による知的障害のある人へのわかりやすい資料を作成しました。	
--	--	---	--

指標名	平成29年度 (実績)	平成30年度 (実績)	令和元年度 (実績)	令和2年度 (実績)
手話通訳者の派遣（利用者数） 福	8,250人	9,546人	9,924人	8,084人
要約筆記者の派遣（利用者数） 福	1,577人	1,742人	1,358人	424人
手話奉仕員養成研修事業 (養成人数) 福	160人	158人	135人	※ 0人
手話通訳者・筆記者養成研修事業 (養成人数) 福	81人	93人	89人	※ 28人
盲ろう者向け通訳・介助員養成研修事業 (養成人数) 福	12人	24人	26人	※ 0人

※ 新型コロナウイルス感染症により研修事業の一部または全部を中止したため。

じぎょうめい 事業名	もくひょう 目標 (第3期改定時)	だい きけいかくきかん じっせき 第3期計画期間の実績	ひょうか 評価
さいがい じょうえんごしゃしえん じぎょう 災害時要援護者支援事業	すいしん 推進	かくく ちいき じつ 各区において、地域の実 じょう おう さまざま さいがい じ 状に応じた様々な災害時 ようえんごしゃしえん とりくみ おこな 要援護者支援の取組が行 われ、災害時要援護者支援 の取組を実施している自治 かい ちょうないかい わりあい れいわ 会・町内会の割合が令和 ねん がつまつげんざい ぱーせんと 2年3月末現在で91% となりました。	○
しょうがいしゃ しえんしゃ 障害者・支援者によるキャ ラバン隊派遣支援事業	すいしん 推進	セイフティーネットプロジ ェクト横浜の協力を得 て、障害理解に係る出前 こうざとう ちいきぼうさいきよてんくんれん 講座等を地域防災拠点訓練 とう かつよう 等で活用いただけるよう、 かくく やくしょ かくく ちいきぼうさい 各区役所、各区の地域防災 きよてんうんえい いんかい かいぎとう 拠点運営委員会の会議等で しゅうち がまえこう 周知するとともに、出前講 ざかつどうとう じっし 座活動等を実施しました。 また、ちいきぼうさいきよてんくんれんとう 地域防災拠点訓練等 さんか しよく けん に参加しやすい仕組みを検 とう 討しました。	○

事業名 <small>じぎょうめい</small> 事業名	目標 <small>もくひょう</small> 目標 <small>だい き かい てい じ</small> (第3期改定時)	<small>だい き けい か く き かん じつ せ き</small> 第3期計画期間の実績	<small>ひょうか</small> 評価
<small>しょうがいしゅべつさいがい じたいおう</small> 障害種別災害時対応マニ <small>さくせい</small> ュアルの作成	<small>たいおう</small> 対応マニュアルの <small>さくせい</small> 作成	<small>かんけいだんたい けんどうかい ぎ じつ</small> 関係団体との検討会議の実 施ができず、マニュアル作 成には至りませんでした が、 <small>しょうがいしゅべつ とくせい</small> 障害種別ごとの特性 <small>とう き さい</small> 等が記載された障害者理 <small>かいけいはつさつし ところ か</small> 解啓発冊子「心と手を貸 してください」の周知に <small>つと</small> 努めたほか、 <small>ちいきぼうさいきょてん</small> 地域防災拠点 <small>くんれんとう しょうがいとくせい ふく</small> 訓練等で障害特性を含め <small>たいおうほうほう ふ きゅう と</small> た対応方法の普及に取り 組みました。	△
<small>ちいきぼうさいきょてん しょう</small> 地域防災拠点における障 <small>がいしやたいけん</small> 害者体験	<small>すいしん</small> 推進	セイフティーネットプロジ <small>よこはま じつし</small> エクト横浜が実施している <small>しょうがいりかい かか だまえこうぎ</small> 障害理解に係る出前講座 <small>とう ちいきぼうさいきょてんくんれんとう</small> 等を、地域防災拠点訓練等 <small>じつし しえん</small> で実施できるよう支援しま した。また、 <small>かくく ちいきぼう</small> 各区の地域防 <small>さいきょてんうんえい いんかい かいぎ とう</small> 災拠点運営委員会の会議等 <small>しゅうち じつしかくだい と</small> で周知し実施拡大に取り 組みました。	△
<small>くきょくしょうがいしやさいがいたいさくかいぎ</small> 区局障害者災害対策会議	<small>すいしん</small> 推進	<small>かんけいくきょく ぶくし</small> 関係区局において、福祉 <small>ひなんじょ かか かいけんとう すす</small> 避難所に係る課題検討を進 めていましたが、 <small>たいさくかいぎ</small> 対策会議 <small>じつし いた</small> の実施には至っていません。 <small>ひ つづ ゆうこう れんけいしゅ</small> 引き続き有効な連携手 <small>ほう たいおう けんとう</small> 法や対応を検討していきま す。	×

じぎょうめい 事業名	もくひょう 目標 だい き かい てい じ (第3期改定時)	だい き けい かく き かん じつ せ き 第3期計画期間の実績	ひょうか 評価
しょうがいしゅさいがいたいさくかいぎ 障害者災害対策会議	すいしん 推進	かんけい く きょく かい ぎ 関係区局において、会議 じつ し ほう ほう けん とう すず の実施方法の検討を進めて い ました が、 かい ぎ じつ し は 至 っ て い ま せ ん。 引 き 続 き 有 効 な 自 助 共 助 の 取 組 や 対 応 を 検 討 し て い き ま す。	×
しょうがいしゅべつおうきゅうびちくぶつしれん 障害種別応急備蓄物資連 けい じ ぎ ょ う 携事業	すいしん 推進	よう ぞ う ぐ ほ かん よ う ストマ用装具の保管用ロッ カーを全区(各区1か所) に 設 置 し ま し た。	○

テーマ2 住む、そして暮らす

とくみ 取組2-1 住まい

<p>じぎょうめい 事業名</p>	<p>もくひょう 目標 (第3期改定時)</p>	<p>だい きけいかくきかん じっせき 第3期計画期間の実績</p>	<p>ひょうか 評価</p>
<p>こうどうしょうがい かの す 行動障害のある方の住 まい検討</p>	<p>すいしん 推進</p>	<p>はったつしょうがいしゃしえん ・発達障害者支援センタ ーに地域支援マネジャーを ちいきしえん 4名体制で配置し、障 害福 めいたいせい はいち しょうがいふく 祉サービス事業所等に対 し じぎょうじょうどう たい する行動障害・発達障害 こうどうしょうがい はったつしょうがい に係るコンサルテーション かか を実施しました(169ページ さんしょう 参照)。 しょうがいふくし じぎょう ・障害福祉サービス事業 じょうどう しょくいん たいしょう こう 所等の職員を対象に、行 どうしょうがい かか しえんりよくこう 動障害に係る支援力向 じょう はか けんしゅう し 上を図るための研修を市 ないほうじん きょうどう 内法人が共同して「オール よこはまし じっし 横浜市」として実施しまし た。 へいせい ねんど れいわ ねんど <平成28年度～令和2年度 じっしじょうきょう の実施状況> じっしかいすう かい き そけんしゅう 実施回数：15回(基礎研修 かい じっせんけんしゅう かい 13回、実践研修2回) じゅこうにんずう の にん き 受講人数：延べ1,477人(基 そけんしゅう にん じっせんけんしゅう 礎研修1,304人、実践研修 にん 173人) ひ つづ こうどうしょうがい ・引き続き、行動障害に たいおう 対応するグループホームに けんどう ついて検討しました。</p>	<p>○</p>

事業名 <small>じぎょうめい</small>	目標 <small>もくひょう</small> (第3期改定時) <small>だい き かい てい じ</small>	第3期計画期間の実績 <small>だい き けい かく き かん じつ せ き</small>	評価 <small>ひょう け</small>
サポートホーム事業（発達障害者に対する生活支援の推進） <small>じぎょう はったつ しょうがい しゃ たい せい かつ し えん の すい しん 推 進</small>	推進 <small>すい しん</small>	サポートホーム事業により、発達障害のある人の生活支援を実施しました（令和2年3月に、2か所目のサポートホームが開設）。 <small>じぎょう により、 はったつ しょうがい の ある ひと の せい かつ し えん を じつ し 実 施 し ま し た (令 和 2 年 3 月 に、 2 か 所 め の サ ポ ー ト ホ ー ム が 開 設)。</small>	○
養護老人ホーム整備事業（視覚障害者の入所） <small>よう ご ろ う じん せい び じぎょう し かく しょうがい しゃ に ゆう じょ</small>	推進 <small>すい しん</small>	視覚障害者の定員は、「野庭風の丘」と「名瀬の森」の2施設で合わせて12人を確保し、入所受入を継続しています。 <small>し かく しょうがい しゃ の てい いん は、 「 の ば け ぜ の ち ね の せ も り の 2 し せ つ 設 ち で あ わ せ て 12 人 を 確 保 し、 に ゆう じょ う けい れい を じ ぞ く し て い ま す。</small>	○

じぎょうめい 事業名	もくひょう 目標 だい き かい てい じ (第3期改定時)	だい き けい か く き かん じ っ せ き 第3期計画期間の実績	ひょうか 評価
しんたいしょうがいしゃ こうれいしゃ じゅう 身体障害者・高齢者の住 たくかいぞうおよ もようが 宅改造及び模様替え	すいしん 推進	じゅうたくかいぞうじっせき <住宅改造実績> へいせい ねん ど けん 平成27年度：59件 (しょうがいしゃたいおう けん こうれい 者対応24件、高齢 しゃたいおう けん 者対応35件) へいせい ねん ど けん 平成28年度：37件 (しょうがいしゃたいおう けん こうれい 者対応27件、高齢 しゃたいおう けん 者対応10件) へいせい ねん ど けん 平成29年度：37件 (しょうがいしゃたいおう けん こうれいしゃ 者対応14件、高齢者 たいおう けん 対応23件) へいせい ねん ど けん 平成30年度：55件 (しょうがいしゃたいおう けん こうれい 者対応27件、高齢 しゃたいおう けん 者対応28件) れいわ がんねん ど けん 令和元年度：36件 (しょうがいしゃたいおう けん こうれい 者対応15件、高齢 しゃたいおう けん 者対応21件) れいわ ねん ど けん 令和2年度：21件 (しょうがいしゃたいおう けん こうれい 者対応11件、高齢 しゃたいおう けん 者対応10件) もようが しょうにんじっせき <模様替え承認実績> へいせい ねん ど けん 平成27年度：154件 へいせい ねん ど けん 平成28年度：140件 へいせい ねん ど けん 平成29年度：139件 へいせい ねん ど けん 平成30年度：127件 れいわがんねん ど けん 令和元年度：86件 れいわ ねん ど けん 令和2年度：114件	○

しひょうめい 指標名		へいせい ねんど 平成29年度 じっせき (実績)	へいせい ねんど 平成30年度 じっせき (実績)	れいわがんねんど 令和元年度 じっせき (実績)	れいわ ねんど 令和2年度 じっせき (実績)
きょうどう せいかつ えんじよ 共同生活援助 (グループホー ム)利用者数 ^福	しん きせつ (新規設 置/年)	にんぶん 205人分	にんぶん 214人分	にんぶん 299人分	にんぶん 218人分
	りようにん (利用人 数/年)	にんぶん 4,180人分	にんぶん 4,392人分	にんぶん 4,721人分	にんぶん 4,952人分

じぎょうめい 事業名	もくひょう 目標 だい き かいてい じ (第3期改定時)	だい き けいかくきかん じっせき 第3期計画期間の実績	ひょうか 評価
しょうがいしゃしえんしせつ さいせいび 障害者支援施設の再整備	かんりょう 完了	しょうがいしゃしえんしせつ けい わ せい 障害者支援施設「恵和青 ねんりょう かいけい どう さいせいび 年寮」「偕恵」等の再整備 は、平成28年度で完了し ました。	○
しょうがいじしせつ せいび さいせいび 障害児施設の整備・再整備 ^あ	しせつじょうきょうどう 施設状況等によ り検討	へいせい ねんど ふくしがたしょうがいじ 平成27年度に福祉型障害児 にゅうしょしせつ 入所施設「ぶどうの実 (旧白根学園児童寮)」、 へいせい ねんど いりょうがたしょうがいじ 平成28年度に医療型障害児 にゅうしょしせつ よこはまりょういくいりょう 入所施設「横浜療育医療 センター」、平成29年度に ふくしがたしょうがいじにゅうしょしせつ 福祉型障害児入所施設 「ぼらいと・えき(旧横 はまし きがくえん さい 浜市なしの木学園)」の再 せいび かんりょう 整備を完了しました。 また、平成28年6月に医 療型障害児入所施設 「よこはまりょうふくし こう 横浜医療福祉センター港 なん かいしよ 南」を開所しました。	○

事業名 <small>じぎょうめい</small>	目標 <small>もくひょう</small> (第3期改定時) <small>だい き かいていじ</small>	第3期計画期間の実績 <small>だい きけいかくきかん じっせき</small>	評価 <small>ひょうか</small>
公立障害者支援施設(横浜 <small>こうりつしょうがいしゅしえんしせつ よこはま</small> 市松風学園)の再整備の <small>ししょうふうがくえん さいせいび</small> 検討 <small>けんとう</small>	個室化等の利用 <small>こしつかとう りょう</small> 環境や設備の改善 <small>かんきょう せつび かいぜん</small> 及び新入所施設の <small>およ しんにゆうしよしせつ</small> 工事実施 <small>こうじじっし</small>	入居者の居住環境改善 <small>にゆうきよしや きょじゆうかんきょうかいぜん</small> のため個室化等の設計を進 <small>こしつかとう せつけい すず</small> めるとともに、同敷地の一 <small>どうしきち いち</small> 部を活用して民設新入所 <small>ぶ かつよう みんせつしんにゆうしよ</small> 施設の整備を進めました。 <small>しせつ せいび すず</small> 現在、解体工事を終え、 <small>げんざい かいたいこうじ お</small> 民設新入所施設について <small>みんせつしんにゆうしよしせつ</small> は、建設工事に着手しま <small>けんせつこうじ ちやくしゅ</small> した。	△

指標名 <small>しひょうめい</small>	平成29年度 <small>へいせい ねんど</small> (実績) <small>じっせき</small>	平成30年度 <small>へいせい ねんど</small> (実績) <small>じっせき</small>	令和元年度 <small>れいわがねんど</small> (実績) <small>じっせき</small>	令和2年度 <small>れいわ ねんど</small> (実績) <small>じっせき</small>	
福祉施設 <small>ふくし しせつ</small> 入所者の <small>にゆうしよしや</small>	年度末時点での <small>ねんどまつじてん</small> 施設入所者数 <small>しせつにゆうしよしやすう</small>	1,467人 <small>にん</small>	1,455人 <small>にん</small>	1,464人 <small>にん</small>	1,409人 <small>にん</small>
地域生活へ <small>ちいきせいかつ</small> の移行(福) <small>いこう 福</small>	年度末時点での <small>ねんどまつじてん</small> 定員数 <small>ていいんすう</small>	1,094人 <small>にん</small>	1,094人 <small>にん</small>	1,094人 <small>にん</small>	1,084人 <small>にん</small>
施設入所支援(利用人数/ <small>しせつにゆうしよしえん りょうにんずう</small> 月)(福)(児) <small>つき 福 児</small>	1,467人 <small>にん</small>	1,455人 <small>にん</small>	1,464人 <small>にん</small>	1,409人 <small>にん</small>	
福祉型障害児入所支援(利用 <small>ふくしがたしょうがいじにゆうしよしえん りょう</small> 児童数/月)(福)(児) <small>じどうすう つき 福 児</small>	164人分 <small>にんぶん</small>	163人分 <small>にんぶん</small>	163人分 <small>にんぶん</small>	165人分 <small>にんぶん</small>	
医療型障害児入所支援(利 <small>いりょうがたしょうがいじにゆうしよしえん り</small> 用児童数/月)(福)(児) <small>ようじどうすう つき 福 児</small>	87人分 <small>にんぶん</small>	84人分 <small>にんぶん</small>	87人分 <small>にんぶん</small>	82人分 <small>にんぶん</small>	
宿泊型自立 <small>しゅくはくがたじりつ</small> 訓練(利用 <small>くんれん りょう</small> 人数/月) <small>にんずう つき</small> (福)(児) <small>福 児</small>	(人日分) <small>にんにちぶん</small>	2,485人日 <small>にんにち</small> 分 <small>ぶん</small>	2,439人日 <small>にんにち</small> 分 <small>ぶん</small>	2,336人日 <small>にんにち</small> 分 <small>ぶん</small>	1,928人日分 <small>にんにちぶん</small>
(人分) <small>にんぶん</small> (福)(児) <small>福 児</small>	(人分) <small>にんぶん</small>	91人分 <small>にんぶん</small>	89人分 <small>にんぶん</small>	87人分 <small>にんぶん</small>	71人分 <small>にんぶん</small>
療養介護(福)(児) <small>りょうようかいご 福 児</small>	245人分 <small>にんぶん</small>	273人分 <small>にんぶん</small>	278人分 <small>にんぶん</small>	282人分 <small>にんぶん</small>	
18歳以上の <small>さいいじょう</small> 障害児施設 <small>しょうがいじしせつ</small>	18歳以上の入 <small>さいいじょう にゆう</small> 所者の移行人数 <small>しよしや いこうにんずう</small>	7人 <small>にん</small>	14人 <small>にん</small>	24人 <small>にん</small>	23人 <small>にん</small>

しひょうめい 指標名		へいせい ねんど 平成29年度 じっせき (実績)	へいせい ねんど 平成30年度 じっせき (実績)	れいわがねんど 令和元年度 じっせき (実績)	れいわ ねんど 令和2年度 じっせき (実績)
にゅうしよしゃ 入所者の しょうがいしゃ しえん 障害者支援 しせつおよ ち 施設及び地 いき いこう 域への移行	いこう よていたいしやう 移行予定対象 にんずう 人数	にん 20人	にん 6人	にん 5人	にん 5人
よこはましたいん 横浜市退院 サポート事 じ 業	こべつ しえんたいしやう 個別支援対象 しゃすう にん ねん 者数(人/年) じっしじぎやうしやすう 実施事業所数	にん 87人	にん 123人	にん 161人	にん 150人
		—	しよ 15か所	しよ 18か所	しよ 18か所

じぎやうめい 事業名	もくひやう 目標 だい きかいていじ (第3期改定時)	だい きけいかくきかん じっせき 第3期計画期間の実績	ひやうか 評価
せいしんしょうがい たいおう ち 精神障害にも対応した地 いきほうかつ こうちく 域包括ケアシステムの構築	すいしん 推進	<p>へいせい ねんど くに じぎやう 平成29年度より国の事業 である「せいしんしょうがい たい 精神障害にも対 おう ちいきほうかつ 応した地域包括ケアシステ ム構築支援事業」へ参加 し、システム構築の推進体 である「きやうぎ ば たく 協議の場」の枠 ぐ けんどう 組みを検討してきました。 へいせい ねんど れいわ がねんど 平成30年度、令和元年度に は、市内方面別に じゆん じ 順次モ デル区を せってい ぐ 設定し(4区)、 それぞれの地域特性を ち いきとくせい ぶ 踏ま えて課題解決に向けた かい たいかいけつ お とりくみ 取組 を きやうぎ ば なか けんどう 協議の場の中で検討し てきました。また、く お 区向け に けんしゅうかい せつめいかい 研修会・説明会などを かいさい とりくみ しえん じやう 開催し、取組の支援、情 ほうきやうゆう おこな 報共有を行ってしまし た。 また市域では しいき れいわ がねんど 令和元年度に し じりつ しえんきやうぎ かい ち いき 市自立支援協議会地域移 こう ちいきていちゃくぶ かい たち 行・地域定着部会を立ち</p>	○

		あ れい わ ねん ど きょう ぎ 上 げ、 令 和 2 年 度 の 協 議 の ば ぜん く せつ ち お の け た じゅん び 場 全 区 設 置 に 向 け た 準 備 を お こ な 行 っ て き ま し た。	
--	--	---	--

し ひ よ う め い 指 標 名	へい せい ねん ど 平 成 29 年 度 じ っ せ き (実 績)	へい せい ねん ど 平 成 30 年 度 じ っ せ き (実 績)	れい わ ねん ど 令 和 元 年 度 じ っ せ き (実 績)	れい わ ねん ど 令 和 2 年 度 じ っ せ き (実 績)
せい しん び よ う し ょう ねん い 精 神 病 床 に お け る 1 年 以 上 じ ょう ち ょう き に ゆう いん かん じゃ す う 上 長 期 入 院 患 者 数 (65 さい い じ ょう 歳 以 上) 福	1,126人	1,004人	1,112人	1,132人
せい しん び よ う し ょう ねん い 精 神 病 床 に お け る 1 年 以 上 じ ょう ち ょう き に ゆう いん かん じゃ す う 上 長 期 入 院 患 者 数 (65 さい み まん 歳 未 満) 福	1,119人	1,028人	1,064人	1,039人
せい しん び よ う し ょう そ う き たい 精 神 病 床 に お け る 早 期 退 いん りつ に ゆう いん ご げつ じ 院 率 (入 院 後 3 か 月 時 てん 点) 福	67.1%	—	—	— ※1
せい しん び よ う し ょう そ う き たい 精 神 病 床 に お け る 早 期 退 いん りつ に ゆう いん ご げつ じ 院 率 (入 院 後 6 か 月 時 てん 点) 福	84.3%	—	—	— ※1
せい しん び よ う し ょう そ う き たい 精 神 病 床 に お け る 早 期 退 いん りつ に ゆう いん ご ねん じ てん 院 率 (入 院 後 1 年 時 点) 福	90.2%	—	—	— ※1
ち いき い こう し 地 域 移 行 支 えん 援 福	(/月) 2人分	(/月) 2人分	(/月) 10人分	(/月) 9人分
	(/年) 24人分	(/年) 23人分	(/年) 127人分	(/年) 100人分
ち いき てい ちやく し 地 域 定 着 支 えん 援 福	(/月) 2人分	(/月) 4人分	(/月) 32人分	(/月) 34人分
	(/年) 28人分	(/年) 46人分	(/年) 384人分	(/年) 400人分

※1 くに ちょうさ (630調査) ちょうさ ほうしき へんこう 方式が変更となり、ほんしぜんたい すうち さんしゅつ 本市全体の数値が算出できなくなったため空欄にしています。

事業名 <small>じぎょうめい</small> 事業名	目標 <small>もくひょう</small> 目標 <small>だい き かい てい じ</small> (第3期改定時)	<small>だい き けい か く き かん じ っ せ き</small> 第3期計画期間の実績	<small>ひょうか</small> 評価
<small>みんかんじゅうたく</small> 民間住宅 <small>にゅうきよ</small> あんしん入居 <small>じぎょう</small> 事業	<small>すいしん</small> 推進	<small>けんちくきよく けんこうふくしきよく れん</small> 建築局、健康福祉局で連 <small>けい はか しょうがいしゃ みんかん</small> 携を図り、障害者が民間 <small>ちんたいじゅうたく にゅうきよ</small> 賃貸住宅への入居をしや すくする仕組みである <small>じゅうたく</small> 「住宅セーフティネット <small>せい ど とうごう はか</small> 制度」との統合を図りまし た。	○
<small>みんかんじゅうたくにゅうきよ そくしん</small> 民間住宅入居の促進	<small>すいしん</small> 推進	<small>よこはまし ふどうさんかんけいだんたい</small> 横浜市、不動産関係団体や <small>ふくしだんたいとう れんけい</small> 福祉団体等の連携により設 <small>りつ よこはましきよじゅうしえんきょう</small> 立した横浜市居住支援協 <small>ぎ かい なか しょうがいりかい</small> 議会の中で、障害理解を <small>すす</small> 進めるための勉強会等を <small>おこな</small> 行い、制度活用に取り組み ました。	○
<small>こうれいか じゅうどかたいおう</small> 高齢化・重度化対応バリア <small>かいしゅうじぎょう</small> フリー改修事業	<small>すいしん</small> 推進	<small>ねん</small> この6か年で、7ホームか <small>しんせい</small> ら申請があり、トイレや浴 <small>しつ かいしゅう</small> 室の改修、エレベーター <small>かいたんしょうこうき せっち おこな</small> や階段昇降機の設置を行 いました。	○

事業名 <small>じぎょうめい</small>	目標 <small>もくひょう</small> (第3期改定時) <small>だい き かい じ</small>	第3期計画期間の実績 <small>だい きけいかくきかん じっせき</small>	評価 <small>ひょうか</small>
地活ホームの運営 <small>ち かつ うんえい</small>	推進 <small>すいしん</small>	国が令和2年度末までの整備を求めている「地域生活支援拠点」で必要となる「緊急時の受入れ・対応」機能について、地活ホームのショートステイも機能の一つとして活用できるよう、自立支援協議会の部会や関係事業所との意見交換会等を通じて、緊急の定義や受入れフローについて整理しました。 また、機能強化型地活ホームの今後の方向性について、関係事業者等と意見交換を行いました。	○
生活支援センターの運営 <small>せい かつ し えん うんえい</small>	推進 <small>すいしん</small>	A型9区とB型9区の開館日・開館時間、職員数等の機能についての区間格差を是正し、相談支援機能を充実するため、令和2年10月1日から全区のセンターで、標準化した新たな基準で運営をしました。	○
多機能型拠点の整備・運営 <small>たきのうがたきよてん せいび うんえい</small> ②	開所3か所(累計6か所)(整備完了) <small>かいしよ しよ るいけい 6か所 せいびかん りょう</small>	4館目を港北区菊名四丁目に整備することとしました。今後も6か所整備に向けて、市有地の有効活用を原則に、早期の整備に向けて検討していきます。	×

しひょうめい 指標名		へいせい ねんど 平成29年度 じっせき (実績)	へいせい ねんど 平成30年度 じっせき (実績)	れいわがねんど 令和元年度 じっせき (実績)	れいわ ねんど 令和2年度 じっせき (実績)
ちいきせいかつしえんきよてん せいび 地域生活支援拠点の整備 福		けんとう 検討	2か所	18か所	18か所
きょたくかいご 居宅介護福	じかん (時間)	123,771時間	120,066時間	123,614時間	123,914時間
	にんぶん (人分)	6,976人分	7,181人分	7,419人分	7,367人分
じゅうとほうもんかいご 重度訪問介護 福	じかん (時間)	61,587時間	65,159時間	71,113時間	85,313時間
	にんぶん (人分)	353人分	390人分	428人分	503人分
どうこうえんご 同行援護福	じかん (時間)	15,409時間	13,203時間	14,953時間	12,024時間
	にんぶん (人分)	752人分	764人分	785人分	702人分
こうどうえんご 行動援護福	じかん (時間)	7,357時間	8,342時間	9,962時間	8,464時間
	にんぶん (人分)	368人分	438人分	544人分	490人分
たんきにゅうしょ 短期入所(福 社型)福	にんぶん (人分)	1,032人分	1,089人分	1,098人分	708人分
	にんにち (人日)	5,638人日	5,539人日	5,424人日	4,381人日
たんきにゅうしょ 短期入所(医 療型)福	にんぶん (人分)	334人分	366人分	361人分	308人分
	にんにち (人日)	1,760人日	1,903人日	1,751人日	1550人日
にっちゅういちじしえん 日中一時支援 福	にんぶん (人分)	495人分	489人分	463人分	285人分
	かい (回)	879回	868回	769回	565回
にちじょうせいかつようぐきゅうふ 日常生活用具給付・貸与 (/年)福		82,900件	85,706件	90,909件	99,603件

事業名 <small>じぎょうめい</small> <small>じぎょうめい</small>	目標 <small>もくひょう</small> (第3期改定時) <small>だい き かい じ じ</small>	第3期計画期間の実績 <small>だい き けい かく き かん じ っ せ き</small>	評価 <small>ひょうか</small>
メディカルショートステイ システム(あ)	推進 <small>すいしん</small>	<p> <small>りようしゃ たい じぎょう</small> 利用者に対し、事業のさら <small>しゅうち はか りようとうろく</small> なる周知を図り、利用登録 <small>そくしん</small> を促進しました。 <small>きょうりよく いりよう き かん とう</small> また、協力医療機関等 <small>かんけいしゃ む じつ む けん しゅう</small> の関係者向けに実務研修 <small>じぎょうせつめい など おこな</small> や事業説明等を行い、事 <small>ぎょう り かい ふか</small> 業への理解を深めていた <small>つと</small> だくことに努めました。 <small>じぎょうかい し とう しょ きょうりよく</small> 事業開始当初から協力 <small>いりよう き かん すく か だい</small> 医療機関が少なく課題で <small>ほくぶほうめん れい わ がん</small> あった北部方面に、令和元 <small>ねん が つ あら きょうりよく い</small> 年11月から新たに協力医 <small>りよう き かん びょういんくわ</small> 療機関が1病院加わり、 <small>ぜん びょういん じ っ し</small> 全11病院で実施しまし た。 <small>とうろくしゃすう</small> <登録者数> <small>へいせい ねん どの にん</small> 平成26年度：129人 <small>れい わ ねん どの にん</small> →令和2年度：373人 <small>りよう の にんずう</small> <利用延べ人数> <small>へいせい ねん どの にん</small> 平成26年度：74人 <small>れい わ ねん どの にん</small> →令和2年度：110人(う <small>かぞく し っ べい りよう</small> ち家族の疾病による利用31 <small>にん</small> 人) <small>りよう の に っ すう</small> <利用延べ日数> <small>へいせい ねん どの にち</small> 平成26年度：671日 <small>れい わ ねん どの にち</small> →令和2年度：743日 </p>	○

じぎょうめい 事業名	もくひょう 目標 だい き かい てい じ (第3期改定時)	だい き けい か く き かん じ っ せ き 第3期計画期間の実績	ひょうか 評価
せいしんしょうがいしゃ かぞくしえんじ 精神障害者の家族支援事 ぎょう 業 ㊦	すいしん 推進	せいしんしょうがいしゃ かぞく 精神障害者とその家族が てきせつ かんけい たも 適切な関係を保てるよう緊 きゅうたいざい ばしょ じゅんび 急滞在場所を準備しまし た。また、ねん かい がくしゅう 年4回の学習 かい じっし かぞく せいしんしつ 会を実施し、家族が精神疾 かん について理解を深める機 会を提供しました(令和 ねん ど しんがた 2年度は新型コロナウイルス かんせんしょう えいきょう 感染症の影響により年 かい かいさい 1回の開催としました)。	○
しょうがいしゃ じりつせいかつ 障害者自立生活アシスタ ント ㊦	すいしん 推進	じぎょうしよすう りようしやすう <事業所数/利用者数> へいせい ねん ど しよ にん 平成27年度：38か所/926人 へいせい ねん ど しよ にん 平成28年度：40か所/962人 へいせい ねん ど しよ にん 平成29年度：40か所/951人 へいせい ねん ど しよ にん 平成30年度：38か所/819人 れいわがねん ど しよ にん 令和元年度：35か所/693人 れいわ ねん ど しよ にん 令和2年度：36か所/740人	○

事業名 <small>じぎょうめい</small>	目標 <small>もくひょう</small> (第3期改定時) <small>だい き かい いてい じ</small>	第3期計画期間の実績 <small>だい きけいかくきかん じっせき</small>	評価 <small>ひょうか</small>
後見的支援制度 <small>こうけんてきしえんせいど</small> (あ)	推進 <small>すいしん</small>	平成28年度に18区で実施となり、親亡き後も安心して地域生活を送れる仕組みの充実を図りました。より安定的かつ持続可能な制度となるよう、あり方検討会を実施しています。 <small>へいせい ねんど 18 区 じっし</small> <small>おや な あと あんしん</small> <small>ちいきせいかつ おく しく</small> <small>じゅうじつ はか</small> <small>ていてき じぞくかのう せいど</small> <small>かたけんとうかい</small> <small>じっし</small> <登録者数> <small>とうろくしゃすう</small> 平成27年度：934人 <small>へいせい ねんど 934 人</small> 平成28年度：1,147人 <small>へいせい ねんど 1,147 人</small> 平成29年度：1,365人 <small>へいせい ねんど 1,365 人</small> 平成30年度：1,560人 <small>へいせい ねんど 1,560 人</small> 令和元年度：1,741人 <small>れいわがねんど 1,741 人</small> 令和2年度：1,797人 <small>れいわ ねんど 1,797 人</small> ※ 平成27年度は16区、平成28年度からは18区で事業を展開しました。 <small>へいせい ねんど 16 区 へいせい ねんど 18 区 じぎょう てんかい</small>	○
消費者教育事業 <small>しょうひしゃきょういくじぎょう</small> (あ)	推進 <small>すいしん</small>	経済局、教育委員会事務局、健康福祉局の3局が連携し、特別支援学校の生徒を対象とした出前講座を11校で実施しました。また、経済局と消費生活総合センターと連携して消費者トラブルの相談先のカードを3障害別に追加作成しました。 <small>けいざいきょく きょういくいんかいじむ きょく けんこうふくしきょく きょく 3 局</small> <small>れんけい とくべつしえんがっこう</small> <small>せいと たいしょう てまえこう</small> <small>ざ こう じっし</small> <small>けいざいきょく しょうひせいかつ</small> <small>そうごう れんけい</small> <small>しょうひしゃ そうだんさき</small> <small>しょうがいべつ つい</small> <small>か さくせい</small>	○

指標名 <small>しひょうめい</small>	平成29年度 <small>へいせい ねんど</small> (実績) <small>じっせき</small>	平成30年度 <small>へいせい ねんど</small> (実績) <small>じっせき</small>	令和元年度 <small>れいわがねんど</small> (実績) <small>じっせき</small>	令和2年度 <small>れいわ ねんど</small> (実績) <small>じっせき</small>
自立生活援助 <small>じりつせいかつえんじょ</small> (福)	—	9人分 <small>にんぶん</small>	57人分 <small>にんぶん</small>	60人分 <small>にんぶん</small>

テーマ3 まいにち あんしん すこすこ 毎日を安心して健やかに過ごす

とくみ 取組3-1 健康・医療

じぎょうめい 事業名	もくひょう 目標 だい きかいていじ (第3期改定時)	だい きけいかくきかん じっせき 第3期計画期間の実績	ひょうか 評価
じゅうど しんけいなんびょうかんじゃざいたくし 重度神経難病患者在宅支 えん 援システムの構築 えん 援システムの構築	すいしん 推進	しんだんちよくご かくていしんだん 診断直後(確定診断から6 げつ いない きん い しゆくせいそくさく か月以内)の筋萎縮性側索 こうかしょう えーえるえす かた せい 硬化症(ALS)の方の生 かつしえん もくてき ざいたく 活支援を目的に、在宅リハ びりてーション事業の活用 すす を進めました。 へいせい ねんど れいわ ねんど ・平成27年度～令和2年度 いらいじつけんすう けん 依頼実件数 110件	○
なんびょう かんじゃ ざいたく りょうよう けいかく 難病患者在宅療養計画 さくてい ひょうかじぎょう 策定・評価事業	すいしん 推進	ちいき じつじょう くに どうこう ふ 地域の実状や国の動向を踏 まえ、複数区で計画的に実施 してきましたが、れいわ ねんど 令和2年度 はしんがた かんせん は新型コロナウイルス感染 しょう えいきょう う じっし 症の影響を受け実施でき ませんでした。 へいせい ねんど れいわ ねんど ・平成30年度～令和2年度 のべじっしけんすう けん じぎょうかいし 延実施件数:3件(事業開始 ねんど へいせい ねんど 年度:平成30年度)	△
なんびょうかんじやいちじにゅういんじぎょう 難病患者一時入院事業	すいしん 推進	てきぎりりょうきかん ちようせい おこな 適宜医療機関と調整を行 い、じぎょう じっし 事業を実施しました。 へいせい ねんど れいわ ねんど ・平成27年度～令和2年度 のべりようにつすう にち 延利用日数:4,092日 へいせい ねんど れいわ ねんど ・平成27年度～令和2年度 のべりようにんずう にん 延利用人数:516人	○

じぎょうめい 事業名	もくひょう 目標 だい き かい てい じ (第3期改定時)	だい き けい か く き か ん じ っ せ き 第3期計画期間の実績	ひょうか 評価
けんこう 健康ノート	けんとう 検討	しょうがいかんけいだんたい 障害関係団体にヒアリング を実施し、庁内で検討を行 いました。健康ノートをより 市民の皆様に使っていただ くために、入手しやすくし ていくという方向性を決定 しました。	○
いりょうじゆうじしゃけんしゅうじぎょう 医療従事者研修事業(あ)	すいしん 推進	いりょうきかん ふくししせつとう きん 医療機関や福祉施設等に勤 務する看護師を対象に「小 児訪問看護・重症心身障 害児者研修」を毎年実施し ました。 しな い けん しゅう しゅう りょう しゃ すう <市内研修修了者数> へいせい ねんど にん 平成27年度：22人 へいせい ねんど にん 平成28年度：32人 へいせい ねんど にん 平成29年度：30人 へいせい ねんど にん 平成30年度：29人 れい わ が ん ねんど にん 令和元年度：38人 れい わ ねんど にん 令和2年度：29人	○
しょうがいふくし し せつ とう はたら かん 障害福祉施設等で働く看 護師の支援(あ)	すいしん 推進	ち かつ た き の う が た き よ て ん 地活ホームや多機能型拠点 を対象に、歯科医師による 巡回相談や専門医によるて んかん研修のほか、高齢施 設見学会や看護師等のネッ トワークづくりのための看 護師等会議を実施しました。	○

じぎょうめい 事業名	もくひょう 目標 だい き かい てい じ (第3期改定時)	だい き けい か く き かん じ っ せ き 第3期計画期間の実績	ひょうか 評価
じゅうどしやうがいしやどうにゆういん じ 重度障害者等入院時コ ミュニケーション支援事業 ㊦	すいしん 推進	けい か く し ゃ き くら じ っ せ き どう 計画初期に比べ、実績等も 微増で推移しています。 は け ん け ん す う け ん せ う じ かん す う <派遣件数/派遣総時間数> へいせい ねんど けん じ かん 平成27年度：47件/995時間 へいせい ねんど けん 平成28年度：67件 /1,081時間 へいせい ねんど けん 平成29年度：91件 /2,003時間 へいせい ねんど けん 平成30年度：61件 /1,234時間 れい わ が ん ね ん ど けん 令和元年度：51件 /1,139.5時間 れい わ ね ん ど けん 令和2年度：10件 /200.5時間	○
はいえんきゆうきん せつしゆじよ 肺炎球菌ワクチン接種助 成事業 ㊦	すいしん 推進	せいじんようはいえんきゆうきん じ 成人用肺炎球菌ワクチン事 業と連携しながら、対象 となる身体障害者手帳 (内部機能障害)所有者と 医療機関に対し、事業の 周知と利用案内を行い、 6年間で約1,600件の接種を 助成しました。	○
いりょうきかんれんけいじぎょう 医療機関連携事業 ㊦	すいしん 推進	ち てきしやうがいしやせんもんがいらいせつち い 知的障害者専門外来設置医 療機関を5病院で実施し ました。 びやういんすう じゆしんかんじやすう <病院数/受診患者数> へいせい ねんど びやういん にん 平成27年度：2病院/92人 へいせい ねんど びやういん にん 平成28年度：3病院/120人 へいせい ねんど びやういん にん 平成29年度：4病院/123人 へいせい ねんど びやういん にん 平成30年度：5病院/162人 れい わ が ん ね ん ど びやういん にん 令和元年度：5病院/196人 れい わ ね ん ど びやういん にん 令和2年度：5病院/195人	○

事業名 <small>じぎょうめい</small> 事業名	目標 <small>もくひょう</small> 目標 <small>だい き かい いてい じ</small> (第3期改定時)	<small>だい き けい かく き かん じ っ せ き</small> 第3期計画期間の実績	<small>ひょうか</small> 評価
メディカルショートステイ <small>さいけい</small> システム【再掲】㊟	<small>すいしん</small> 推進	<small>りやうしゃ たい じぎょう</small> 利用者に対し、事業のさら <small>しゅうち はか りやうとうろく</small> なる周知を図り、利用登録 <small>そくしん</small> を促進しました。 <small>きやうりよく いりやう きかんとう</small> また、協力医療機関等の <small>かんけいしゃ む じつ む けんしゅう じ</small> 関係者向けに実務研修や事 <small>ぎやうせつめいなど おこな</small> 業説明等を行い、事業へ <small>り かい ふか</small> の理解を深めていただくこ <small>つと</small> とに努めました。 <small>じ ぎやうかい し どうしよ きやうりよく い</small> 事業開始当初から協力医 <small>りやう きかん すく かだい</small> 療機関が少なく課題であっ <small>ほくぶほうめん れい わ がんねん</small> た北部方面に、令和元年11 <small>がつ あら きやうりよく いりやう き</small> 月から新たに協力医療機 <small>かん びやういんくわ ぜん</small> 関が1病院加わり、全11 <small>びやういん じつし</small> 病院で実施しました。 <small>とうろくしゃすう</small> <登録者数> <small>へいせい ねんど にん</small> 平成26年度：129人 <small>れい わ ねんど にん</small> →令和2年度：373人 <small>りやうの にんずう</small> <利用延べ人数> <small>へいせい ねんど にん</small> 平成26年度：74人 <small>れい わ ねんど にん</small> →令和2年度：110人（うち <small>かぞく しつべい りやう</small> 家族の疾病による利用31 <small>にん</small> 人） <small>りやうの にっすう</small> <利用延べ日数> <small>へいせい ねんど にち</small> 平成26年度：671日 <small>れい わ ねんど にち</small> →令和2年度：743日	○

事業名 <small>じぎょうめい</small>	目標 <small>もくひょう</small> (第3期改定時) <small>だい き かいていじ</small>	第3期計画期間の実績 <small>だい きけいかくきかん じっせき</small>	評価 <small>ひょうか</small>
在宅療養児の地域生活を支 <small>ざいたくりょうようじ ちいきせいかつ ささ</small> えるネットワーク連絡会 <small>れんらくかい</small>	推進 <small>すいしん</small>	勉強会は平成27年度から令 <small>べんきょうかい へいせい ねんど れい</small> 和元年度までに9回開催 <small>わ がんねんど かいがいさい</small> し、延べ2,537名が参加しま <small>の めい さんか</small> した。 <small>れいわ ねんど しんがた</small> 令和2年度は新型コロナウイルス <small>かんせんしょうぼうし</small> イルス感染症防止のため、 <small>ちゅうし</small> 中止しました。 <small>いりょうかんけいしゃ ちゅうしん</small> 医療関係者が中心となり、 <small>しょうがいじ しゃ せいかつ ささ</small> 障害児・者の生活を支える <small>うえ か だいおよ とりくみどう じょう</small> 上での課題及び取組等の情 <small>ほうこうかん じっし しえん</small> 報交換などを実施し、支援 <small>そくしん つと</small> の促進に努めました。	○
医療機関ネットワーク等の <small>いりょうきかん どう</small> 構築 <small>こうちく</small>	推進 <small>すいしん</small>	重症心身障害児・者が <small>じゅうしょうしんしんしょうがいじ しゃ</small> 必要としている医療等を <small>ひつよう いりょうどう</small> 把握するためのアンケート <small>はあく</small> 調査を平成28年度に実施し <small>ちょうさ へいせい ねんど じっし</small> ました(860人回答)。 <small>にんかいどう</small> こども青少年局、健康福祉 <small>せいしょうねんきょく けんこうふくし</small> 局、医療局の関係3局で <small>きょく いりょうきょく かんけい きょく</small> 重症心身障害児・者の生活 <small>じゅうしょうしんしんしょうがいじ しゃ せいかつ</small> を支えるための支援体制の <small>ささ しえんたいせい</small> 構築を検討しています。 <small>こうちく けんどう</small>	△

事業名 <small>じぎょうめい</small> 事業名	目標 <small>もくひょう</small> 目標 <small>だい き かい てい じ</small> (第3期改定時)	<small>だい き けい かく き かん じ っ せ き</small> 第3期計画期間の実績	<small>ひょうか</small> 評価
<small>し か ほ け ん い り ょ う す い し ん じ ぎ ょ う</small> 歯科保健医療推進事業 <small>し ん し ん し ょ う が い じ し ゃ し か し ん り ょ う</small> (心身障害児・者歯科診療)	<small>す い し ん</small> 推進	<small>よ こ は ま し し か ほ け ん い り ょ う</small> <横浜市歯科保健医療セン <small>し ん し ん し ょ う が い じ し ゃ し か し ん</small> ター心身障害児・者歯科診 <small>り ょ う け ん す う</small> 療件数> <small>へ い せ い ね ん ど</small> 平成27年度：9,773件 <small>へ い せ い ね ん ど</small> 平成28年度：9,797件 <small>へ い せ い ね ん ど</small> 平成29年度：10,054件 <small>へ い せ い ね ん ど</small> 平成30年度：9,539件 <small>れ い わ が ん ね ん ど</small> 令和元年度：9,750件 <small>れ い わ ね ん ど</small> 令和2年度：7,520件 <small>き ょ う り ょ く い り ょ う き かん す う し ん し ん し ょ う</small> <協力医療機関数/心身障 <small>が い じ し ゃ し か し ん り ょ う かん じ ゃ す う</small> 害児・者歯科診療患者数> <small>へ い せ い ね ん ど</small> 平成27年度：215か所 <small>に ん</small> /10,173人 <small>へ い せ い ね ん ど</small> 平成28年度：216か所 <small>に ん</small> /10,224人 <small>へ い せ い ね ん ど</small> 平成29年度：209か所 <small>に ん</small> /8,345人 <small>へ い せ い ね ん ど</small> 平成30年度：216か所 <small>に ん</small> /10,361人 <small>れ い わ が ん ね ん ど</small> 令和元年度：213か所 <small>に ん</small> /11,059人 <small>れ い わ ね ん ど み こ</small> 令和2年度(見込み) <small>し ょ に ん</small> : 210か所/8,752人	○
<small>い り ょ う て き じ し ゃ と う し え ん</small> 医療的ケア児・者等の支援 <small>かん け い き かん き ょ う ぎ</small> のための関係機関の協議の <small>ば せ っ ち</small> 場の設置	<small>す い し ん</small> 推進	<small>れ い わ が ん ね ん が つ よ こ は ま し い り ょ う て き</small> 令和元年10月、横浜市医療的 <small>じ し ゃ と う し え ん けん と う い い ん かい</small> ケア児・者等支援検討委員会 <small>せ っ ち ち い き か だ い かい け つ</small> を設置し、地域課題解決のた <small>じ ょ う ほう き ょ う ゆ う い けん こう かん</small> め情報共有や意見交換を <small>お こ な</small> 行いました。令和2年度は <small>れ い わ ね ん が つ お よ れ い わ ね ん</small> 令和2年7月及び令和3年 <small>が つ かい かい さい</small> 2月の2回開催しました。	○

しひょうめい 指標名	へいせいねんど 平成29年度 じっせき (実績)	へいせいねんど 平成30年度 じっせき (実績)	れいわがねんど 令和元年度 じっせき (実績)	れいわねんど 令和2年度 じっせき (実績)
いりょうてき じ しゃどう たい 医療的ケア児・者等に対す る関連分野の支援を調整 するコーディネーターの はいち 配置 ㊦	—	じゅんび 準備	にん 1人	にん 6人

じぎょうめい 事業名	もくひょう 目標 だい き かいてい じ (第3期改定時)	だい き けいかくきかん じっせき 第3期計画期間の実績	ひょうか 評価
せいしんかきゅうきゅういりょうたいさくじぎょう 精神科救急医療対策事業	85.0 % (市内病院に対す る3次救急移送 先病院の割合)	し ないびょういん たい じきゅう 市内病院に対する3次救 急移送先病院の割合： 82.4 % つうほうけんすう ぞう か つづ なか 通報件数が増加し続ける中 でも、すみ やかに いりょう てい でも、速やかに医療が提 供できるよう対応時間の たんしゆく つと 短縮に努めました。ま た、できるかぎり住み慣れ た地域で治療を継続して いけるよう、きんきゅうにゆういん いけるよう、緊急入院し た患者をすみ やかに し ない い 患者を速やかに市内医 療機関につなぎました。	△
せいしんしっかん がっぺい しんたい 精神疾患を合併する身体 きゅうきゅうかんじゃ きゅうきゅう いりょう 救急患者の救急医療 たいせいせいび じぎょう 体制整備事業	すいしん 推進	せいしんしっかん とくていしやうじやう 精神疾患のうち特定症 状 をもつ身体救急患者に対 おう びやういんぐん たい 応する病院群について、3 びやういん たいせい さんかく 病院が体制に参画してい ます。	○

取組3-2 バリアフリー

<p>事業名</p>	<p>目標 (第3期改定時)</p>	<p>第3期計画期間の実績</p>	<p>評価</p>
<p>福祉のまちづくり条例推進事業</p>	<p>推進</p>	<p>市職員や市内設計士を対象にした「福祉のまちづくり研修」の実施や小学生向けリーフレットの配布等バリアフリーや福祉のまちづくりの普及啓発にと取り組みました。 福祉のまちづくり条例に基づく事前協議や設計相談等に対応しました。</p>	<p>○</p>
<p>公共交通機関のバリアフリー化</p>	<p>鉄道駅舎へのエレベーター等の設置：100% (対象は1日の利用者3,000人以上の駅) ノンステップバス導入率：70%</p>	<p>駅舎エレベーター設置について、令和2年度末時点で、市内158駅中152駅が段差解消済みで、進捗率は96.2%です。ノンステップバス導入について、令和元年度は46台、令和2年度は10台を補助対象としました。 6年間の累計補助台数は、235台で、令和2年度末時点の導入率は79.2%です。</p>	<p>△</p>
<p>ユニバーサルデザインタクト導入促進事業(あ)</p>	<p>平成24年度からの累計助成台数490台</p>	<p>平成24年度からの累計助成台数は286台です。</p>	<p>△</p>
<p>バリアフリーの推進 (バリアフリー基本構想の検討・策定)</p>	<p>未策定地区の新規策定等を推進</p>	<p>令和2年度末までに、18区30駅での策定が完了しています。</p>	<p>○</p>

事業名 <small>じぎょうめい</small> 事業名	目標 <small>もくひょう</small> 目標 <small>だい き かい てい じ</small> (第3期改定時)	<small>だい き けい か く き かん じ っ せ き</small> 第3期計画期間の実績	<small>ひょうか</small> 評価
バリアフリーの推進 <small>すいしん</small> 推進 (バリアフリー歩行空間の整備) <small>ほ こう くう かん</small> (バリアフリー歩行空間の整備) <small>せい び</small> 整備)	バリアフリー化 <small>か</small> 化 整備延長累計 <small>せい び えん ち ょ う りん けい</small> 整備延長累計 <small>き ろ め - と る</small> 42 k m	<small>と つ か え き し ゅ う へ ん ち く ほ し か わ え き</small> 戸塚駅周辺地区、星川駅 <small>し ゅ う へ ん ち く ど う ろ と く て い じ ゃ う</small> 周辺地区の道路特定事業 <small>けい か く み な お お こ な れ い わ</small> 計画の見直しを行い、令和 <small>ね ん ど ま つ ご う け い き ろ め - と る</small> 2年度末で合計45.7 k m のバリアフリー化を行いました。	○
<small>よ こ は ま し こ う き ょ う</small> 横浜市公共サインガイド <small>か い て い</small> ラインの改訂	<small>か い て い</small> 改訂ガイドライン <small>う ん よ う す い し ん</small> の運用推進	<small>と う き ょ う</small> 東京2020オリンピック・パ <small>ら ん ぴ ッ ク に 向 け た 案 内</small> ランピックに向けた案内 <small>ず よ う き ご う じ す かい せい う</small> 図用記号のJIS改正を受け、 <small>へ い せい ね ん が つ よ こ は ま し こ う</small> 平成30年3月に横浜市公 <small>き ょ う</small> 共サインガイドラインを <small>か い て い</small> 改訂しました。改訂後は、 <small>か い て い ご</small> ガイドラインの運用を適切 <small>う ん よ う て き せ つ</small> に行いました。 <small>お こ な</small>	○
<small>が っ こ う し せ つ</small> 学校施設のバリアフリー	<small>す い し ん</small> 推進	<small>く る ま り ょ う と う じ ど う せい と</small> 車いす利用等の児童・生徒 <small>ざ い せ き</small> が在籍しているがエレベ <small>み せい び</small> ターが未整備である学校 <small>が っ こ う</small> に、エレベーターを整備し <small>せい び</small> ました。 <small>れ い わ ね ん ど ま つ る い</small> ・令和2年度末までの累 <small>けい し ょ う ち ゅ う ぎ む き ょ う い く が っ こ う</small> 計：小・中・義務教育学校 <small>こ う ち ゅ う こ う</small> 487校中200校	○

事業名 じぎょうめい	目標 だいきかいていじ (第3期改定時)	第3期計画期間の実績 だい きけいかくきかん じっせき	評価 ひょうか
しょうがいしゃぎやくたいたいさくじぎょう 障害者虐待対策事業 (ふきゅう けいはつ) (普及・啓発)	すいしん 推進	・市民向けの啓発チラシを さくせい へいせい ねん 作成しました(平成29年3 がつ)。 ・国が実施する研修だけ ではなく、市内事業者等を こうし じったい そく 講師とした、より実態に即 ぎやくたいぼうしけんしゅう した虐待防止研修を、29 ねんど じぎょうしゃ かんりしゃ 年度より、事業者の管理者 およ かんりせきにんしゃどう 及びサービス管理責任者等 を対象に、それぞれ毎年2 たいしょう まいとし 回ずつ実施しました。	○
しょうがいしゃさべつかいしょうほうしこう 障害者差別解消法施行に む たいおう 向けた対応	—	・横浜市障害者差別解消 よこはまししょうがいしゃさべつかいしょう 検討部会の提言を受け、障 けんとうぶかい ていげん しょう 害者差別解消の推進に関 がいしゃさべつかいしょう すいしん かん する取組指針を策定しまし とりくみししん さくてい した(平成28年2月)。 へいせい ねん がつ	○
ししよくいんたいおうようりょう さくていおよ 市職員対応要領の策定及 びしゅうち び周知	すいしん 推進	・市職員対応要領を策定 ししよくいんたいおうようりょう さくてい し、各区局向けに周知しま かくくきやくむ しゅうち した。 ・全職員を対象として、 ぜんしよくいん たいしょう 各区局が実施する研修等 かくくきやく じっし けんしゅうどう への障害当事者講師派遣 しょうがいたうじしゃこうし はけん の仕組みを作り、出前講座 しく つく てまえこうざ 等を実施しました。 とう じっし ・全職員・昇任予定者向 ぜんしよくいん しょうにん よていしゃむ けにeラーニングを実施し いー じっし ました。 ・障害理解や合理的配慮 しょうがいりかい ごうりてきはりよ の具体例等を示した庁内 ぐたいれいどう しめ ちょうない 向け通信を発行しました。 む つうしん はっこう	○

じぎょうめい 事業名	もくひょう 目標 だい き かい てい じ (第3期改定時)	だい き けい か く き かん じつ せ き 第3期計画期間の実績	ひょうか 評価
し み ん ふ き ゆ う け い は つ 市民への普及・啓発	す い し ん 推進	こ う ほう よ こ は ま へ の じ し ・ 広報よこはまへの記事 け い さ い け い は つ お こ な 掲載による啓発を行いました。 お も ち て き し ょ う が い ひ と ・ 主に知的障害のある人 たい し ょ う け い は つ し ょ う を対象とした啓発資料(す ご ろ く) を 作 成 ・ 配 布 し ま した。 し ょ う が い ひ と し ょ う が い ・ 「障害のある人と障害 の ない 人 の 交 流 を 通 じ た ひ と こ う り ゅ う と お 啓発活動」に参加した市民 け い は つ か つ ど う さ ん か し み ん が 主 体 と な っ て 継 続 的 に し ゅ た い け い ぞ く て き 展開していくための活動支 て ん か い か つ ど う し 援を行いました。 え ん お こ な	○
そ う だ ん たい せ い と う せ い び 相談体制等の整備	す い し ん 推進	そ う だ ん たい お う か い け つ ・ 相談対応によっても解決 が 図 ら れ な か っ た 差 別 事 案 は か さ べ つ じ あ ん の あ っ せ ん を 行 う 「 横 濱 市 お こ な よ こ は ま し 障 害 者 差 別 の 相 談 に 関 す し ょ う が い し ゃ さ べ つ そ う だ ん かん る 調 整 委 員 会 」 を 設 置 し ま した。 ち ょ う せ い い い ん かい せ つ ち ・ 差別事案だと申し出のあ さ べ つ じ あ ん も う で ったものを「横浜市障 害者 よ こ は ま し し ょ う が い し ゃ 差 別 の 相 談 に 関 す る 調 整 さ べ つ そ う だ ん かん ち ょ う せ い 委 員 会 」 で 話 し 合 い 、 差 別 い い ん かい は な あ さ べ つ だ と 思 わ れ る も の に つ い て お も は 、 あ っ せ ん 案 の 提 示 を 行 あ ん て い じ お こ な いました。	○
ほ う し こ う ご じ つ し じ ょ う き ょ う けん 法施行後の実施状況の検 し ょ う 証	す い し ん 推進	よ こ は ま し し ょ う が い し ゃ さ べ つ か い し ょ う し 横浜市障 害者差別解消支 え ん ち い き き ょ う ぎ かい し ょ う が い し ゃ さ 援地域協議会、障 害者差 べ つ か い し ょ う ち ょ う ない す い し ん かい ぎ 別解消 庁内推進会議にお と り く み じ つ し じ ょ う き ょ う ほ う いて取組の実施状況を報 こ く き ょ う ゆ う 告し、共有しました。	○

じぎょうめい 事業名	もくひょう 目標 だい き かい じ (第3期改定時)	だい き けい かく き かん じ っ せ き 第3期計画期間の実績	ひょうか 評価
よこはま し し みるこうけん にん しょうせい かつ 横浜市市民後見人養成・活 どう し えん じ ぎょう 動支援事業	すいしん 推進	へいせい ねんど ぜんく てんかい 平成26年度から全区展開し てい りん しょうせい かい じ けい ぞく ている養成課程を継続して じ っ じ れい わ ねんど 実施しました。令和2年度 は だい き しょうせい かい じ っ じ しょう 第5期養成課程を実施予 定でしたが、しんがた 新型コロナウイルス イルス感染拡大を受けて実 施をみおく 見送りました。より多 くのバンク とうろく しゃ し みるこう 登録者が市民後 けん にん ひつよう かつ し 見人として、必要な方の支 えん かんけい き かん 援ができるよう、関係機関 と れんけい じゆにん すず 連携して受任を進めてお り、れい わ ねん がつ にちげんざい 令和3年3月31日現在、 めい とうろく 66名がバンク登録されてい ます。	○

じぎょうめい 事業名	もくひょう 目標 (第3期改定時)	だい きけいかくきかん じっせき 第3期計画期間の実績	ひょうか 評価
ほうじんこうけんしえんじぎょう 法人後見支援事業	すいしん 推進	しょうがいしゃ や その かぞく 障害者やその家族にとっ て身近な存在である 障 害者施設等の 職員や管理者 を対象に、平成30年度から 実施している 成年後見制度 の理解促進を目的とした 研 修会を継続して実施した ほか、施設等の依頼による 職員や家族向けの 出前講 座も実施しました。また、 障害者の 成年後見制度利 用に有効とされている 法人 後見の活用について、平成 30年度に作成したリーフレ ットを増刷して 関係機関等 に配布し、広報・啓発や 関係者向けの 研修会等で 活用しました。あわせて、 法人後見を 行っている 団 体間の 情報共有等を目的 に、法人後見支援連絡会を 年2回開催しました。	○
せいねんこうけんせいど りようそくしん 成年後見制度の利用促進に む かんけいだんたい けんとう 向けた関係団体との検討	すいしん 推進	へいせい ねん がつ さくてい 平成31年3月に策定された 横浜市 成年後見制度利用促 進基本計画を受け、成年後 見制度の利用促進のため、 べん ご し かい せんもんしよくだん 弁護士会などの 専門職団 体等と検討を行いました。	○

事業名 <small>じぎょうめい</small>	目標 <small>もくひょう</small> (第3期改定時) <small>だい き かい いてい じ</small>	第3期計画期間の実績 <small>だい き けいかく きかん じっせき</small>	評価 <small>ひょうか</small>
権利擁護事業 <small>けんりようごじぎょう</small>	推進 <small>すいしん</small>	<p> <small>くしゃきやう</small> 区社協あんしんセンターの <small>けんりようごじぎょうけいやくにんずう</small> 権利擁護事業契約人数は増 <small>か けいこう</small> 加傾向となっています。市 <small>みん しえんしゃ せいど しゅうち</small> 民や支援者に制度の周知・ <small>けいはつどう じっし ひつよう ひと</small> 啓発等を実施し、必要な人 <small>そうき けんりようごじぎょう</small> が早期に権利擁護事業を利 <small>よう</small> 用できるように取組を進め <small>とりくみ すす</small> ていきました。また、契約 <small>しゃ はんだんのうりやく みきわ ひつ</small> 者の判断能力を見極め、必 <small>よう かた ほうてい</small> 要な方は、スムーズに法定 <small>こうけん いこう かん</small> 後見に移行できるよう、関 <small>けい きかん れんけい しえん</small> 係機関と連携して支援をし ました。 <small>くしゃきやう</small> <区社協あんしんセンター <small>けんりようごじぎょうけいやくにんずう</small> 権利擁護事業契約人数> <small>へいせい ねんど じん</small> 平成29年度：1,028人 <small>へいせい ねんど じん</small> 平成30年度：1,139人 <small>れいわがんねんど じん</small> 令和元年度：1,147人 <small>れいわ ねんど じん</small> 令和2年度：1,149人 </p>	○

指標名 <small>しひょうめい</small>	平成29年度 <small>へいせい ねんど</small> (実績) <small>じっせき</small>	平成30年度 <small>へいせい ねんど</small> (実績) <small>じっせき</small>	令和元年度 <small>れいわがんねんど</small> (実績) <small>じっせき</small>	令和2年度 <small>れいわ ねんど</small> (実績) <small>じっせき</small>
申立て及び報酬助成件数 <small>もうした およ ほうしゅうじよせいけんずう</small>	148件 <small>けん</small>	187件 <small>けん</small>	205件 <small>けん</small>	235件 <small>けん</small>

テーマ4 い ちから まな はぐく
生きる力を学び・育む

とりぐみ
取組4-1 りょういく
療育

しひょうめい 指標名	へいせい ねんど 平成29年度 じっせき (実績)	へいせい ねんど 平成30年度 じっせき (実績)	れいわがねんど 令和元年度 じっせき (実績)	れいわ ねんど 令和2年度 じっせき (実績)
しょうがいじそうだん 障害児相談 <small>見</small>	2,887人	3,097人	3,219人	3,334人

じぎょうめい 事業名	もくひょう 目標 だい き かい じ (第3期改定時)	だい き けい かく き かん じっせき 第3期計画期間の実績	ひょうか 評価
ちいきりょういく 地域療育センター <small>うんえいじぎょう</small> 運営事業	すいしん 推進	<p>しよしんたいききかん ちようきか 初診待機期間が長期化して いた北部及び東部地域療育 センターに医師等を増員 し、初診待機期間の短縮 に取り組みましたが、平成 30年度以降は当初目標 (初診待機期間3.0月)を たっせい 達成できませんでした。 しかしながら、西部及び東 部地域療育センターに相談 場所を拡充するとともに、 5センターに相談員を増員 し、初診前の支援の充実を はか 図りました。</p>	△

事業名 <small>じぎょうめい</small>	目標 <small>もくひょう</small> (第3期改定時) <small>だい き かい てい じ</small>	第3期計画期間の実績 <small>だい き けい かく き かん じっせき</small>	評価 <small>ひょうか</small>
地域訓練会運営費助成事業 <small>ちいきくんれんかいうんえいひよせいじぎょう</small>	推進 <small>すいしん</small>	障害児の保護者等が、地域 <small>しょうがいじ ほごしゃとう ちいき</small> での支援（ボランティア） <small>しえん</small> を得ながら生活訓練や社会 <small>え せいかつくんれん しゃかい</small> 体験、地域への啓発、交 <small>たいけん ちいき けいはつ こう</small> 流会、学習会等を自主的 <small>りゅうかい がくしゅうかいとう じしゆてき</small> に行う団体活動について <small>おこな だんたいかつどう</small> 支援しました。 <small>しえん</small> 新型コロナウイルス感染 <small>しんがた かんせん</small> 症の影響等で活動を縮 <small>しょう えいきょうとう かつどう しゆく</small> 小している団体に対して <small>しょう だんたい たい</small> も活動支援ができるよう、 <small>かつどうしえん</small> 横浜市社会福祉協議会と <small>よこはまししゃかいふくしきょうぎかい</small> と <small>と</small> 取り組みました。 <small>とりくみ</small> <助成団体数> <small>じよせいだんたいすう</small> 平成27年度～（6年間）： <small>へいせい ねんど ねんかん</small> 延べ322団体 <small>の だんたい</small> （令和2年度：48団体） <small>れいわ ねんど だんたい</small>	△

指標名 <small>しひょうめい</small>		平成29年度 <small>へいせい ねんど</small> (実績) <small>じっせき</small>	平成30年度 <small>へいせい ねんど</small> (実績) <small>じっせき</small>	令和元年度 <small>れいわがねんど</small> (実績) <small>じっせき</small>	令和2年度 <small>れいわ ねんど</small> (実績) <small>じっせき</small>
保育所等訪問 <small>ほいくしょうほうもん</small> 支援・巡回訪 <small>しえん じゆんかいほう</small> 問 <small>もん</small>	(人) <small>にん</small>	1,713人 <small>にん</small>	2,194人 <small>にん</small>	2,453人 <small>にん</small>	1,827人 <small>にん</small>
	(人日) <small>にんにち</small>	13,861人日 <small>にんにち</small>	15,897人日 <small>にんにち</small>	20,050人日 <small>にんにち</small>	13,656人日 <small>にんにち</small>
児童発達支援 <small>じどうはったつしえん</small> ①	(か所) <small>しよ</small>	101か所 <small>しよ</small>	116か所 <small>しよ</small>	150か所 <small>しよ</small>	179か所 <small>しよ</small>
	(人) <small>にん</small>	—	2,945人 <small>にん</small>	3,203人 <small>にん</small>	3,687人 <small>にん</small>
	(人日) <small>にんにち</small>	199,766人日 <small>にんにち</small>	228,309人日 <small>にんにち</small>	249,952人日 <small>にんにち</small>	271,920人日 <small>にんにち</small>
	(か所) <small>しよ</small>	—	3か所 <small>しよ</small>	4か所 <small>しよ</small>	3か所 <small>しよ</small>
	(人) <small>にん</small>	—	9人 <small>にん</small>	14人 <small>にん</small>	17人 <small>にん</small>

しひょうめい 指標名		へいせい ねんど 平成29年度 (実績)	へいせい ねんど 平成30年度 (実績)	れいわがねんど 令和元年度 (実績)	れいわ ねんど 令和2年度 (実績)
いりょうがたじ どうはつ 医療型児童発 達支援 ^①	(か所)	9か所	9か所	9か所	9か所
	(人)	—	192人	170人	161人
	(人日)	18,604人日	16,974人日	15,721人日	12,330人日
きょたくほうもんがたじ 居宅訪問型児 童発達支援 ^①	(か所)	—	0か所	0か所	0か所
	(人)	—	0人	0人	10人
	(人日分)	—	0人日分	0人日分	137人日分
こども・子育て支援等(保 育所、放課後児童健全育成 事業所等)における障害児 の受け入れ体制の整備 ^①		—	すいしん 推進	すいしん 推進	すいしん 推進
ほうかごとう 放課後等デイサ ービス事業 ^①	(か所)	262か所	292か所	332か所	365か所
	(人)	—	6,468人	7,246人	7,845人
	(人日)	652,983人日	772,894人日	883,285人日	958,067人日
うち、主に 重症心身 障害児を支 援する事業 所	(か所)	—	13か所	16か所	18か所
	(人)	—	227人	288人	310人
	(人日)	—	19,384人日	15,985人日	13,859人日

じぎょうめい 事業名	もくひょう 目標 (第3期改定時)	だい きけいかくきかん じっせき 第3期計画期間の実績	ひょうか 評価
がくれいこうきしょうがいじしえんじぎょう 学齢後期障害児支援事業	4か所	そうだんたいおうのべけんすう ぞう かけいこう 相談対応延件数の増加傾向 を踏まえ、4か所目の事業 じっし けんとう 実施を検討しました。	△

じぎょうめい 事業名	もくひょう 目標 (第3期改定時)	だい きけいかくきかん じっせき 第3期計画期間の実績	ひょうか 評価
よこはまがた 横浜型センター的機能の じゅうじつ 充実	すいしん 推進	とくべつしえんがっこう つうきゅうしどうきょう 特別支援学校、通級指導教 しつおよ ちいきりょういく どう 室及び地域療育センター等 による横浜型センター的機 のう かつよう がっこう しえん けい 能を活用した学校支援を継 ぞくてき じっし しょう ちゅうが 続的に実施し、小・中学 こうとう えんかつ うんえい いちじょ 校等の円滑な運営の一助と しました。	○
とくべつしえんきょういく 特別支援教育における幼 ほしょう れんけい 保小の連携	すいしん 推進	よこはましりつがっこう 横浜市立学校カリキュラ ム・マネジメント要領(特 べつしえんきょういくへん もと 別支援教育編)に基づき、 さまざま きかい たら じょうほう 様々な機会を捉えて情報 を発信することで、切れ目 のなしえん のない支援につなげまし た。	○
しゅうがくせつめいかい 就学説明会	すいしん 推進	がつ がつ まい 5月から6月にかけて、毎 とし かいじょう しゅうがくせつめいかい 年20回以上の就学説明会 をじっし かんせんぼうし を実施しました(感染防止 のため令和2年度は実施せ ず)。	○
しゅうがく きょういくそうだん たいせいきょう 就学・教育相談の体制強 か 化	すいしん 推進	まいとしやく けん しゅうがく きょう 毎年約4,000件の就学・教 いくそうだん おこな もう 育相談を行いました。申し こ けんすう ねんねんそうか 込み件数は年々増加してい ます。	○

事業名 <small>じぎょうめい</small> 事業名	目標 <small>もくひょう</small> 目標 <small>だい き かい てい じ</small> (第3期改定時)	<small>だい き けい か く き かん じつ せ き</small> 第3期計画期間の実績	<small>ひょうか</small> 評価
<small>ちょうかくしょうがいじしえんじぎょう</small> 聴覚障害児支援事業	<small>すいしん</small> 推進	<small>しりつしょう ちゅう ぎ む きょういっくがっ</small> 市立小・中・義務教育学 <small>こう ざいせき ちょうかくしょうがい</small> 校に在籍する聴覚障害の <small>じどうせいと</small> ある児童生徒にノートテイ <small>はけん</small> クボランティアを派遣し <small>じょうほう ほしょう と く</small> 情報の保障に取り組みま した。 <small>りようかいすう</small> <利用回数> <small>へいせい ねんど かい</small> 平成27年度：470回 <small>へいせい ねんど かい</small> 平成28年度：390回 <small>へいせい ねんど かい</small> 平成29年度：334回 <small>へいせい ねんど かい</small> 平成30年度：420回 <small>れいわがねんど かい</small> 令和元年度：350回 <small>れいわ ねんど かい</small> 令和2年度：667回	○
<small>ほごしやきょうしつかいさいじぎょう</small> 保護者教室開催事業	<small>すいしん</small> 推進	<small>なんちょう げん ごしょうがい はったつしょう</small> 難聴・言語障害、発達障 <small>がい ほごしやかい</small> 害をテーマにした保護者会 <small>まいとしかく かい かいさい</small> を毎年各3回、開催しまし <small>かんせんぼうし れいわ</small> た(感染防止のため令和2 <small>ねんど じっし</small> 年度は実施せず)。	○
<small>なつやす しえんじぎょう きゅうがくれい</small> 夏休み支援事業(旧学齡 <small>しょうがいじなつやす しえんじぎょう</small> 障害児夏休み支援事業)	<small>すいしん</small> 推進	<small>とくべつしえんがっこう なつやす きかん</small> 特別支援学校の夏休み期間 <small>かくこう じつじょう あ</small> に、各校の実情に合わせ <small>かいほう ぶかつどう</small> て、プール開放や部活動・ <small>かつどうとう</small> レクリエーション活動等の <small>よ か かつどう じっし</small> 余暇活動を実施しました。	○

事業名 <small>じぎょうめい</small>	目標 <small>もくひょう</small> (第3期改定時) <small>だい き かい てい じ</small>	第3期計画期間の実績 <small>だい き けい かく き かん じつ せき</small>	評価 <small>ひょうか</small>
私立幼稚園等特別支援教 <small>し り つ よ う ち え ん ど う と く べ つ し え ん き ょ う</small> 育費補助事業 <small>い く び ほ じ ゃ じ ゃ う</small>	推進 <small>すいしん</small>	私学助成の私立幼稚園等で <small>し が く じ ゃ せ い し り つ よ う ち え ん ど う</small> 障害児利用に対して経費 <small>し ょ う が い じ り よ う たい けい ひ</small> 助成を行いました。 <small>じ ゃ せ い お こ な</small> <対象園児数/補助総額> <small>たい しょう え ん じ す ー ぼ じ ゃ ー じ ゃ う ぐ</small> 平成27年度 <small>へい せい ね ん ど</small> : 838人/165,784千円 <small>に ん せ ん え ん</small> 平成28年度 <small>へい せい ね ん ど</small> : 903人/180,600千円 <small>に ん せ ん え ん</small> 平成29年度 <small>へい せい ね ん ど</small> : 841人/168,198千円 <small>に ん せ ん え ん</small> 平成30年度 <small>へい せい ね ん ど</small> : 771人/153,500千円 <small>に ん せ ん え ん</small> 令和元年度 <small>れい わ が ん ね ん ど</small> : 680人/136,000千円 <small>に ん せ ん え ん</small> 令和2年度 <small>れい わ ね ん ど</small> : 600人/120,000千円 <small>に ん せ ん え ん</small>	○
特別支援教育コーディネ <small>と く べ つ し え ん き ょ う い く</small> ーターの機能強化とスキル <small>き の う き ょ う か</small> アップ(旧発達障害児等 <small>き ゅ う は た つ し ょ う が い じ と う</small> 支援事業) <small>し え ん じ ゃ ー じ ゃ う</small>	推進 <small>すいしん</small>	特別支援教育コーディネ <small>と く べ つ し え ん き ょ う い く</small> ーター養成に加え、スキル <small>よ う せい く わ</small> アップ研修を行い、さら <small>け ん し ゅ う お こ な</small> なる専門性の向上を図る <small>せん も ん せい こ う じ ょ う は か</small> とともに、協議会を開催し、 <small>き ょ う ぎ かい かい さい</small> 情報共有・事例検討等を <small>じ ょ う ほう き ょ う ゆ う じ れ い け ん と う と う</small> 進めました。 <small>すす</small>	○
ユニバーサルデザインの <small>し え ん じ ゃ ー じ ゃ う</small> 視点に基づく授業の展開 <small>し じ ゃ ー じ ゃ う て ん かい</small>	推進 <small>すいしん</small>	全ての子どもの意欲を高め <small>す べ こ い よ く た か</small> 理解を深める授業づくり <small>り かい ふ か じ ゅ ぎ ょ う</small> に向けた教職員への研 <small>む き ょ う し ゅ く い ん けん</small> 修や、ハマ・アップ授業 <small>し ゅ う じ ゅ ぎ ょ う</small> づくり講座等を通して、学 <small>こ う ざ と う と お が つ</small> 校への支援を行いました。 <small>こ う し え ん お こ な</small>	○

事業名 <small>じぎょうめい</small> 事業名	目標 <small>もくひょう</small> 目標 <small>だい き かい じ</small> (第3期改定時)	第3期計画期間の実績 <small>だい きけいかくきかん じっせき</small> 第3期計画期間の実績	評価 <small>ひょうか</small> 評価
特別支援学校におけるICT機器の活用 <small>とくべつしえんがっこう あいしー</small> 特別支援学校におけるICT <small>てい-きき かつよう</small> T機器の活用	推進 <small>すいしん</small> 推進	特別支援学校全13校において、タブレット端末やWi-Fi環境など必要な整備を進めながら、指導方法の充実に向けた研究を行いました。	○
特別支援学校の再編整備 <small>とくべつしえんがっこう さいへんせいび</small> 特別支援学校の再編整備	推進 <small>すいしん</small> 推進	肢体不自由特別支援学校の新規開校、スクールバスの長時間化の解消に向けた取組や医療的ケアの体制充実など、教育環境の向上に向けて取組を進めました。	△
特別支援学校スクールバスの運行 <small>とくべつしえんがっこう</small> 特別支援学校スクールバス <small>うんこう</small> の運行	推進 <small>すいしん</small> 推進	医療的ケア等によりスクールバスでの通学が困難な児童生徒を対象に福祉車両等による通学支援を試行するなど、通学支援の充実に取り組みました。	○
特別支援学校医療的ケア体制整備事業（旧肢体不自由特別支援学校医療的ケア体制整備事業） <small>とくべつしえんがっこういりょうてき たい</small> 特別支援学校医療的ケア体 <small>せいせいび じぎょう きゅう たいふ じ</small> 制整備事業（旧肢体不自 <small>ゆうとくべつしえんがっこういりょうてき</small> 由特別支援学校医療的ケア <small>たいせいせいびじぎょう</small> 体制整備事業）	推進 <small>すいしん</small> 推進	肢体不自由特別支援学校6校に看護師を配置するなど、医療的ケアを伴う児童生徒が安心・安全に教育を受けられる環境整備の充実に取り組みました。	○
校内研修の実施 <small>こうないけんしゅう じっし</small> 校内研修の実施	推進 <small>すいしん</small> 推進	全ての小・中学校等において「障害者差別解消法施行に伴う合理的配慮」や「発達障害の理解を深めるために」など各校の実情に応じたテーマで校内研修を実施しました。	○

事業名 <small>じぎょうめい</small> <small>じぎょうめい</small>	目標 <small>もくひょう</small> (第3期改定時) <small>だい き かい いてい じ</small>	第3期計画期間の実績 <small>だい きけいかくきかん じっせき</small>	評価 <small>ひょうか</small>
特別支援教育支援員事業 <small>とくべつ しえん きょういく しえんいん じぎょう</small> (旧障害児学校生活支援員 <small>きゅうしょうがいじがっこうせいかつしえんいん</small> <small>じぎょう</small> <small>じぎょう</small> 事業)	推進 <small>すいしん</small>	小・中学校等において、 <small>しょう ちゅうがっこうとう</small> 障害などにより学習面、 <small>しょうがい がくしゅうめん</small> 生活面や安全面への支援が <small>せいかつめん あんぜんめん しえん</small> 必要な児童生徒に対し、特 <small>ひつよう じどうせいと たい とく</small> 別支援教育支援員を配置 <small>べつ しえんきょういく しえんいん はい ち</small> しました。	○
特別支援教育のリーダー <small>とくべつ しえんきょういく</small> <small>とくべつ しえんきょういく</small> の育成 <small>いくせい</small>	推進 <small>すいしん</small>	大学等専門機関への派遣を <small>だいがくとうせんもんきかん はけん</small> 行うことにより、特別支 <small>おこな とくべつ し</small> 援教育を担う教員のリー <small>えんきょういく にな きょういん</small> ダーの養成を行いました。 <small>ようせい おこな</small>	○
特別支援学校就労支援事業 <small>とくべつ しえんがっこうしゅうろうしえんじぎょう</small> <small>とくべつ しえんがっこうしゅうろうしえんじぎょう</small>	推進 <small>すいしん</small>	高等特別支援学校(日野 <small>こうとうとくべつ しえんがっこう ひ の</small> <small>ちゅうおう ふた ばし わか ば だい ち</small> 中央、二つ橋、若葉台知 <small>てきしょうがいきょういく ぶ もん</small> 的障害教育部門)の3校 <small>ひとり しゅうろうしえん しどう</small> に1人ずつ就労支援指導 <small>いん はい ち かくこう</small> 員を配置し、各校における <small>じっしゅうさきかいたく しょく ば てい ちやく</small> 実習先開拓や職場定着 <small>しえん と く</small> 支援に取り組みました。	○
特別支援学校進路担当者 <small>とくべつ しえん がっこう しんろ たんどうしゃ</small> 連絡会の開催 <small>れんらくかい かいさい</small>	推進 <small>すいしん</small>	市立特別支援学校の進路担 <small>しりつとくべつ しえんがっこう しんろ たん</small> 当者が障害種別を超えて <small>とうしゃ しょうがいしゅべつ こ</small> 年5回程度情報交換や事 <small>ねん かい いてい ど じょうほうこうかん じ</small> 例研究を行い、幅広い進 <small>れいけんきゅう おこな はばひろ しん</small> 路選択に対応できるよう取 <small>る せんたく たいおう と</small> り組みました。	○

じぎょうめい 事業名	もくひょう 目標 (第3期改定時)	だい きけいかくきかん じっせき 第3期計画期間の実績	ひょうか 評価
がくせいとう たいしやう じんざい 学生等を対象とした人材 かくほじぎやう の確保事業(あ)	すいしん 推進	しょうがいふくし しごと みりよく ① 障害福祉の仕事の魅力を つた とう を伝えるプロモーション動 が ほんさくせい 画を2本作製しました。 しょうがいしゃしえんしせつ はたら ・ 障害者支援施設で働く こと (平成29年度作成) ・ グループホームで働く こと (令和元年度作成) ② プロモーション動画(こう)を公 きやうこうつうきかん かくしゆ 共交通機関や各種イベン とうで放映(ほうえい)しました。 とうきやうこうつうきかん ほうえい < 公共交通機関での放映 につう 日数 > へいせい ねんど の にち 平成30年度：延べ82日 れいわ がんねんど の にち 令和元年度：延べ59日 れいわ ねんど の にち 令和2年度：延べ56日 しょうがいふくしじぎやうしよ とっか ③ 障害福祉事業所に特化し きゆうじん しこうてき た求人サイトを試行的に かいせつ うんえい 開設・運営(ほうえい)しました。 かいせつじき れいわがんねんど がつ 開設時期：令和元年度11月 けいさいきゆうじんけんすう るいけい 掲載求人件数(累計) : 420件	○

事業名 <small>じぎょうめい</small> 事業名	目標 <small>もくひょう</small> 目標 <small>だい き かい てい じ</small> (第3期改定時)	<small>だい き けい か く き かん じ っ せ き</small> 第3期計画期間の実績	<small>ひょうか</small> 評価
<small>しょうがいとくせい おう し えん</small> 障害特性に応じた支援の <small>けんしゅう</small> ための研修	<small>すいしん</small> 推進	<small>しょうがいふくし じぎょう</small> ・障害福祉サービス事業 <small>しょうとう しょくいん たいしょう こう</small> 所等の職員を対象に、行 <small>どうしょうがい かか し えんりょくこう</small> 動障害に係る支援力向 <small>じょう はか けんしゅう し</small> 上を図るための研修を市 <small>ないほうじん きょうどう</small> 内法人が共同して「オール <small>よこはま じっし</small> 横浜」として実施しました <small>さいけい</small> (再掲)。 <small>はったつしょうがい かん いち じ</small> ・発達障害に関する一次 <small>そうだん し えん き かん し えん</small> 相談支援機関の支援スキル <small>こうじょう けんしゅう じっし</small> 向上のため、研修を実施 しました。	○
<small>いりょうじゆうじしゃけんしゅうじぎょう</small> 医療従事者研修事業 <small>さいけい</small> 【再掲】㊦	<small>すいしん</small> 推進	<small>いりょうきかん ふくししせつとう きん</small> 医療機関や福祉施設等に勤 <small>む かん ご し たいしょう</small> 務する看護師を対象に <small>しょう に ほうもんかん ご じゅうしょうしん</small> 「小児訪問看護・重症心 <small>しんしょうがい じしゃけんしゅう まいとし</small> 身障害児者研修」を毎年 <small>じっし</small> 実施しました。 <small>し ない けんしゅうしゅうりょうしやすう</small> <市内研修修了者数> <small>へいせい ねんど にん</small> 平成27年度：22人 <small>へいせい ねんど にん</small> 平成28年度：32人 <small>へいせい ねんど にん</small> 平成29年度：30人 <small>へいせい ねんど にん</small> 平成30年度：29人 <small>れいわがねんど にん</small> 令和元年度：38人 <small>れいわ ねんど にん</small> 令和2年度：29人	○
<small>しょうがいふくし し せつ とう はたら かん</small> 障害福祉施設等で働く看 <small>ごし し えん さいけい</small> 護師の支援【再掲】㊦	<small>すいしん</small> 推進	<small>ち かつ た き の う が た き よ て ん</small> 地活ホームや多機能型拠点 <small>たいしょう し か い し</small> を対象に、歯科医師による <small>じゅんかいそうだん せんもんい</small> 巡回相談や専門医による <small>けんしゅう こうれい</small> てんかん研修のほか、高齢 <small>し せつ けん が く かい かん ご し とう</small> 施設見学会や看護師等のネ <small>ネット</small> ットワークづくりのための <small>かん ご し とう かい ぎ じっし</small> 看護師等会議を実施しまし た。	○

事業名 <small>じぎょうめい</small> <small>じぎょうめい</small> 事業名	目標 <small>もくひょう</small> 目標 <small>だい き かい てい じ</small> (第3期改定時)	第3期計画期間の実績 <small>だい き けい かく き かん じっ せ き</small> 第3期計画期間の実績	評価 <small>ひょうか</small> 評価
就労支援機関の人材育成 <small>しゅうろうしえんきかん じんざいいくせい</small> 就労支援機関の人材育成	推進 <small>すいしん</small> 推進	各センター間での支援員の <small>かく かん しえんいん</small> 各センター間での支援員の <small>じん じこうりゅう つう しえんしゅ</small> 人事交流を通じた支援手 <small>ほうとう きょうゆう じっし</small> 法等の共有を実施しまし た。また、各就労支援セ <small>かくしゅうろうしえん</small> ンター職員のワーキング <small>しよくいん</small> グループによる「一次相 <small>いち じ そう</small> 談」「企業支援」をテーマ <small>だん きぎょう しえん</small> とする検討会を開催しまし <small>けんとうかい かいさい</small> た。	○
障害福祉サービス事業所 <small>しょうがいふくし じぎょうしょ</small> 障害福祉サービス事業所 <small>とうしよくいんむ けんしゅう</small> 等職員向けの研修	参加人数(累計) <small>さんか にんずう るいけい</small> 参加人数(累計) 380人 <small>にん</small>	市内企業・団体の協力の <small>し ない きぎょう だんたい きょうりよく</small> 市内企業・団体の協力の <small>し ない じぎょうしょしよくいん</small> もと、市内事業所職員を <small>たいしょう じっし</small> 対象に実施しました(毎 <small>ねん ども</small> 年度6～7月)。 ・平成27年度～令和元年度 <small>きょうりよく きぎょうすうのいけい</small> 協力企業数累計：126社 <small>へいせい ねん ども れいわ がんねん ども</small> ・平成27年度～令和元年度 <small>さんか しゃすうのいけい</small> 参加者数累計：302名 ※ 令和2年度は新型コロ <small>れいわ ねん ども しんがた</small> ナウイルス感染症対策の <small>かんせんしょうたいさく</small> ため、中止としました。 <small>ちゅうし</small>	○

じぎょうめい 事業名	もくひょう 目標 だい き かい てい じ (第3期改定時)	だい き けい かく き かん じつ せ き 第3期計画期間の実績	ひょうか 評価
ガイドヘルパー等研修受 講料助成(あ)	すいしん 推進	じよせいにんずう そうじよせいがく <助成人数/総助成額> へいせい ねんど じん 平成27年度：183人 せんえん /3,285千円 へいせい ねんど じん 平成28年度：210人 せんえん /3,759千円 へいせい ねんど じん 平成29年度：277人 せんえん /4,868千円 へいせい ねんど じん 平成30年度：276人 せんえん /5,159千円 れいわがねんど じん 令和元年度：181人 せんえん /3,411千円 れい わ ねん ど 令和2年度 じん : 130人/2,554千円	○
ガイドヘルパースキルアッ プ研修(あ)	すいしん 推進	さんかじんずう <参加人数> ていきようせきにんしゃむ ・サービス提供責任者向 けんしゅう け 研 修 へいせい ねんど じん 平成27年度：104人 へいせい ねんど じん 平成28年度：132人 へいせい ねんど じん 平成29年度：74人 へいせい ねんど じん 平成30年度：99人 れいわがねんど じん 令和元年度：107人 じゅうぎょうしゃむ けんしゅう ・従業者向け研修 へいせい ねんど じん 平成27年度：274人 へいせい ねんど じん 平成28年度：250人 へいせい ねんど じん 平成29年度：101人 へいせい ねんど じん 平成30年度：220人 れいわがねんど じん 令和元年度：216人 れい わ ねん ど しんがた (令和2年度は新型コロナウイルス ウイルス感染症拡大防止 のため中止)	○

じぎょうめい 事業名	もくひょう 目標 だい き かい てい じ (第3期改定時)	だい き けい か く き かん じつ せ き 第3期計画期間の実績	ひょうか 評価
しゃかい さん か すい しん 社会参加推進センターによ る だん たい か つ どう し えん き の う じ ゅ う 団体活動支援機能の充 じつ 実	すい しん 推進	しょうがいしゃ じりつ しゃかいさん か 障害者の自立や社会参加 とう そく しん とう じ しゃ 等を促進するための当事者 による じぎょう じぎょう じつ し 事業を17事業実施 しています。	○
しょうがいしゃ ほん にん およ か ぞ く 障害者本人及び家族によ る ふ き ゅ う けい は つ か つ どう すい しん 普及・啓発活動の推進 さい けい 【再掲】	すい しん 推進	しゃかいさん か すい しん 社会参加推進センターによ り、 ふ き ゅ う けい は つ 普及啓発リーフレット さく せい およ はい ふ お こ な の作成及び配布を行いま した。また、 しょうがいしゃ し ゅ う か ん 障害者週間 にあ っ わ せ た こう えん かい じつ し 合わせた講演会の実施を しました。	○

とくみ 取組5-1 しゅうろう 就労

じぎょうめい 事業名	もくひょう 目標 (だい き かい いてい じ 第3期改定時)	だい き けい かく き かん じ っ せ き 第3期計画期間の実績	ひょうか 評価
しゅうろうしえん 就労支援センター(9か所)	しえんたいしゅうしやすう 支援対象者数(9 か所計) 4,400人	しえんたいしゅうしやすう <支援対象者数> へいせい ねんど じん 平成27年度：4,439人 へいせい ねんど じん 平成28年度：4,316人 へいせい ねんど じん 平成29年度：4,722人 へいせい ねんど じん 平成30年度：4,553人 れいわがねんど じん 令和元年度：4,541人 れいわ ねんど じん 令和2年度：4,149人	○
しゅうろうしえんきかん じんざいくせい 就労支援機関の人材育成 【再掲】	すいしん 推進	かく かん しえんじん 各センター間での支援員の じん じ ころりゅう つう しえんしゅ 人事交流を通じた支援手 ほうとう きょうゆう じっし 法等の共有を実施しまし た。また、各就労支援セ ンター職員 <small>しよくいん</small> のワーキング グループによる「一次相 談」 <small>だん</small> 「企業支援」 <small>きぎょうしえん</small> をテーマ とする検討会 <small>けんとうかい</small> を開催 <small>かいさい</small> しまし た。	○

じぎょうめい 事業名	もくひょう 目標 だい き かい てい じ (第3期改定時)	だい き けい か く き かん じ っ せ き 第3期計画期間の実績	ひょうか 評価
はたら 働きたい！わたしのシン ポジウム	さんかしゃすう るいけい 参加者数（累計） 3,000人	「 ^{はたら} 働きたい！わたしのシンポジウム」を ^{かいさい} 開催し、 ^{とう} 当 事者・ご家族等に対して ^{しゅうろうけいはつじぎょう} 就労啓発事業を実施しま した。 ・平成27年度～令和2年度 ^{るいけいさんかしゃすう} 累計参加者数：2,242人 ※ ^{れいわねんど} 令和2年度は ^{しんがた} 新型コロ ナウイルス ^{かんせんしょうたいさく} 感染症対策の ため ^{ちゅうし} 中止とし、 ^{だいたい} 代替として ^{かこ} 過去のシンポジウムについ てまとめたホームページを ^{さくせい} 作成しました。	○
きぎょう ふくし 企業と福祉をつなぐセミナ ー	さんかきぎょうすう 参加企業数 ^{るいけい} (累計) 240社	^{かながわけん たとし ごうどう} 神奈川県や他都市と合同で ^{きぎょうむ} 企業向けセミナーを実施し ました。 ・平成27年度～令和2年度 ^{るいけい} 累計：303社（見込み）	○
しょうがいしゃこようじれい しょうかい 障害者雇用事例の紹介	しょうかいきぎょうすう 紹介企業数 ^{るいけい} (累計) 150社	^{きぎょう だんたいどう} 企業や団体等へのヒアリン グを行い、 ^{おこな} 順次ウェブペ ージへの ^{けいさい} 掲載を行うとと もに、より ^{こうかてき} 効果的な ^{じれい} 事例 ^{しょうかいほうほう} 紹介方法の ^{けんどう} 検討を行いま した。また、 ^{げんざいけいさい} 現在掲載され ている ^{きぎょう} 企業を中心に、 ^じ 事 例紹介に関する ^{かん} アンケー トを実施しました。 ・ ^{しょうかいきぎょうすう} 紹介企業数（ ^{るいけい} 累計）： 106社	○

事業名 じぎょうめい	目標 目 標 （第3期改定時） だい き かい てい じ	第3期計画期間の実績 だい き けい かく き かん じっせき	評価 ひょうか
中小企業への障害者雇用支援 ちゅうしょうきぎょう しょうがいしゃ こ ようしえん	推進 すいしん	経済団体等に出向き、雇用事例の紹介、支援機関や助成金などの情報発信を行う出前講座を実施しました。 けいざいだんたいとう で お こよう じ れい しょうかい しえん きかん じょせいきん じょうほうはっしん おこな てまえこうぎ じっし ・平成27年度～令和2年度 累計：218社 へいせい ねん ど れいわ ねん ど るいけい しゃ	○
地域における就労支援ネットワークの構築 ちいき じゅうろうしえん こうちく	推進 すいしん	就労支援センターを中心に、特別支援学校やハローワーク、医療機関との研修会や連絡会を実施しました。 じゅうろうしえん ちゅうしん に、とくべつしえんがっこう いりようきかん けん しゅうかい れんらくかい じっし	○

指標名 しひょうめい	平成29年度 実績 へいせい ねん ど じっせき	平成30年度 実績 へいせい ねん ど じっせき	令和元年度 実績 れいわ ねん ど じっせき	令和2年度 実績 れいわ ねん ど じっせき
福祉施設から一般就労への移行者数 ^福 ふくししせつ いっぱんじゅうろう いこうしゃすう	450人 にん	422人 にん	517人 にん	— ※
就労移行支援事業の利用者数 ^福 じゅうろういこうしえんじぎょう りよう しゃすう	1,088人 にん	1,263人 にん	1,319人 にん	1,311人 にん
就労移行支援の利用者のうち就労移行率が3割以上の事業所の割合 ^福 じゅうろういこうしえん りようしゃ しゅうろういこうりつ わりい じょう じぎょうしょ わりあい	46.7 % ぱーせんと	30.8 % ぱーせんと	8.7 % ぱーせんと	— ※
就労定着支援利用者数 ^福 じゅうろうていちゃくしえんりようしゃすう	—	122人 にん	458人 にん	617人 にん

※ 翌年度に調査を実施するため、数値を把握していません。

事業名 じぎょうめい	目標 だいきかいていじ (第3期改定時)	第3期計画期間の実績 だい きけいかくきかん じっせき	評価 ひょうか
障害福祉サービス事業所 しょうがいふくし じぎょうじよ 等職員向けの研修【再掲】 どうしょくいんむ けんしゅう さいけい	参加人数(累計) さんかになんずう るいけい 380人 380にん	市内企業・団体の協力の しないきぎょう だんたい きょうりよく もと、市内事業所職員を しな い じぎょうしよしよくいん 対象に実施しました(毎 たいしやう じっし まい 年度6～7月)。 ねん ど がつ ・平成27年度～令和元年度 へいせい ねん ど れいわ がんねん ど 協力企業数累計：126社 きょうりよく きぎょうすうのいけい しゃ ・平成27年度～令和元年度 へいせい ねん ど れいわ がんねん ど 参加者数累計：302名 さんかしゃすうのいけい めい ※ 令和2年度は新型コロナ れいわ ねん ど しんがた ナウイルス感染症対策の かんせんしやうたいさく ため、中止としました。 ちゆうし	○

じぎょうめい 事業名	もくひょう 目標 (第3期改定時)	だい きけいかくきかん じっせき 第3期計画期間の実績	ひょうか 評価
よこはましょうがいしゃきょうどうじゆ よこはま障害者共同受 ちゆうそうごう 注総合センターの運営	かめいしせつ 加盟施設における 「月額平均工賃」 が10%以上 じょうしょう 上昇	センターを開設した平成27 ねんど かいせつ へいせい 年度の加盟施設数は約200 か所でしたが、現在は330 か所を超え、様々なイベン トでの 出店 調整や公園・ 歩道の清掃、学校内の軽作 業等の受注調整によ り、受注 機会の促進や販 路拡大を図りました。 企業等の訪問時には、作 業等の受注とともに、福 祉的就労に関する啓発を 行い、新規依頼にも繋が りました。 また、加盟施設の受注ス キル向上や販路拡大を目 的とした研修を実施しま した。 ※ 加盟施設における月額 平均工賃上昇率：約30 % (対平成27年度比)	○
ゆうせんちやうたつすいしん 優先調達推進のための庁 内への啓発	すいしん 推進	毎年度、優先調達方針を 策定し、発注事例を「ハ ートオーダー通信」として 庁内LANに掲載するととも に(平成27年度～令和2年 度累計26号発行)、横展開 が期待される事例に関わる 庁内会議等で、発注の 促進を行いました。	○

事業名 じぎょうめい	目標 むくひょう (第3期改定時) だい き かい てい じ	第3期計画期間の実績 だい きけいかくきかん じっせき	評価 ひょうか
対象事業所の拡大に向けた検討 たいしょうじぎょうしょ かくだい む けんとう	推進 すいしん	「横浜市障害者支援施設 よこはまししょうがいしゃしえんしせつ 等に準ずる者の認定にか とう じゅん もの にんてい かる要綱」において認定し ようこう にんてい た10事業所について、庁 じぎょうしょ ちょう 内会議等で周知を図りま ないかいぎとう しゅうち はか した。	○

とくみ 取組5-3 日中活動
にちゅうかつどう

指標名 しひょうめい	平成29年度 へいせい ねんど じっせき (実績)	平成30年度 へいせい ねんど じっせき (実績)	令和元年度 れいわ ねんど じっせき (実績)	令和2年度 れいわ ねんど じっせき (実績)	
生活介護(福) せいかつかいご	(人分) にんぶん	7,375人分 にんぶん	7,616人分 にんぶん	8,049人分 にんぶん	8,195人分 にんぶん
	(人日) にんにち	122,126人日 にんにち	127,071人日 にんにち	133,245人日 にんにち	136,891人日 にんにち
自立訓練(機能 くんれん 訓練)(福) じりつくんれん きのう	(人分) にんぶん	29人分 にんぶん	31人分 にんぶん	38人分 にんぶん	36人分 にんぶん
	(人日) にんにち	478人日 にんにち	500人日 にんにち	554人日 にんにち	550人日 にんにち
自立訓練(生活 くんれん 訓練)(福) じりつくんれん せいかつ	(人分) にんぶん	210人分 にんぶん	241人分 にんぶん	283人分 にんぶん	325人分 にんぶん
	(人日) にんにち	3,410人日 にんにち	3,941人日 にんにち	4,494人日 にんにち	5,300人日 にんにち
就労移行支援 じぎょう 事業(福) しゅうろういこうしえん	(人分) にんぶん	1,088人分 にんぶん	1,263人分 にんぶん	1,319人分 にんぶん	1,311人分 にんぶん
	(人日) にんにち	18,458人日 にんにち	21,429人日 にんにち	22,286人日 にんにち	23,045人日 にんにち
就労継続支援 じぎょう 事業(A型)(福) しゅうろうけいぞくしえん	(人分) にんぶん	705人分 にんぶん	801人分 にんぶん	796人分 にんぶん	740人分 にんぶん
	(人日) にんにち	13,720人日 にんにち	15,419人日 にんにち	15,143人日 にんにち	14,111人日 にんにち
就労継続支援 じぎょう 事業(B型)(福) しゅうろうけいぞくしえん	(人分) にんぶん	3,692人分 にんぶん	3,858人分 にんぶん	3,987人分 にんぶん	4,250人分 にんぶん
	(人日) にんにち	62,686人日 にんにち	65,769人日 にんにち	66,277人日 にんにち	70,700人日 にんにち
地域活動支援セ ンター作業所型 ちいきかつどうしえん センター (福)	(か所) しよ	154か所 しよ	155か所 しよ	152か所 しよ	138か所 しよ
	(人) にん	3,193人 にん	3,115人 にん	3,119人 にん	2,834人 にん
中途障害者地 域活動センター ちゅうとしょうがいしゃち いきかつどう センター (福)	(か所) しよ	18か所 しよ	18か所 しよ	18か所 しよ	18か所 しよ
	(人) にん	534人 にん	523人 にん	496人 にん	496人 にん

事業名 じぎょうめい	目標 だいきかいていじ (第3期改定時)	第3期計画期間の実績 だい きけいかくきかん じっせき	評価 ひょうか
いどうじょうほう センター 運営等 移動情報センター運営等 じぎょう すいしん 事業の推進(あ)	そうだんけんすう 相談件数3,600件	<相談件数> へいせい ねんど けん 平成27年度：1,647件 (累計12区) へいせい ねんど けん 平成28年度：2,267件 (累計15区) へいせい ねんど けん 平成29年度：2,686件 (全区) へいせい ねんど けん 平成30年度：2,966件 (全区) れいわがねんど けん 令和元年度：3,053件 (全区) れいわ ねんど けん 令和2年度：2,168件 (全区)	△
ガイドヘルパー等研修受 講料助成【再掲】(あ)	すいしん 推進	<助成人数/総助成額> へいせい ねんど じん 平成27年度：183人 /3,285千円 へいせい ねんど じん 平成28年度：210人 /3,759千円 へいせい ねんど じん 平成29年度：277人 /4,868千円 へいせい ねんど じん 平成30年度：276人 /5,159千円 れいわがねんど じん 令和元年度：181人 /3,411千円 れいわ ねんど じん 令和2年度：130人 /2,554千円	○

事業名 <small>じぎょうめい</small> <small>じぎょうめい</small>	目標 <small>もくひょう</small> (第3期改定時) <small>だい き かい てい じ</small>	第3期計画期間の実績 <small>だい き けい かく き かん じっ せ き</small>	評価 <small>ひょう け</small>
ガイドヘルパースキルアップ研修【再掲】 <small>がいどへるぱーすきるあっぷけんしゅう</small> <small>さいけい</small> ㊤	推進 <small>すいしん</small>	<参加人数> <small>さんかにんずう</small> ・サービス提供責任者向け研修 <small>ていきょうせきにんしゃむ けんしゅう</small> 平成27年度：104人 <small>へいせい ねんど</small> 平成28年度：132人 <small>へいせい ねんど</small> 平成29年度：74人 <small>へいせい ねんど</small> 平成30年度：99人 <small>へいせい ねんど</small> 令和元年度：107人 <small>れいわがんねんど</small> ・従業者向け研修 <small>じゅうぎょうしゃむ けんしゅう</small> 平成27年度：274人 <small>へいせい ねんど</small> 平成28年度：250人 <small>へいせい ねんど</small> 平成29年度：101人 <small>へいせい ねんど</small> 平成30年度：220人 <small>へいせい ねんど</small> 令和元年度：216人 <small>れいわがんねんど</small> (令和2年度は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止) <small>れいわ ねんど しんがた かんせんしやうかくだいぼうし</small>	○
効率的な車両利用の仕組みの検討 <small>こうりつてき しゃりようりよう し く けんとう</small> ㊤	推進 <small>すいしん</small>	乗合送迎の仕組みについて、検討を行いました <small>のりあいそうげい し く けんとう おこな</small> が、実際の運用やその管理までの整理には至りませんでした。 <small>じっさい うんよう かんり せいり いた</small>	×
難病患者外出支援サービス事業 <small>なんびやうかんじゃがいしゅつしえん じぎょう</small>	推進 <small>すいしん</small>	車いす等を利用する難病患者に対し、必要な送迎サービスを提供しました。ただし、令和2年度は新型コロナウイルス感染症感染拡大による緊急事態宣言を受け、一時サービスを停止しました。 <small>くるま どう りよう なんびやう かんじゃ たい ひつよう そうげい ていきょう</small> <small>れいわ ねんど しんがた</small> <small>かんせんしやうかんせん</small> <small>かくだい きんきゆう じたいせんげん</small> <small>う いち じ</small> <small>ていし</small> ・平成27年度～令和2年度のべりようかいすう <small>へいせい ねんど れいわ ねんど</small> 延利用回数：3,453回 <small>かい</small>	○

事業名 じぎょうめい 事業名	目標 むくひょう (第3期改定時) だい き かい てい じ	第3期計画期間の実績 だい き けい かく き かん じっせき 第3期計画期間の実績	評価 ひょうか 評価
在宅重症患者外出支援 ざいたくじゅうしやうかんじやがいしゅつ し えん 事業 じぎょう	推進 すいしん	申請に対し、滞りなく助 しんせい たい とどこお じよ 成業務を進めることがで せいぎやうむ すず きました。 ・平成27年度～令和2年度 へいせい ねん ど れいわ ねん ど 延利用回数：2,982回 のべりようかいすう かい ・平成27年度～令和2年度 へいせい ねん ど れいわ ねん ど 延利用人数：1,161人 のべりようにんずう じん	○
福祉有償運送事業 ふくしゅうしやううんそうじぎょう	推進 すいしん	福祉有償移動サービス運 ふくしゅうしやういどう うん 営協議会を17回開催しま えいきやう ぎ かい かい かい さい した（うち令和2年度2 れいわ ねん ど 回）。登録団体への訪問を実 かい どうろくだんたい ほうもん じっ 施しました。福祉有償運送 し ふくしゅうしやううんそう のホームページでの情報 のホームページでの情報 提供を行いました。 ていきやう おこな 希望する実施団体に対し研 きぼう じっ し だんたい たい けん 修を実施しました。 しゅう じっ し	○

指標名 しひょうめい 指標名		平成29年度 へいせい ねん ど (実績) じっせき	平成30年度 へいせい ねん ど (実績) じっせき	令和元年度 れいわがねん ど (実績) じっせき	令和2年度 れいわ ねん ど (実績) じっせき
移動支援事 いどう し えん じ 業（移動介 ぎやう いどうかい 護・通学通 ご つうがくつう 所支援） しよ し えん 所支援） しよ し えん	時間分 じかんぶん (時間分) (時間分)	712,284時間分 じかんぶん 712,284時間分	735,076時間分 じかんぶん 735,076時間分	751,205時間分 じかんぶん 751,205時間分	496,180時間分 じかんぶん 496,180時間分
福 しよ し えん	人分 にんぶん (人分) (人分)	5,705人分 にんぶん 5,705人分	5,925人分 にんぶん 5,925人分	6,107人分 にんぶん 6,107人分	4,545人分 にんぶん 4,545人分

※ 令和2年度実績の大幅な減少は、新型コロナウイルス感染拡大防止のための外出自粛の
えいきやう
影響によるものです。

事業名 <small>じぎょうめい</small>	目標 <small>もくひょう</small> (第3期改定時) <small>だい き かいてい じ</small>	第3期計画期間の実績 <small>だい き けいかくきかん じっせき</small>	評価 <small>ひょうか</small>
参加型アートイベントの開催 <small>さんかがた かい</small>	推進 <small>すいしん</small>	障害のある方のアート活動 <small>しょうがい なた かつ</small> を支援する人材の育成を <small>どう し えん じんざい いくせい</small> 目的とした研修会や、障 <small>もくてき けんしゅうかい しょう</small> 害者の方々と創作活動を <small>がいしゃ なたがた そうさくかつどう</small> 行うワークショップ等を <small>おこな とう</small> 実施するとともに、「ヨコ ハマ・パラトリエンナー レ」をはじめ、料理や陶芸 <small>りょうり どうげい</small> など様々なジャンルの文化 <small>さまざま ぶんか</small> 事業を実施しました。 <small>じぎょう じっし</small>	○
ヨコハマ・パラトリエンナーレの開催 <small>かいさい</small>	開催 <small>かいさい</small>	「ヨコハマ・パラトリエン ナーレ2020」を開催するた <small>かいさい</small> め、準備・調整を進め、 <small>じゅんび ちょうせい すず</small> 令和2年8月にプレイベン <small>れいわ ねん がつ</small> トを、令和2年11月にコア <small>れいわ ねん がつ</small> イベントを開催いたしました。 <small>かいさい</small>	○
4校種 図画工作・美術・ <small>こうしゅ ず がこうさく びじゅつ</small> 書道作品展 特別支援教育 <small>しょどうさくひんてん とくべつしえんきょういく</small> 部門～つたえたい ぼくの <small>ぶもん</small> おもい わたしのきもち～ <small>かいさい さいけい</small> の開催【再掲】	推進 <small>すいしん</small>	市立学校の児童生徒の作品 <small>しりつがっこう じどうせいと さくひん</small> を一堂に集める市民公開の <small>いちどう あつ しみんこうかい</small> 作品展で、市内の特別支援 <small>さくひんてん しな い とくべつしえん</small> 学校や個別支援学級等に <small>がっこう こべつしえんがつきゅうどう</small> 在籍する幼児児童生徒の作 <small>ざいせき ようじじどうせいと さく</small> 品を出展しました。 <small>ひん しゅってん</small> 毎年、多数の来場があり <small>まいとし たすう らいじょう</small> ました。	○
障害者の芸術活動支援ネ <small>しょうがいしゃ げいじゅつかつどうしえん</small> ットワークの構築 <small>こうちく</small>	推進 <small>すいしん</small>	引き続き、展覧会等の開催 <small>ひ つづ てんらんかいどう かいさい</small> を通じて、支援団体等のネ <small>つう しえんだんたいどう</small> ットワーク化を進めていま <small>か すず</small> す。	○

事業名 <small>じぎょうめい</small>	目標 <small>もくひょう</small> (第3期改定時) <small>だい き かい てい じ</small>	第3期計画期間の実績 <small>だい き けい かく き かん じつ せ き</small>	評価 <small>ひょうか</small>
パラトライアスロンの強化 <small>きょうか</small>	推進 <small>すいしん</small>	グリーントライアスロン、 <small>せ かい</small> 世界トライアスロンシリー <small>よ こ は ま た い かい</small> ズ横浜大会、シーサイドト <small>き ょう り よ く</small> ライアスロンに協力して います。また、イグジット <small>じ つ ぎ けん し ゅ う</small> ハンドラーの実技研修を <small>よ こ は ま</small> 横浜ラポールのプールで実 <small>じ つ</small> 施しました。	○
特別支援学校におけるスポ <small>と く べ つ し え ん が っ こ う</small> ーツ選手育成強化事業 <small>せ ん し ゅ う け い せ い ぎ ゃ う か じ ぎ ゃ う</small>	推進 <small>すいしん</small>	特別支援学校に在籍する <small>と く べ つ し え ん が っ こ う ざ い せ き</small> 児童生徒が世界的な大会に <small>じ ど う せ い と せ かい て き たい かい</small> 出場するにあたっての支 <small>し ゅ つ じ ゃ う</small> 援や、障害者スポーツの普 <small>え ん し ゃ う が い し ゃ</small> 及啓発を目的とした備品 <small>き ゅ う け い は つ も く て き び ひ ん</small> 等の整備を行いました。	○
障害者スポーツの啓発 <small>し ゃ う が い し ゃ け い は つ</small>	推進 <small>すいしん</small>	オリンピック・パラリンピ <small>かい さい む しょうがい</small> ックの開催に向けた障害 <small>し ゃ</small> 者スポーツの機運の高まり <small>き う ん た か</small> を契機に、横浜市スポーツ <small>け い き よ こ は ま し</small> 協会とも連携し、障害者 <small>き ょう かい れ ん け い し ゃ う が い し ゃ</small> スポーツの中核拠点であ <small>ち ゅ う かく き ゃ て ん</small> る横浜ラポールで、障害 <small>よ こ は ま</small> 者スポーツの体験会や教 <small>し ゃ</small> 室等を実施しました。 <small>たい けん かい き ょう</small> <small>し つ と う じ つ し</small>	○

事業名 <small>じぎょうめい</small>	目標 <small>もくひょう</small> (第3期改定時) <small>だい き かいていじ</small>	第3期計画期間の実績 <small>だい きけいかくきかん じっせき</small>	評価 <small>ひょうか</small>
身近な地域における障害者スポーツの推進 <small>み ちか ちいき しょうがい しゃ すいしん</small>	推進 <small>すいしん</small>	中途障害者地域活動センター、横浜市スポーツ協会等と連携し、障害者スポーツの推進に取り組みました。また、障害者スポーツの周知活動、スポーツボランティア養成講座や初級障害者スポーツ指導員研修会等の実施を通して、支援者・指導者の人材育成を進めました。 <small>ちゅうとしょうがいしゃちいきかつどう しょうがいしゃ せいかくきかん じっせき しょうがいしゃ かいどう れんけい しょうがいしゃ すいしん と く しょうがいしゃ しゅうちかつどう しょうせいこうざ しょくきゅうしょうがいしゃ しどういん けんしゅうかいどう じっし とお し えんしゃ しどうしゃ じんざい いくせい すす</small>	○
障害者スポーツ文化センターの整備及び運営 <small>しょうがいしゃ ぶんか せいびおよ うんえい</small>	「ラポール上大岡」運営 <small>かみ おおおか うんえい</small>	ラポール上大岡を令和2年1月10日に開所しました。 <small>かみおおおか れいわ ねん がつ にち かいしょ</small>	○

第4期横浜市障害者プラン 令和3年度の取組について

しりょう
資料 1 - 4

さまざまな生活の場面を支えるもの

1 普及啓発

(1) 互いの存在に気づき、身近に感じる仕組みづくり

事業名 じぎょうめい じぎょうめい 事業名	事業内容 じぎょうないよう 事業内容	目標に向けた 令和3年度の取組内容 もくひょう む 目標に向けた れいわ ねんど とりくみ 令和3年度の取組内容	中間期 目標 ちゅうかんき 中間期 もくひょう 目標	目標 もくひょう 目標
「地域共生社会」の 実現に向けた取組等 推進 ちいききょうせいしゃかい 「地域共生社会」の じつげん む とりくみとう 実現に向けた取組等 すいしん 推進	地域のあらゆる方が、「支え手」と「受け手」 に分かれるのではなく、地域、暮らし、生き がいをともに創り、高め合うことができる 「地域共生社会」の実現に向けた「障害者 週間」などの取組を実施・推進していきま す。	障害者週間における市庁舎アトリウムでの イベント実施などを通じて、共生社会の実現 に向けた取組を行っていきます。 しょうがいしゃしゅうかん しちょうしゃ 障害者週間における市庁舎アトリウムでの イベント実施などを通じて、共生社会の実現 に向けた取組を行っていきます。	推進 すいしん 推進	推進 すいしん 推進
各区の普及・啓発 活動の促進 かくく ふきゅう けいはつ 各区の普及・啓発 かつどう そくしん 活動の促進	各区の住民に対して、疾病や障害等に対 する理解を深めるための研修や啓発活動 の支援を行います。 かくく じゅうみん たい 各区の住民に対して、疾病や障害等に対 する理解を深めるための研修や啓発活動 の支援を行います。	障害者週間を中心に、各区で事業所や自主 製品等を紹介するパンフレットの作成や、パ ラスポーツの写真展の開催等普及・啓発活動 を促進します。 しょうがいしゃしゅうかん ちゅうしん かくく じぎょうしょ じしゅ 障害者週間を中心に、各区で事業所や自主 製品等を紹介するパンフレットの作成や、パ ラスポーツの写真展の開催等普及・啓発活動 を促進します。	推進 すいしん 推進	推進 すいしん 推進

(2) 障害に対する理解促進

事業名 <small>じぎょうめい</small>	事業内容 <small>じぎょうないよう</small>	目標に向けた 令和3年度の取組内容 <small>もくひょう む れいわ ねんど とりくみないよう</small>	中間期 目標 <small>ちゅうかんき もくひょう</small>	目標 <small>もくひょう</small>
当事者や障害福祉 関連施設、市民団体 等による普及・啓発 活動への支援 <small>とうじしゃ しょうがいふくし かんれんしせつ しみんだんたい とう ふきゅう けいはつ かつどう しえん</small>	セイフティーネットプロジェクト横浜（S-net横浜）や障害福祉関連施設、市民団体等による障害理解のための研修や講演、地域活動を支援・協働するなど、様々な普及・啓発を推進します。 <small>よこはま えす ねっとよこはま しょうがいふくしかんれんしせつ しみんだんたい とう しょうがいりかい けんしゅう こうえん ちいきかつどう しえん きょうどう さまざま ふきゅう けいはつ すいしん</small>	各事業の支援を行い、セイフティーネットプロジェクト横浜（S-net横浜）等の障害理解に係る普及・啓発活動を通じた障害理解の推進に取り組みます。 <small>かくじぎょう しえん おこな しょうがいりかい かか ふきゅう けいはつかつどう つう しょうがいりかい すいしん とく</small>	推進 <small>すいしん</small>	推進 <small>すいしん</small>
障害者本人及び家族による普及・啓発活動の推進 <small>しょうがいしゃほんにんおよ ぞく しょうがいしゃほんにん かぞくおよ かくだんたい れんけい かつどう すいしん</small>	社会参加推進センターが中心となり、障害者本人、家族及び各団体と連携・協働し、障害理解の促進に向けた普及・啓発活動を推進します。 <small>しゃかいさんかすいしん ちゅうしん しょうがいしゃほんにん かぞくおよ かくだんたい れんけい きょうどう しょうがいりかい そくしん む ふきゅう けいはつかつどう すいしん</small>	社会参加推進センター等と協働して、リーフレットの配布や講座の実施など、普及・啓発の取組を継続していきます。 <small>しゃかいさんかすいしん とう きょうどう けいはつ とりくみ けいぞく</small>	推進 <small>すいしん</small>	推進 <small>すいしん</small>
疾病や障害に関する情報の発信 <small>しっぺい しょうがい かん じょうほう はっしん</small>	ホームページなどの媒体を活用して、疾病や障害に関する情報や支援に関わる活動を紹介し、市民や当事者・関係者の理解促進に努めます。 <small>ばいたい かつよう しっぺい しょうがい かん じょうほう しえん かか かつ どう しょうがい しみん どうじしゃ かんけいしゃ りかい そくしん つと</small>	ホームページや「障害福祉のあんない」などの媒体を活用して、疾病や障害に関する情報や支援に関わる活動を紹介します。 <small>しょうがいふくし ばいたい かつよう しっぺい しょうがい かん じょうほう しえん かか かつどう しょうがい</small>	推進 <small>すいしん</small>	推進 <small>すいしん</small>


がくれいき じゅうてんてき ふきゅう けいはつ
 (3) 学齢期への重点的な普及・啓発

じぎょうめい 事業名	じぎょうないよう 事業内容	もくひょう ぶ 目標に向けた れいわ ねんど とりくみないよう 令和3年度の取組内容	ちゅうかんき 中間期 もくひょう 目標	もくひょう 目標
がくれいきじどうおよ ぼ ご 学齢期児童及び保護 しゃ しょうがいりかい 者への障害理解 けいはつ 啓発	がくれいきじどう ぼ ごしゃ しょうがいじ しゃ こうりゅう 学齢期児童と保護者が、障害児・者と交流 したり、障害について理解を深めたりする きかい かくほ つと 機会の確保に努めます。	がくれいきじどう ぼ ごしゃ しょうがいじ しゃ こうりゅう 学齢期児童と保護者が、障害児・者と交流し たり、障害について理解を深めたりする きかい こうざ じっしどう かくほ つと 機会(講座の実施等)の確保に努めます。	すいしん 推進	すいしん 推進
ふくがくせき こうりゅう 副学籍による交流 きょういくおよ きょうどう 教育及び共同 がくしゅう 学習	とくべつしえんがっこう ざいせき じどうせいと 特別支援学校に在籍する児童生徒が、 きよじゅうち しょう ちゅうがっこう じどうせいと いっしょ 居住地の小・中学校の児童生徒と一緒に まな きかい かくだい はか きょうどうがくしゅう 学ぶ機会の拡大を図るなど、共同学習を すす 進めます。	とくべつしえんがっこう かよ じどうせいと ちいき がっこう 特別支援学校に通う児童生徒と、地域の学校 に通う子どもたちとの交流及び共同学習 をより一層推進します。	すいしん 推進	すいしん 推進

じんざいかくほ いくせい
2 人材確保・育成

しょうがいふくしじゅうじしゃ かくほ いくせい
 (1) 障害福祉従事者の確保と育成

じぎょうめい 事業名	じぎょうないよう 事業内容	もくひょう ぶ 目標に向けた れいわ ねんど とりくみないよう 令和3年度の取組内容	ちゅうかんき 中間期 もくひょう 目標	もくひょう 目標
しょうがいふくしじんざい 障害福祉人材の かくほ 確保 ㊦	しょうがいふくし しごと みりょく ほんしん きゅうじん 障害福祉の仕事の魅力を発信し、求人や こよう しえん おこな しゃかいふくしじんざい 雇用の支援を行うことで社会福祉人材の かくほ 確保につなげていきます。	みりょくほんしん しょうがいふくし しごとしょうかいどうが 魅力発信として、障害福祉の仕事紹介動画を こうきょうこうつうきかん かくしゅ しょうえい 公共交通機関や各種イベントで上映しま す。 また、かんけいだんたい しょうがいふくしじんざいかくほさく 関係団体と障害福祉人材確保策の けんどうかい じっし こんご しさく ほうこうせい けんどう 検討会を実施し、今後の施策の方向性を検討 します。	すいしん 推進	すいしん 推進

じぎょうめい 事業名	じぎょうないよう 事業内容	もくひょう お 目標に向けた れいわ ねんど とりくみないよう 令和3年度の取組内容	ちゅうかんき 中間期 もくひょう 目標	もくひょう 目標
しょうがいとくせい おう 障害特性に応じた しえん けんしゅう 支援のための研修	はったつしょうがい こうどうしょうがい ゆう かた 発達障害や行動障害を有する方、 いりょうてき ひつよう かたどう たい せんもんてき 医療的ケアが必要な方等に対し、専門的な しえん おこな じんざい いくせい 支援を行うことのできる人材を育成する けんしゅう じっし ための研修を実施します。	しょうがいふくしじぎょうしょうどう しょくいん たいしょう 障害福祉事業所等の職員を対象とした、 こうどうしょうがい かか しえんりよくこうじょう はか 行動障害に係る支援力向上を図るための けんしゅう しなほほうじん きょうどう じっし 研修を、市内法人の協働により実施しま す。 また、ふくし いりょう きょういく たぶんや しょくいん また、福祉・医療・教育など多分野の職員 かた たいしょう いりょうてき じ しゃどう の方を対象として、医療的ケア児・者等の しえん おこな うえ ひつよう ないよう まな よこはまがた 支援を行う上で必要な内容を学ぶ、「横浜型 いりょうてき じ しゃどうしえんしゃようせいけんしゅう 医療的ケア児・者等支援者養成研修」を、 よこはまし いしかい いたく じっし 横浜市医師会への委託により実施します。	すいしん 推進	すいしん 推進
そうだんしえんじゅうじしゃ 相談支援従事者の じんざいいくせい 人材育成	しいき くいき にんざいいくせい かん とりくみ 市域と区域での人材育成に関する取組を せいり そうご れんどう こうかてき こうりつてき 整理し、相互に連動させた効果的・効率的な じんざいいくせいたいけい せいび 人材育成体系を整備します。	けんしゅう じっし たいせい せいり そうだんしえんじゅうじしゃ 研修の実施体制を整理し、相談支援従事者 のじんざいいくせい けんしゅうたいけい れんどうせい の人材育成と研修体系における連動性を かくほ 確保します。	すいしん 推進	すいしん 推進
しょうがいふくししせつしょくいん 障害福祉施設職員 とう しえん 等への支援 	しょうがいしゃ きゅうおーえる こうじょう めざ 障害者のQOLの向上を目指して、 しょうがいとくせい おう 障害特性やライフステージに応じた しょうがい じゅうどか かんわ せいかつしゅうかんびょう 障害の重度化の緩和、生活習慣病の よぼうどう ふきゅうけいはつ はか しょうがいふくし 予防等の普及啓発を図るため、障害福祉 しせつ えいせいかんり えいようかんり かん 施設における衛生管理、栄養管理に関する けんしゅう れんらくかいどう じっし 研修、連絡会等を実施します。	しょうがいふくししせつ しょくいん たいしょう えいせい 障害福祉施設の職員を対象とした衛生 かんり えいようかんり かんれん けんしゅう れんらくかいどう 管理、栄養管理に関連する研修、連絡会等を じっし 実施します。	すいしん 推進	すいしん 推進

じぎょうめい 事業名	じぎょうないよう 事業内容	もくひょう む 目標に向けた れいわ ねんど とりくみないよう 令和3年度の取組内容	ちゅうかんき 中間期 もくひょう 目標	もくひょう 目標
しょうがいふくしせつどう 障害福祉施設等 で 働 く 看護師の支援 ㊦	しょうがいふくしせつどう はたら かんごし ていちゃく 障害福祉施設等で 働く看護師の定着に む しょうがいふくしせつどう おこな じんざいかくほ 向けた支援を行うとともに、人材確保の ほうさく けんどう 方策について検討します。	しょうがいふくしせつどう はたら かんごし ぎのうこうじょう 障害福祉施設等で 働く看護師の技能向上 および就労定着を目的に、医師等が各施設に およ しょうろうていちゃく もくてき い しどう かくしせつ 及び就労定着を目的に、医師等が各施設に ほうもん おこな こべつ じょうげん けんしゅう かくしせつ 訪問して行う個別の助言や研修、各施設の かんごし たいしやう ごとくけんしゅうどう じっし 看護師を対象とした合同研修等を実施し ます。	すいしん 推進	すいしん 推進
しょうろうしえん 就労支援センター しやくいん じんざいいくせい 職員の人材育成	たよう たいおう しょうろうしえん 多様なニーズに対応できるよう、就労支援 こうじょう けんしゅう じっし スキルを向上させるため、研修の実施な ど、人材育成を進めます。	かく かん しょういん じんじこうりゅう おこな 各センター間で支援員の人事交流を行い、 しょうしゅうほうどう きょうゆう おこな 支援手法等の共有を行います。 また、センター共通で使用する人材育成シ ートを作成し、多様化・高度化するニーズへ たいおう しょういん しつ たか 対応するため、支援の質を高めます。	すいしん 推進	すいしん 推進
しょうろうそくしん もくてき 就労促進を目的と した事業所職員向 けんしゅう け研修	しょうがいしゃこよう おこな きぎょう 障害者雇用を行っている企業での しゅうぎょうたいけん けんしゅう つう じぎょうしよ 「就業体験」の研修を通じて、事業所 しやくいん しょうろうしえん こうじょう しょうろう 職員の就労支援スキルの向上、就労に む いしきづ 向けた意識付けにつなげます。	しな いしゅうろうしえん じぎょうしよしやくいん たいしやう きぎょう 市内就労支援事業所職員を対象に、企業 どう じっしゅう けんがく つう じぎょう しょうがい 等での実習や見学を通じて、企業で障害の しやくいん たんどう しごとないよう もと ある社員が担当する仕事内容、求められる しやくぎやうのうりよくおよ きぎょう いくせいほうほうどう まな 職業能力及び企業の育成方法等を学ぶ きかい もう 機会を設けます。	すいしん 推進	すいしん 推進
いりやうじゅうじしゃけんしゅう 医療従事者研修 じぎょう 事業 ㊦	びやうき しょうがい しょうにおよ じゅうしょうしんしん 病気や障害のある小児及び重症心身 しょうがいじ しゃ しょういん ひつやう ちしき ぎじゅつ こう 障害児・者の支援に必要な知識・技術の向 じょう はか しょうがいとくせい りかい いりやうじゅうじ 上を図り、障害特性を理解した医療従事 しゃ いくせい けんしゅう じっし 者を育成するための研修を実施します。	しょうがいとくせいどう りかい いりやうじゅうじしゃ いくせい 障害特性等を理解した医療従事者を育成す るために、引き続き「小児訪問看護・重症 ひ つづ しょういん しょういんかんご じゅうしょう 心身障害児者研修※」を実施します。 れいわ ねん がつまつ めい いりやうじゅうじしゃ ※令和4年2月末までに、30名の医療従事者 げんばじっしゅう ふく にちかん けんしゅう に、現場実習を含む11日間の研修カリキュ ラムを受講していただきます。	すいしん 推進	すいしん 推進

じぎょうめい 事業名	じぎょうないよう 事業内容	もくひょう む 目標に向けた れいわ ねんど とりくみないよう 令和3年度の取組内容	ちゅうかんき 中間期 もくひょう 目標	もくひょう 目標
ガイドヘルパー等 けんしゅうじゅこうりょうじよせい 研修受講料助成 ㊦	どう しかくしゅどく ガイドヘルパー等の資格取得のための けんしゅうじゅこうりょう いちぶ じよせい じんざいかくほ 研修受講料の一部を助成し、人材確保を はか 図ります。	れいわ ねんど さいがい かんせんしやうかくだい 令和3年度から、災害や感染症拡大による えいきやう しんせい こんなん ひと 影響により申請が困難だった人について、 じやうけん じよせいしんせいきかん えんちやう かのう 条件つきで助成申請期間の延長を可能と してあります。その周知を今後も図ることで、 じよせいにんずう ぞうか じんざいかくほ すいしん 助成人数の増加と人材確保を推進していき ます。	すいしん 推進	すいしん 推進
ガイドヘルパースキ けんしゅう ルアップ研修 ㊦	しつ たか ていきやう より質の高いサービスが提供できるよう、 いどうしえんじぎやう じゅうぎやうしや たいしやう けんしゅう 移動支援事業の従業者を対象に研修 じっし を実施します。	ていきやうせきにんしやおよ じゅうぎやうしや しつ さら サービス提供責任者及び従業者の質を更 たか けんしゅう せんてい じゅこうしや に高めるため、研修テーマを選定し、受講者 ぞうか めざ の増加を目指します。	すいしん 推進	すいしん 推進
しゃかいさんかすいしん 社会参加推進 セン だんたい ターによる 団体 かつどうしえんきのう 活動支援機能 じゅうじつ の充実	しょうがいしやほんにん かつどう ささ じんざい いくせい 障害者本人の活動を支える人材の育成を すす 進めるとともに、おな しょうがい ひと 同じ障害がある人たちの こうりゆう きかい かくじゅう 交流やコミュニケーションの機会を拡充 かくだんたいかつどう そくしん とりくみ すいしん し、各団体活動を促進する取組を推進しま す。	ひ つづ しょうがいしや じりつ しゃかいさんかどう 引き続き、障害者の自立や社会参加等を そくしん どうじしや じぎやう じっし 促進するための当事者による事業を実施し ていきます。	すいしん 推進	すいしん 推進

ぎょうむこうりつか む えーあい あいしーていーどう どうにゆう けんとう
 (2) 業務効率化に向けたロボット・AI・ICT等の導入の検討

じぎょうめい 事業名	じぎょうないよう 事業内容	もくひょう む 目標に向けた れいわ ねんど とりくみないよう 令和3年度の取組内容	ちゅうかんき 中間期 もくひょう 目標	もくひょう 目標
ぎょうむこうりつか む 業務効率化に向けた たロボット・AI・ えーあい あいしーていーどう どうにゆう ICT等の導入 けんとう の検討 ⑨	はんざつ じ む さぎょう ぎょうむこうりつか かいご 煩雑な事務作業などの業務効率化や介護 ぎょうむ ふたんけいげん すす 業務の負担軽減などを進めるため、ロボッ えーあい あいしーていー どうにゆう けんとう すす ト・AI・ICTなどの導入の検討を進 めめます。	かんけいだんたい いけんこうかん おこな こんご しさく 関係団体と意見交換を行い、今後の施策の ほうこうせい けんとう 方向性を検討します。	けんとう 検討 ・ じっし 実施	すいしん 推進

けんりようご
3 権利擁護

ぎやくたいぼうし とりくみ しんとう
 (1) 虐待防止の取組の浸透

じぎょうめい 事業名	じぎょうないよう 事業内容	もくひょう む 目標に向けた れいわ ねんど とりくみないよう 令和3年度の取組内容	ちゅうかんき 中間期 もくひょう 目標	もくひょう 目標
しょうがいしゃぎやくたいぼうし 障害者虐待防止 じぎょう 事業 ふきゆう けいはつ (普及・啓発)	しみん む さくせいどう こうほう 市民向けのリーフレット作成等により広報 おこな ぎやくたい ふてきせつしえん を行います。また、虐待や不適切支援をな しょうがいふくし じぎょう くしていくため、障害福祉サービスの事業 しゃとう たいしょう けんしゅう じっし 者等を対象とした研修を実施します。	しみん む どう 市民向けにホームページやリーフレット等 かつよう こうほう おこな しょうがい を活用した広報を行うとともに、障害 ふくし かんりしやおよ かんり 福祉サービスの管理者及びサービス管理 せきにしんしゃどう たいしょう けんしゅう ねん かい 責任者等を対象とした研修を年2回、そ れぞれ2回コースで実施します。	すいしん 推進	すいしん 推進

せいねんこうけんせいど りようそくしん
 (2) 成年後見制度の利用促進

じぎょうめい 事業名	じぎょうないよう 事業内容	もくひょう む 目標に向けた れいわ ねんど とりくみないよう 令和3年度の取組内容	ちゅうかんき 中間期 もくひょう 目標	もくひょう 目標
よこはまし しみん こうけんじん 横浜市 市民 後見人 ようせい かつどうしえんじぎょう 養成・活動支援事業	ちいき けんりりょうご しみんさんかく すず 地域における権利擁護を市民参画で進める ため、よこはませいねんこうけんせいど 成年後見推進センターが ぜんく しみんこうけんじん ようせい じっし くやくしよ 全区で市民後見人の養成を実施し、区役所、 し くしゃかいふくしきょうぎかい せんもんしよくだんたいどう 市・区社会福祉協議会、専門職団体等が れんけい かつどうしえん たいせい こうちく 連携した活動支援の体制を構築します。	だい きよこはまししみんこうけんじんようせいこうざ 第5期横浜市市民後見人養成講座について、 きそへん がつ がつ じつおへん がつ がつ 基礎編(6月～7月)、実務編(9月～2月) を実施します。また、かつどうしえん しみん 活動支援として市民 後見人バンク登録者向けの研修を実施しま す。	すいしん 推進	すいしん 推進
ほうじんこうけんしえんじぎょう 法人後見支援事業	せいねんこうけんせいど 成年後見推進センターが、これま ほうじんこうけんじゆにんじつせき ふ しな いでの法人後見受任実績を踏まえて、市内の しゃかいふくしほうじんどう ほうじんこうけんじっし む 社会福祉法人等への法人後見実施に向け しえん おこな た支援を行います。	しょうがいしゃしせつどう しょくいん かんりしゃ たいしやう 障害者施設等の職員や管理者を対象とし た関係者向け研修、施設等の依頼による しょくいん かぞくむ だまえこうざ おこな 職員や家族向けの出前講座を行います。ま こんねんど ほうじんこうけんれんらくかい かいさい じっし た、今年度も法人後見連絡会を開催し、実施 団体の連携強化や情報共有を図ります。	すいしん 推進	すいしん 推進
せいねんこうけんせいど 成年後見制度の ふきゅうけいはつ 普及啓発	せいねんこうけんせいど りよう 成年後見制度がより利用しやすいものとな るよう、かんけいきかん ちょうせい どうじしやおよ かぞく しえんだんたいどう せつめいかい じっし 家族、支援団体等への説明会などを実施し ます。	かんけいきかん ちょうせい うえ どうじしや かぞくどう む 関係機関と調整の上、当事者・家族等に向け せいねんこうけんせいど わ しゅうち て成年後見制度を分かりやすく周知するた めのこうざ かいさい せいねんこうけんせいど 講座を開催するなど、普及啓発に取り組 みます。	すいしん 推進	すいしん 推進

じぎょうめい 事業名	じぎょうないよう 事業内容	もくひょう む 目標に向けた れいわ ねんど とりくみないよう 令和3年度の取組内容	ちゅうかんき 中間期 もくひょう 目標	もくひょう 目標
けんりようごじぎょう 権利擁護事業	けんり まも そうだん けいやく もと 権利を守るための相談や契約に基づく きんせんかんり にちじょうせいかつ しえん 金銭管理サービスなどの日常生活の支援 を、区あんしんセンターが、契約に基づいて じっし 実施します。	しみん しえんしゃ せいど しゅうち けいはつどう おこな 市民や支援者に制度の周知・啓発等を行い、 ひつよう ひと そうき けんりようごじぎょう りよう 必要な人が早期に権利擁護事業を利用でき るように体制を整え、取組を進めます。 また、必要な人には、スムーズに法定後見に いこう かんけいきかん れんけい 移行できるように、関係機関と連携しながら しえん おこな 支援を行います。	すいしん 推進	すいしん 推進

(3) しょうがいしゃさべつかいしょうほう もと とりくみ
障害者差別解消法に基づく取組

じぎょうめい 事業名	じぎょうないよう 事業内容	もくひょう む 目標に向けた れいわ ねんど とりくみないよう 令和3年度の取組内容	ちゅうかんき 中間期 もくひょう 目標	もくひょう 目標
しみんとう ふきゅう 市民等への普及・ けいはつ 啓発	しょうがい りゆう さべつ かいしょう あ 障害を理由とする差別の解消に当たって しみんとう かがた かんしん りかい ふか は、市民等の方々に関心と理解を深めてい な に たいせつ ただくことが何よりも大切であることか ら、市民等に向けた広報及び啓発活動を しみんとう む こうほうおよ けいはつかつどう こうかてき じっし 効果的に実施します。	こうほう じんけんとくしゅうごう き じけいさい 広報よこはまの人権特集号への記事掲載に しゅうち けいはつ おこな へいせい ねん よる周知・啓発を行うとともに、平成28年 ぼしゅう しょうがいしゃさべつ かん じれい だれ に募集した障害者差別に関する事例を誰で もかんたん しら けんさく 簡単に調べることができる検索サイトを ホームページでうんよう 運用します。	すいしん 推進	すいしん 推進

<p>じぎょうめい 事業名</p>	<p>じぎょうないよう 事業内容</p>	<p>もくひょう む 目標に向けた れいわ ねんど とりくみないよう 令和3年度の取組内容</p>	<p>ちゅうかんき 中間期 もくひょう 目標</p>	<p>もくひょう 目標</p>
<p>そうだんたいせいとう しゅうち 相談体制等の周知</p>	<p>しょうがいしゃ さべつ かん そうだん ふんそう ぼうしどう 障害者差別に関する相談、紛争の防止等 のための体制を周知します。また、相談及 び紛争の防止等を地域において推進するた めの地域協議会を開催します。</p>	<p>そうだん なか さべつ そうだん ばあい ピア相談の中で差別の相談があった場合に 当事者の気持ちに寄り添い、対応窓口や 調整委員会等紹介、周知・啓発等を行う 当事者サポート事業を横浜市身体障害者 団体連合会に委託して実施します。また、 地域支援協議会にて相談事例の共有を図る とともに、相談対応に関する検討等を行 います。</p>	<p>すいしん 推進</p>	<p>すいしん 推進</p>
<p>ししよくいんたいおうようりょう 市職員対応要領の しゅうち 周知</p>	<p>ほんししよくいん てきせつ たいおう おこな 本市職員が適切な対応を行っていくた めの指針として策定した市職員対応 要領を周知し、差別的取扱いとなり得る 事例や、合理的な配慮の好事例等の浸透を 図ります。</p>	<p>ぜんしよくいん たいしやう いー けんしゅう 全職員を対象としたeラーニング研修 や、各区局が実施する研修等への出前講座 を実施するほか、全区局の代表が集まる 会議にて取組状況等を周知します。</p>	<p>すいしん 推進</p>	<p>すいしん 推進</p>

じょうほうほしやう とりくみ
 (4) 情報保障の取組

<p>じぎやうめい 事業名</p>	<p>じぎやうないやう 事業内容</p>	<p>もくひやう む 目標に向けた れいわ ねんど とりくみないやう 令和3年度の取組内容</p>	<p>ちゆうかんに 中間期 もくひやう 目標</p>	<p>もくひやう 目標</p>
<p>じょうほうはっしんじ 情報発信時の ごうりてきはいいりよ ていきやう 合理的配慮の提供</p>	<p>ぎやうせいじやうほうはっしんじ しかくしやうがいしや ちやうかく 行政情報発信時の視覚障害者、聴覚 しやうがいしやおよ ちてきしやうがいしやとう たい ひとり 障害者及び知的障害者等に対して、一人 しやうがいとくせい おう ごうりてきはいいりよ ひとりの障害特性に応じた合理的配慮を おこな 行います。</p>	<p>しかくしやうがい ひと じょうほうほしやう とりくみ 視覚障害のある人への情報保障の取組と して、きぼう ひと たい ほんし はっしゆつ 希望する人に対して本市から発出す つうち つうちめい といあわ さき とう 通知の「通知名」、「問合せ先」等について、 てんじか つうち はっそやう しく うんやう 点字化した通知を送送する仕組みを運用し ます。また、ちやうかくしやうがい ひと じょうほう 保障の取組として、タブレット端末を活用し しゆわつややく サービスの情報提供や、あら おんせいつややく どうにゆう うんやう 音声通訳アプリを導入し運用します。さら に、ちてきしやうがい ひと 知的障害のある人へのわかりやすい しりやう さくせい 資料を作成します。</p>	<p>すいしん 推進</p>	<p>すいしん 推進</p>
<p>だいひつ だいどく 代筆・代読サービス ⑨</p>	<p>しかくとう しやうがい ひと にちじやうせいかつ なか 視覚等に障害のある人が日常生活の中 だいひつ だいどく ひつやう しえんしや で代筆または代読が必要なときに支援者に ていきやう おこな よるサービス提供を行います。</p>	<p>サービスの実施に向けて、かんけいだんたい じっし む リングを基に適切な提供方法等について もと てきせつ ていきやうほうほうとう 検討を進めていきます。</p>	<p>けんとう 検討 ・ じっし 実施</p>	<p>すいしん 推進</p>

4 相談支援
そうだんしえん

<p>じぎょうめい 事業名</p>	<p>じぎょうないよう 事業内容</p>	<p>もくひょう む 目標に向けた れいわ ねんど とりくみないよう 令和3年度の取組内容</p>	<p>ちゅうかんき 中間期 もくひょう 目標</p>	<p>もくひょう 目標</p>
<p>しょうがいしゃそうだんしえん 障害者相談支援 じぎょう しゅうちおよ 事業の周知及び ふきゅうけいはつ 普及啓発</p>	<p>くふくしほけん きかんそうだんしえん 区福祉保健センター、基幹相談支援センタ 一、精神障 害者生活支援センターの3 せいしんしょうがいしゃせいかつしえん 機関を ちゅうしん ちいきせいかつしえんきよてん きのう 中心に地域生活支援拠点の機能を じゅうそく そうだんしえんじぎょう しゅうち 充足させながら、相談支援事業の周知、 けいはつ はか 啓発を図ります。</p>	<p>ちいき かんけいきかんとく れんけい そくしん とりくみ 地域の関係機関等の連携を促進する取組の なか ほんし そうだんしえんたいせい かん しゅうち 中で、本市の相談支援体制に関する周知・ けいはつ すず 啓発を進めます。</p>	<p>すいしん 推進</p>	<p>すいしん 推進</p>
<p>そうだんしえんじゅうじしゃ 相談支援従事者 の じんざいくせい 人材育成 【再掲】</p>	<p>しいき くいき じんざいくせい かん とりくみ 市域と区域での人材育成に関する取組を せいり そうご れんどう こうかてき こうりつてき 整理し、相互に連動させた効果的・効率的な じんざいくせいたいけい せいび 人材育成体系を整備します。</p>	<p>けんしゅう じつしたいせい せいり そうだんしえんじゅうじしゃ 研修の実施体制を整理し、相談支援従事者 じんざいくせい けんしゅうたいけい れんどうせい の人材育成と研修体系における連動性を かくほ 確保します。</p>	<p>すいしん 推進</p>	<p>すいしん 推進</p>
<p>しじりつしえんきょうぎかい 市自立支援協議会 と くじりつしえんきょうぎかい 区自立支援協議会 の れんけい れんどう 連携・連動</p>	<p>しじりつしえんきょうぎかい れんらくかい く 市自立支援協議会、ブロック連絡会、区 じりつしえんきょうぎかい れんけい れんどう ちいき 自立支援協議会を連携・連動させ、地域づ こうかてき と く たいせい せいび くりの効果的に取り組める体制を整備しま す。</p>	<p>ちいき すいしん お しじりつしえんきょう 地域づくりの推進に向け、市自立支援協 ぎかい れんらくかい くじりつしえんきょうぎかい 議会、ブロック連絡会、区自立支援協議会を こうかてき れんどう うんよう 効果的に連動させ、運用します。</p>	<p>すいしん 推進</p>	<p>すいしん 推進</p>
<p>とうじしゃ 当事者による そうだん じゅうじつ 相談の充実</p>	<p>しゃかいさんかすいしん せっち そうだん 社会参加推進センターに設置するピア相談 とうじしゃそうだん しゅうち はか センターでの当事者相談の周知を図り、 とうじしゃ そうだんしえん すいしん 当事者による相談支援を推進します。</p>	<p>ひ つづ そうだん とりくみ しゅうち 引き続き、ピア相談センターの取組の周知を きょうか とうじしゃそうだん かつよう 強化し、当事者相談の活用につなげていきま す。また、ピア相談員研修を実施し、ピア そうだんいん けんしゅう じつし 相談員のスキルアップを図ります。</p>	<p>すいしん 推進</p>	<p>すいしん 推進</p>

<p>じぎょうめい 事業名</p>	<p>じぎょうないよう 事業内容</p>	<p>もくひょう む 目標に向けた れいわ ねんど とりくみないよう 令和3年度の取組内容</p>	<p>ちゅうかんき 中間期 もくひょう 目標</p>	<p>もくひょう 目標</p>
<p>きそん そうだんまどぐち 既存の相談窓口 ちいき どう (地域ケアプラザ等) れんけい による連携</p>	<p>ひごろ かか なか なにげ かいわ ふく 日頃の関わりの中で、何気ない会話に含ま れられている相談を身近な相談者として捉え、 ひつよう おう いちじおよ に じ そうだんしえんきかん 必要に応じて、一次及び二次相談支援機関 につながります。</p>	<p>みぢか そうだんしゃ ひごろ かか なか 身近な相談者として、日頃の関わりの中で、 なにげ かいわ ふく 含まれている相談に気づき、 ひつよう おう てき そうだんしえんきかん 必要に応じて適した相談支援機関につなげ ます。</p>	<p>すいしん 推進</p>	<p>すいしん 推進</p>
<p>なんびょうかんじゃどう 難病患者等への ひつよう じょうほうていきょう 必要な情報提供</p>	<p>なんびょうかんじゃどう たい ひつよう じょうほうていきょう 難病患者等に対して必要な情報提供 をおこなうこと等により、難病患者等の しょうがいふくし どう かつよう うなが 障害福祉サービス等の活用が促されるよ う検討します。</p>	<p>く こうえんかい こうりゅうかい かいさい つき かい 区での講演会・交流会の開催や、月2回の メールマガジンの配信、ホームページへの けいさいどう つう じょうほうていきょう おこな 掲載等を通じて情報提供を行います。</p>	<p>すいしん 推進</p>	<p>すいしん 推進</p>
<p>はったつしょうがいしゃ しえん 発達障害者支援セ ンター運営事業 うんえい じぎょう</p>	<p>はったつしょうがいしゃ しえん ちいき しえん 発達障害者支援センターと、地域の支援 きかん れんけい し く せいり そうだんしえん 機関との連携の仕組みを整理し、相談支援 たいせい きょうか ほか 体制の強化を図ります。</p>	<p>はったつしょうがい ちいき れんけい じっしどう 「発達障害地域連携プログラム」の実施等 により、発達障害者支援センターと地域の しえんきかん れんけい そくしん 支援機関との連携を促進します。</p>	<p>すいしん 推進</p>	<p>すいしん 推進</p>
<p>こうじのうきのうしょうがい 高次脳機能障害に かか かんけい きかん 関わる関係機関の れんけいそくしん 連携促進</p>	<p>こうじのうきのうしょうがい ちいき 高次脳機能障害支援センターと地域の かんけいきかん れんけい そくしん みぢか ちいき 関係機関との連携を促進し、身近な地域に おける高次脳機能障害に対する支援体制 きょうか を強化します。</p>	<p>こうじのうきのうしょうがい れんけい 高次脳機能障害支援センターと連携した とりくみにより、高次脳機能障害に関わる地域 かんけいきかん しえん どうじしゃ かぞく しえん の関係機関を支援し、当事者や家族の支援ニ ーズに対応する相談の質の向上と相談支援 たいせい きょうか ほか 体制の強化を図ります。</p>	<p>すいしん 推進</p>	<p>すいしん 推進</p>

せいかつ ばめん す く
生活の場面Ⅰ 住む・暮らす

す
Ⅰ－Ⅰ 住まい

しょうがいじょうきょう あ す せんたくし じゅうじつ
(Ⅰ) 障害状況に合わせた住まいの選択肢の充実

<p>じぎょうめい 事業名</p>	<p>じぎょうないよう 事業内容</p>	<p>もくひょう む 目標に向けた れいわ ねんど とりくみないよう 令和3年度の取組内容</p>	<p>ちゅうかんき 中間期 もくひょう 目標</p>	<p>もくひょう 目標</p>
<p>みんかんじゅうたくにゆうきよ 民間住宅入居の そくしん 促進</p>	<p>しょうがいしゃ みんかんちんたいじゅうたく にゆうきよ 障害者が民間賃貸住宅への入居をしや しく じゅうたく すくする仕組みとして「住宅セーフティネ ット制度」を活用していきます。 せいど かつよう また、障害者等の住宅確保要配慮者の居 しやうがいしゃどう じゅうたくかくほようはいりよしゃ きよ 住支援を充実させるため、横浜市居住 じゅうしえん じゅうじつ よこはましきよじゅう 支援協議会と不動産事業者や福祉支援 しえんきょうぎかい ふどうさんじぎょうしゃ ふくししえん 支援協議会と不動産事業者や福祉支援 だんたい くきよく れんけい きょうか せいど けんとう 団体、区局の連携を強化する制度の検討を すす 進めます。</p>	<p>じゅうたく せいど かつよう 「住宅セーフティネット制度」の活用や、 よこはましきよじゅうしえんきょうぎかい かんけいきかん れんけい 横浜市居住支援協議会と関係機関との連携 たいせい けんとう 体制について検討します。</p>	<p>すいしん 推進</p>	<p>すいしん 推進</p>
<p>じぎょう サポートホーム事業 ㊦</p>	<p>はったつしょうがい にゆうきよしゃ たい ちいきせいかつ 発達障害のある入居者に対し、地域生活 む じゅんび せいかつめん に向けた準備のため、生活面のアセスメン しえん じっし トと支援を実施する「サポートホーム」の こうか けんしょう しえんほうほう ちいき 効果を検証するとともに、支援方法を地域 じぎょうしょうどう かうだい の事業所等へ拡大させていきます。</p>	<p>じぎょう すいしん へったつ サポートホーム事業の推進により、発達 しょうがい ひと せいかつ しえん 障害のある人の生活を支援するとともに、 こうか けんしょう その効果を検証します。また、支援方法を ちいき じぎょうしょうどう かくだい けんしゅうどう 地域の事業所等へ拡大させるための研修等 きかいそうしゅつ けんとう の機会創出を検討します。</p>	<p>すいしん 推進</p>	<p>すいしん 推進</p>
<p>しょうがいじしせつ 障害児施設の さいせいび 再整備 ㊦</p>	<p>ろうきゆうか すず しょうがいじにゆうしよしせつ 老朽化が進んでいる障害児入所施設の さいせいび すず 再整備を進めます。</p>	<p>しせつ うんえいほうじん ちやうせい すず 施設の運営法人と調整を進めます。</p>	<p>けんとう 検討</p>	<p>けんとう 検討</p>

<p>じぎょうめい 事業名</p>	<p>じぎょうないよう 事業内容</p>	<p>もくひょう お 目標に向けた れいわ ねんど とりくみないよう 令和3年度の取組内容</p>	<p>ちゅうかんき 中間期 もくひょう 目標</p>	<p>もくひょう 目標</p>
<p>しょうふうがくえん 松風学園 さいせいびじぎょう 再整備事業</p>	<p>にゅうきよしゃ きよじゅうかんきようかいぜん 入居者の居住環境改善のため、 こしつかとう すず どうえんしきち いちぶ 個室化等を進めます。また、同園敷地の一部 かつよう みんせつしんにゆうしょせつ せいび を活用して民設新入所施設を整備しま す。 ちゅうかんき こしつかとう きよじゅうかんきよう せつび ・中間期：個室化等の居住環境や設備の かいぜんおよ みんせつしんにゆうしょせつ こうじじっし 改善及び民設新入所施設の工事実施 けいかくきかんちゅう こしつかとう きよじゅうかんきよう ・計画期間中：個室化等の居住環境や せつび かいぜんおよ みんせつしんにゆうしょせつ こうじ 設備の改善及び民設新入所施設の工事 じっしかんりよう 実施完了</p>	<p>しんきよじゅうとう ぜんしつかしつ こうじ ちゃくしゅ 新居住棟(全室個室)の工事に着手します。 みんせつしんにゆうしょせつ こうじ かんりよう 民設新入所施設については、工事を完了し ます。</p>	<p>こうじじっし 工事実施</p>	<p>こうじじっし 工事実施 かんりよう 完了</p>
<p>さいけい 【再掲】 しょうがいふくししせつとう 障害福祉施設等で はたら かんごし しえん 働く看護師の支援 あ</p>	<p>しょうがいふくししせつとう はたら かんごし ていちゃく 障害福祉施設等で働く看護師の定着に む しえん おこな じんざいかくほ 向けた支援を行うとともに、人材確保の ほうさく けんとう 方策について検討します。</p>	<p>しょうがいふくししせつとう はたら かんごし ぎのうこうじょう 障害福祉施設等で働く看護師の技能向上 およ しゅうろうていちゃく もくてき いしどう かくしせつ 及び就労定着を目的に、医師等が各施設に ほうもん おこな こべつ じよげん けんしゅう かくしせつ 訪問して行う個別の助言や研修、各施設の かんごし たいしやう ごうどうけんしゅうとう じっし 看護師を対象とした合同研修等を実施し ます。</p>	<p>すいしん 推進</p>	<p>すいしん 推進</p>

(2) 高齢化・重度化を踏まえた住まいの構築

<p>じぎょうめい 事業名</p>	<p>じぎょうないよう 事業内容</p>	<p>もくひょう む 目標に向けた れいわ ねんど とりくみないよう 令和3年度の取組内容</p>	<p>ちゅうかんき 中間期 もくひょう 目標</p>	<p>もくひょう 目標</p>
<p>しんたいしょうがいしゃ こうれい 身体障害者・高齢 しゃ じゅうたくかいぞうおよ 者の住宅改造及び もようが 模様替え</p>	<p>しえいじゅうたく にゅうきよ しょうがいしゃどう 市営住宅に入居している障害者等の ようぼう たい 要望に対し、トイレや浴室への手すりの とりつ じゅうたくかいぞう じっし 取付けなどの住宅改造を実施します。</p>	<p>げんこう しく たいおう い じ 現行の仕組みでの対応を維持していきます。</p>	<p>すいしん 推進</p>	<p>すいしん 推進</p>
<p>こうれいか じゅうどかたいおう 高齢化・重度化対応 のグループホームの けんどう かくじゅう 検討・拡充</p>	<p>げんざい じっし こうれいか じゅうどかたいおう 現在、実施している高齢化・重度化対応グル ープホーム事業を踏まえ、持続的に実現 かのう せいど けんどう おこな こんご 可能な制度の検討を行います。今後 すす み こ しょうがいしゃ も進んでいくことが見込まれる障害者の こうれいか じゅうどか たいおう こうれい 高齢化・重度化に対応していくため、高齢 か じゅうどか たいおう かくじゅう 化・重度化対応グループホームを拡充し ていきます。</p>	<p>ひ つづ にっちゅう しまんがた かつよう ふ 引き続き、日中サービス支援型の活用を踏ま えた制度、施策の検討を行います。</p>	<p>すいしん 推進</p>	<p>すいしん 推進</p>
<p>こうれいか じゅうどか 高齢化・重度化 たいおう 対応バリアフリー かいしゅうじぎょう 改修事業</p>	<p>りよう しょうがいしゃ こうれい グループホームを利用する障害者が高齢に ともな しんたいきのう ていかとう なり、それに伴う身体機能の低下等により、 じゅうらい せつび せいかつ こんなん 従来のホームの設備で生活することが困難 ばあい きよじゅう あん となる場合でも、居住しているホームで安 しん せいかつ つづ 心して生活し続けることができるよう、バリ どうかいしゅう かか けいひ ほじよ アフリー等改修に係る経費を補助します。</p>	<p>こうれいか じゅうどか しんたいきのう ていかとう 高齢化・重度化にともなう身体機能の低下等 があっても きよじゅう 居住しているホームで安心して せいかつ つづ て生活し続けることができるよう、バリアフ りー等改修に係る費用（5か所分）を補助 します。</p>	<p>じっし 実施</p>	<p>じっし 実施</p>

く
1-2 暮らし

ちいき せいかつ ささ しく じゅうじつ
(1) 地域での生活を支える仕組みの充実

<p>じぎょうめい 事業名</p>	<p>じぎょうないよう 事業内容</p>	<p>もくひょう む 目標に向けた 令和3年度の取組内容 れいわ ねんど とりくみないよう</p>	<p>ちゅうかんき 中間期 もくひょう 目標</p>	<p>もくひょう 目標</p>
<p>しょうがいしゃちいきかつどう 障害者地域活動ホ ーム事業 じぎょう</p>	<p>ざいたく しょうがいじ しゃ かぞく ちいきせいかつ 在宅の障害児・者とその家族の地域生活 しえん きよてんしせつ よこはまし どくじ を支援する拠点施設として、横浜市が独自 せっち おも に設置しているものです。主なサービスとし せいかつかいご ちいきかつどうしえん じぎょう て、生活介護や地域活動支援センター事業 がたどう にちゅうかつどう デイサービス型等の日中活動のほか、ショ ートステイや一時ケア等の生活支援事業を じっし しせつきぼどう しゃかい 実施しています。施設規模等により、社会 ふくしほうじんがたちかつ きのうきょうかがたちかつ 福祉法人型地活ホームと機能強化型地活 しゅるい ぶんるい ホームの2種類に分類されています。</p>	<p>しゃかいふくしほうじんがたちかつ きのうきょうかがたちかつ 社会福祉法人型地活及び機能強化型地活ホ ームの両方について、地域における拠点 りょうほう ちいき きよてんてき 施設として、より使いやすい社会資源となる しせつ つか しゃかいしげん よう、運営法人や関係部署等と課題を共有 うんえいほうじん かんけいぶしょう かだい きょうゆう し、役割や位置付けの明確化・機能の充実化 やくわり いちづ めいかくか きのう じゅうじつか に向けて、引き続き検討を行います。 む ひ つづ けんどう おこな</p>	<p>すいしん 推進</p>	<p>すいしん 推進</p>

じぎょうめい 事業名	じぎょうないよう 事業内容	もくひょう お 目標に向けた れいわ ねんど とりくみないよう 令和3年度の取組内容	ちゅうかんき 中間期 もくひょう 目標	もくひょう 目標
せいしんしょうがいしゃ せい かつ 精神障害者 生活 しえん じぎょう 支援センター事業	どうごうしつちようしよう せいしんしょうがいしゃ 統合失調 症をはじめとした精神障害者 しゃかいふつき じりつおよ しゃかいさんか しえん の社会復帰、自立及び社会参加を支援する ため各区に1か所設置している精神障害 しゃ ちいきせいかつしえん ほんし きよてんしせつ 者の地域生活支援における本市の拠点施設 です。 せいしんほけんふくしし はいち にちじょうせいかつ かん 精神保健福祉士を配置し、日常生活に関 する相談や助言、情報提供のほか、専門 いによる相談や生活維持のためのサービス (食事、入浴、洗濯等)等を提供してい ます。区や基幹相談支援センターとともに、 ほんし ちいきせいかつしえんきよてん せいしんしょうがい 本市の「地域生活支援拠点」や「精神障 害にも対応した地域包括ケアシステム」の ちゅうかく いちづ 中核に位置付けられています。	せいしんしょうがいしゃ きよてんてきしせつ 精神障害者のための拠点的施設として、 せいしんしょうがいしゃ ちいき じりつ せいかつ おく 精神障害者が地域で自立した生活を送るこ とができるよう、相談支援や日常生活の しえん ちいきこうりゅう そくしんどう おこな 支援、地域交流の促進等を行っていきま す。 せつちどうしよ いばしよきのう せいかつ い じ 設置当初の居場所機能や生活維持のための サービス(食事、入浴、洗濯等)だけではなく、 せいかつしえん こ ひと 生活支援センターに来られない人へのア プローチや関係機関と連携した早期対応な ど、精神障害者の相談機能に重点を置いた しえん じゅうじつ ほか 支援の充実を図ります。	すいしん 推進	すいしん 推進
たきのうがたきよてん 多機能型拠点の せいび うんえい 整備・運営 ㊦	つね いりようてき ひつよう じゅうしょうしんしん 常に医療的ケアを必要とする重症心身 しょうがいじ しゃどう かぞく ちいきせいかつ しえん 障害児・者等とその家族の地域生活を支援 するため、相談支援、短期入所、生活介護、 しんりょう ほうもんかんご きよたくかいご いったいてき 診療、訪問看護や居宅介護などを一体的 ていきょう たきのうがたきよてん せいび しんない に提供する多機能型拠点の整備を市内6 ほうめん すず 方面に進めます。	しんない かんめ ほうどうぶほうめんたきのうがたきよてん 市内4館目である北東部方面多機能型拠点 かしょう せつけい おこな (仮称)について、設計を行います。 しんない かんめ せいびよてい けんとう せんてい 市内5,6館目の整備予定地を検討、選定し ます。	しんない 市内4 ほうめん 方面 せいび 整備 かんりょう 完了	しんない 市内6 ほうめん 方面 せいび 整備 かんりょう 完了

<p>じぎょうめい 事業名</p>	<p>じぎょうないよう 事業内容</p>	<p>もくひょう ぶ 目標に向けた れいわ ねんど とりくみないよう 令和3年度の取組内容</p>	<p>ちゅうかんき 中間期 もくひょう 目標</p>	<p>もくひょう 目標</p>
<p>こうどうしょうがい かの 行動障害のある方 の ちいきいこう ちいき 地域移行や地域 せいかつ ささ しく 生活を支える仕組み づくり</p>	<p>こうどうしょうがい ひつよう しえん 行動障害のある人に必要とされる支援 たいせい とく ちいきいこう ちいきせいかつ 体制について、特に地域移行や地域生活を ささ きのう けんとう すず 支える機能の検討を進めます。</p>	<p>こうどうしょうがい ひと ひつよう しえんたいせい 行動障害のある人に必要とされる支援体制 について、特に地域移行や地域生活を支える きのう けんとう ちょうない すず 機能の検討を庁内で進めます。</p>	<p>けんとう 検討</p>	<p>すいしん 推進</p>
<p>ちいきしえん 地域支援マネジャー による しょうがいふくし 障害福祉サ ービス事業所等へ の支援 ⑨</p>	<p>はったつしょうがいしやしえん ちいきしえん 発達障害者支援センターに「地域支援マネ ジャー」をはいち しょうがいふくし じぎょう 配置し、障害福祉サービス事業 しょうたい たい こうどうしょうがい はったつしょうがい かの 所等に対し、行動障害・発達障害に係る じっし コンサルテーションを実施します。</p>	<p>ちいきしえん しょうがいふくし 「地域支援マネジャー」による、障害福祉 サービス事業所等に対する、行動障害・発達 しょうがい かの じっし 障害に係るコンサルテーションを実施しま す。</p>	<p>すいしん 推進</p>	<p>すいしん 推進</p>
<p>ちいきせいかつ しえんきよてん 地域生活支援拠点 きのう じゅうじつ 機能の充実</p>	<p>しょうがい かの こうれいか じゅうどか おや 障害のある方の高齢化・重度化、親なき あと そな ちいきいこう すず 後に備えるとともに、地域移行を進めるた め、きかんそうだんしえん せいかつしえん 基幹相談支援センター・生活支援センタ ー・くやくしよ きかんいったい うんえい ち 区役所の3機関一体の運営により、地 いき しゃかいしげん ゆうきてき 域のあらゆる社会資源を有機的につなぐネ ットワーク型の拠点機能を整備し、地域で きよてんきのう じゅうじつ かの の居住支援機能の充実を図ります。</p>	<p>きかんそうだんしえん せいかつしえん 基幹相談支援センター・生活支援センター・ くやくしよ きかん ちゅうしん じりつしえんきよぎかい 区役所の3機関を中心に、自立支援協議会 どう かつよう ちいきせいかつしえんきよてん かん しゅうち 等を活用し、地域生活支援拠点に関する周知 をおこな ちいきじゅうみん ふく かんけいきかん を行い、地域住民を含めた関係機関ととも に拠点機能の充実を図ります。</p>	<p>すいしん 推進</p>	<p>すいしん 推進</p>

じぎょうめい 事業名	じぎょうないよう 事業内容	もくひょう む 目標に向けた れいわ ねんど とりくみないよう 令和3年度の取組内容	ちゅうかんき 中間期 もくひょう 目標	もくひょう 目標
せいしんしょうがい たいおう 精神障害にも対応 ちいきほうかつ した地域包括ケアシ ステムの構築 こうちく	せいしんしょうがい かた せいかつ 精神障害のある方の生活のしづらさを ちいき ささ いりよう ほけん ふくし 地域で支えていくため、医療・保健・福祉の れんけい もと かくくふくしほけん せいかつしえん 連携の下、各区福祉保健センター、生活支援 センター、基幹相談支援センターを核とし きょうぎ ば かんけいしゃ かんけいきかん た「協議の場」において関係者・関係機関 きょうつう にんしき なか かだいかいけつ む が共通の認識の中で課題解決に向けた とりくみ けんとう じっし 取組の検討と実施をしていきます。また、 ちいき かだい たい とくせい ふ 地域ごとの課題に対して特性を踏まえた たいおう しゃかいしげん 対応ができるよう、これまでの社会資源を じゅうぶん かつよう きのう 十分に活用しながら、ネットワーク機能の みなお あら こうちく 見直しや新たなつながりを構築していきま す。	く ふくしほけん せいかつしえん 区福祉保健センター、生活支援センター、 きかんそうだんしえん かく きょうぎ 基幹相談支援センターを核とした「協議の ば ちいき かんけいきかん きょうつう にんしき 場」において、地域の関係機関と共通の認識 もち かだいかいけつ む とりくみ けんとう すいしん を持ち、課題解決に向けた取組を検討、推進 します。また、取組の推進のための研修会 かいさい を開催します。	すいしん 推進	すいしん 推進
せいしんしょうがいしゃ 精神障害者の かぞくしえんじぎょう 家族支援事業 ㊦	せいしんしょうがいしゃ かぞく てきせつ かんけい たも 精神障害者とその家族が適切な関係を保 きんきゅうたいざいばしょ じゅんび つため、緊急滞在場所を準備するととも かぞく せいしんしっかん りかい ふか に、家族が精神疾患について理解を深める きかい ていきよう 機会を提供します。	ひ つづ せいしんしょうがいしゃ かぞく てきせつ 引き続き、精神障害者とその家族が適切な かんけい たも きんきゅうたいざいばしょ じゅんび 関係を保てるよう緊急滞在場所を準備しま す。また、学習会を実施し、家族が精神疾患 がくしゅうかい じっし かぞく せいしんしっかん について理解を深める機会を提供します。 りかい ふか きかい ていきよう	すいしん 推進	すいしん 推進

<p>じぎょうめい 事業名</p>	<p>じぎょうないよう 事業内容</p>	<p>もくひょう お 目標に向けた れいわ ねんど とりくみないよう 令和3年度の取組内容</p>	<p>ちゅうかんき 中間期 もくひょう 目標</p>	<p>もくひょう 目標</p>
<p>いりょうてき じ しゃ 医療的ケア児・者 など しえん かん 等の支援のための関 けい きかん きょうぎ ば 係機関の協議の場 かいさい の開催 ㊦</p>	<p>いりょうてき じ しゃとう ちいき さら 医療的ケア児・者等への地域における更な しえん じゅうじつ お ほけん いりょう しょうがい る支援の充実に向けて、保健・医療・障害 ふくし ほいく きょういくとう かんけいきかん れんけい はか 福祉・保育・教育等の関係機関が連携を よこはまし いりょうてき じ しゃとうしえん るため、横浜市医療的ケア児・者等支援 けんとういんかい かだいきょうゆう いけんこうかん 検討委員会において、課題共有、意見交換、 たいおうさくとう けんとう おこな 対応策等の検討を行います。</p>	<p>よこはまし いりょうてき じ しゃとうしえんけんとういんかい 横浜市医療的ケア児・者等支援検討委員会 について、第1回を7月頃、第2回を令和4 ねん がつごろ かいさいよてい 年2月頃に開催予定です。</p>	<p>すいしん 推進</p>	<p>すいしん 推進</p>
<p>いりょうてき じ しゃとう 医療的ケア児・者等 しえんしゃようせい 支援者養成 ㊦㊧</p>	<p>うけいれたいせい じゅうじつ はか しょぞく 受入体制の充実を図るため、所属する しせつ じぎょうしょとう いりょうてき じ 施設・事業所等において、医療的ケア児・ しゃとう うけい せっきょくてき おこな 者等の受入れを積極的に行えるよう、 しえん ひつよう ちしき きじゅつ ふきゅうけいはつ おこな 支援に必要な知識・技術の普及啓発を行 しえんしゃ ようせい う支援者を養成します。</p>	<p>れいわ ねん がつ がつ いりょうてき じ しゃ 令和3年5月から12月まで医療的ケア児・者 とうしえんしゃようせいけんしゅう じっし にんていど 等支援者養成研修を実施します。50人程度を ようせいよてい 養成予定です。</p>	<p>すいしん 推進</p>	<p>すいしん 推進</p>
<p>メディカルショート ステイ事業 ㊦</p>	<p>いりょうてき ひつよう じゅうしょうしんしんしょうがい じ 医療的ケアが必要な重症心身障害児・ しゃとう ざいたく かいご かぞく ふたんけいげん 者等を、在宅で介護する家族の負担軽減と ざいたくせいかつ あんてい もくてき いちじてき 在宅生活の安定を目的として、一時的に ざいたくせいかつ こんなん ばあい びょう 在宅生活が困難となった場合などに、病 いん う い じっし 院での受け入れを実施します。</p>	<p>ひ つづ じぎょう じっし 引き続き事業を実施していくとともに、 きょうりょくいりょうきかん えんかつ じぎょううんえい はか 協力医療機関との円滑な事業運営を図りま す。</p>	<p>すいしん 推進</p>	<p>すいしん 推進</p>

ほんにん ちから ひ だ しえん じゅうじつ
 (2) 本人の力を引き出す支援の充実

じぎょうめい 事業名	じぎょうないよう 事業内容	もくひょう む 目標に向けた れいわ ねんど とりくみないよう 令和3年度の取組内容	ちゅうかんき 中間期 もくひょう 目標	もくひょう 目標
しょうがいしゃ じりつせいかつ 障害者自立生活 アシスタント ㊦	ちいき たんしんとう せいかつ しょうがいしゃ たい 地域で単身等で生活する障害者に対し じりつせいかつ て、自立生活アシスタントが、その障 とくせい ふ ぐたいてき せいかつばめん 特性を踏まえて、具体的な生活場面の しゃかいてきおうりよく たか じょげん ちゅうしん 社会適応力を高める助言を中心とした しえん おこな くに じっしじぎょう かんけい 支援を行います。国の実施事業との関係を せいり すいしん 整理しながら推進していきます。	じりつせいかつ じぎょう ふきゅうけいはつ と 自立生活アシスタント事業の普及啓発に取 り組み、アシスタントの支援力の向上を図 るための研修の実施やガイドラインの整備 けんしゅう じっし せいび を行います。	すいしん 推進	すいしん 推進
こうけんてきしえんせいど 後見的支援制度 ㊦	しょうがいしゃほんにん かぞく よ そ ぼくぜん 障害者本人や家族に寄り添い、漠然とし しょうらい ふあん なや いっしょ かんが おや た将来の不安や悩みを一緒に考え、親な あんしん く ちいき きあとも安心して暮らすことができる地域 みまも たいせい こうちく での見守り体制を構築します。	ほんせいど あんていてき じぞくかのう 本制度が、より安定的かつ持続可能なものと なるよう、あり方検討会等にて業務運営の ほうしんとう けんとう ぎょうむうんえい 方針等を検討します。	すいしん 推進	すいしん 推進
しょうひしゃきょういくじぎょう 消費者教育事業 ㊦	しょうがいしゃ かぞくおよ しえんしゃ しょうひん 障害者、家族及び支援者が、商品・サー りようおよ けいやく かか とう ビスの利用及び契約に関わるトラブル等を まな あんしん にちじょうせいかつ おく 学ぶことにより、安心した日常生活を送 いしきけいはつ ほか れるよう、意識啓発を図ります。	いしきけいはつ ほうほう じぞくかのう 意識啓発の方法について、より持続可能な ほうほう ちょうない けんとう 方法を庁内で検討します。	すいしん 推進	すいしん 推進

1-3 いどうしえん 移動支援

<p>じぎょうめい 事業名</p>	<p>じぎょうないよう 事業内容</p>	<p>もくひょう む 目標に向けた れいわ ねんど とりくみないよう 令和3年度の取組内容</p>	<p>ちゅうかんき 中間期 もくひょう 目標</p>	<p>もくひょう 目標</p>
<p>いどうじょうほう 移動情報センター うんえいどうじぎょう すいしん 運営等事業の推進 ㊦</p>	<p>いどうしえん かん じょうほう しゅうやく ひとり 移動支援に関する情報を集約し、一人ひ とりにあった適切な情報を提供すること や、いどうしえん ささ じんざい はくつ いくせい 移動支援を支える人材の発掘・育成を おこな いどうじょうほう ぜんく せっち 行う移動情報センターを全区に設置し、 しない ちいき いどうしえん しく こう 市内のどの地域でも移動支援の仕組みを効 かてき りよう 果的に利用できるようにします。</p>	<p>いどうじょうほう しゅうち すず 移動情報センターの周知をさらに進める とともに、18区のネットワーク力の強化 により、しよくいん そうだんたいおうりよく 職員の相談対応力・コーディネート 能力の向上を図ります。また、ガイ ドボランティアなど地域の移動支援の担 い手の発掘・育成に取り組みます。</p>	<p>そうだん 相談 けんすう 件数 3,300件</p>	<p>そうだん 相談 けんすう 件数 3,600件</p>
<p>さいけい 【再掲】 ガイドヘルパー等 けんしゅうじゅこうりょう じよせい 研修受講料助成 ㊦</p>	<p>とう しかくしゅとく ガイドヘルパー等の資格取得のための けんしゅうじゅこうりょう いちぶ じよせい じんざいかくほ 研修受講料の一部を助成し、人材確保を 図ります。</p>	<p>れいわ ねんど さいがい かんせんしょうかくだい 令和3年度から、災害や感染症拡大によ る影響により助成申請が困難だった人に ついて、じょうけん しんせいきかん えんちょう 条件つきで申請期間の延長を かろう 可能としています。その周知を今後も図る ことで、じよせいにんずう ぞうか じんざいかくほ すいしん 助成人数の増加と人材確保を推進 していきます。</p>	<p>すいしん 推進</p>	<p>すいしん 推進</p>
<p>さいけい 【再掲】 ガイドヘルパースキ ルアップ研修 ㊦</p>	<p>しつ たか ていきよう より質の高いサービスが提供できるよう、 いどうしえんじぎょう じゅうぎょうしゃ たいしょう けんしゅう 移動支援事業の従業者を対象に研修 をじっし 実施します。</p>	<p>ていきようせきにしやおや じゅうぎょうしゃ しつ サービス提供責任者及び従業者の質を さら たか 更に高めるため、けんしゅう せんてい 研修テーマを選定し、 じゅこうしゃ ぞうか めざ 受講者の増加を目指します。</p>	<p>すいしん 推進</p>	<p>すいしん 推進</p>

<p>じぎょうめい 事業名</p>	<p>じぎょうないよう 事業内容</p>	<p>もくひょう む 目標に向けた れいわ ねんど とりくみないよう 令和3年度の取組内容</p>	<p>ちゅうかんき 中間期 もくひょう 目標</p>	<p>もくひょう 目標</p>
<p>なんびょうかんじやがいしゅつしえん 難病患者外出支援 サービス事業</p>	<p>いっばん こうつうきかん りよう がいしゅつ こんなん 一般の交通機関を利用して外出に困難を ともな くるま どう りよう なんびょうかんじや 伴う、車いす等を利用する難病患者に ふくししゃりよう そうげい ていきよう 福祉車両による送迎サービスを提供しま す。</p>	<p>よこはまししゃいふくしきょうぎかい いたくけいやく けいぞく 横浜市社会福祉協議会と委託契約を継続 し、移動支援が必要な人に送迎サービスを ていきよう 提供します。</p>	<p>すいしん 推進</p>	<p>すいしん 推進</p>
<p>ざいたくじゅうしょうかんじや 在宅重症患者 がいしゅつしえんじぎょう 外出支援事業</p>	<p>くるま いどう こんなん 車いすによる移動が困難でストレッチャ たいおうしゃ しょう え なんびょうかんじや 一対車を使用せざるを得ない難病患者 が、通院等の際、所定の患者等搬送用 じどうしゃ りよう ばあい いそうひ いちぶ 自動車を利用した場合に、その移送費の一部 を じよせい 助成します。</p>	<p>つういんどう みんかんきゅうきゅうじぎょうしゃ りよう 通院等に民間救急事業者を利用する ざいたくじゅうしょうかんじや たい いそうひ いちぶ 在宅重症患者に対し、移送費の一部を じよせい じつたい はあく おこな 助成します。また、実態とニーズ把握を行 い、18区への周知を徹底します。</p>	<p>すいしん 推進</p>	<p>すいしん 推進</p>
<p>ふくしゅうしょういどう 福祉有償移動 サービス事業</p>	<p>いどう かいじょ ひつよう しんたいしょうがいしゃどう 移動に介助が必要な身体障害者等を たいしょう どうろく えぬびーおーほうじんと 対象に、登録されたNPO法人等による、 じかようじどうしゃ りよう いどう 自家用自動車を利用した移動サービスを そくしん 促進します。</p>	<p>ふくしゅうしょううんそう おこな えぬびーおーほうじんと どうろく 福祉有償運送を行うNPO法人等の登録 どう ふくしゅうしょううんそう てきせい じっしどう 等や、福祉有償運送の適正な実施等につい てきょうぎ ふくしゅうしょういどう うんえい て協議する福祉有償移動サービス運営 きょうぎかい かいさいい ふくしゅうしょううんそう 協議会を開催します。また、福祉有償運送 じっし だんたい ほうもん かつどう てきせい を実施している団体へ訪問し、活動が適正 に実施されているか調査を行います。</p>	<p>すいしん 推進</p>	<p>すいしん 推進</p>
<p>じゅうどしょうがいしゃどう 重度障害者等への いどうしえんじぎょう 移動支援事業の かくじゅう 拡充 ㊦</p>	<p>こうきょうこうつうきかん がいしゅつ こんなん じゅうどしょう 公共交通機関での外出が困難な重度障 がいしゃどう たい いどうしえんじぎょう かくじゅう 害者等に対して、移動支援事業の拡充を はか 図ります。</p>	<p>じゅうど しょうがい ひと たい いどう 重度の障害がある人に対して、移動の せんたくし ひろ じゅうどしょうがいしゃふくし 選択肢を広げるため、「重度障害者福祉タ クシー利用券の対象拡大」と「障害者 じどうしゃねんりょうけん しんせつ と く 自動車燃料券の新設」に取り組みます。</p>	<p>すいしん 推進</p>	<p>すいしん 推進</p>

1-4 まちづくり

<p>じぎょうめい 事業名</p>	<p>じぎょうないよう 事業内容</p>	<p>もくひょう む 目標に向けた 令和3年度の取組内容</p>	<p>ちゅうかんき 中間期 もくひょう 目標</p>	<p>もくひょう 目標</p>
<p>ふくし 福祉のまちづくり すいしんじぎょう 推進事業</p>	<p>よこはま かか すべ ひと たが そんちよう 「横浜に関わる全ての人がお互いを尊重 し、助け合う、人の優しさにあふれたまちづ くり」を実現するため、ハードとソフト (環境整備や福祉教育など)を一体的に 取り組み、福祉のまちづくりを推進します。</p>	<p>こ む はいふ しょくいんどう 子ども向けリーフレットの配布や、職員等 を対象とした研修の開催などにより、福祉 のまちづくりを推進します。 ふくし じょうれい もと じぜんきょうぎ 福祉のまちづくり条例に基づく事前協議や せっけいそうだんどう てきせつ たいおう 設計相談等に適切に対応します。</p>	<p>すいしん 推進</p>	<p>すいしん 推進</p>
<p>こうきょうこうつうきかん 公共交通機関の か バリアフリー化</p>	<p>だれ いどう かんきょうせいび いっかん 誰もが移動しやすい環境整備の一環とし て、鉄道駅舎へのエレベーター等の設置及 びノンステップバスの導入促進を図りま す。</p>	<p>しな い えき みせいび えき 市内の駅には、バリアフリーが未整備の駅が あるため、鉄道駅舎へのエレベーターなどの 設置について引き続き補助を行っていきま す。 どうにゆう ノンステップバスの導入については、 じぎょうしゃかん どうにゆうりつ さ 事業者間で導入率に差があることから、 どうにゆうりつ ひく じぎょうしゃ たい じゅうてんてき ほじょ 導入率の低い事業者に対し、重点的に補助 を行うなど効率的な取組を図るとともに、 おこな こうりつてき とりくみ はか 市民の要望等を事業者に共有するなどし て、導入の検討について働きかけていきま す。</p>	<p>すいしん 推進</p>	<p>すいしん 推進</p>

<p>じぎょうめい 事業名</p>	<p>じぎょうないよう 事業内容</p>	<p>もくひょう お 目標に向けた れいわ ねんど とりくみないよう 令和3年度の取組内容</p>	<p>ちゅうかんき 中間期 もくひょう 目標</p>	<p>もくひょう 目標</p>
<p>バリアフリーの すいしん 推進 ・バリアフリー基本 きほん 構想の検討・作成 こうそう けんとう さくせい</p>	<p>ほう もと えきしゅうへん じゅうてん バリアフリー法に基づき、駅周辺の重点 てき いったいてき せいび すいしん 的かつ一体的なバリアフリー整備を推進す るため、区ごとにバリアフリー基本構想を く きほんこうそう 作成します。 さくせい ・策定済み地区の見直しや、未策定地区の さくていず ちく みなお みさくていちく 新規作成等 しんきさくせいとう</p>	<p>ひ つづ いそごく なかく はざわよこはまこくだいえき 引き続き、磯子区、中区、羽沢横浜国大駅、 おどりばえきしゅうへん ちく きほんこうそう 踊場駅周辺地区のバリアフリー基本構想の さくせい すす 作成を進めます。 また、こんねんど こうほくく みどりく 今年度から港北区と緑区でバリアフ りー基本構想の作成に着手します。 きほんこうそう さくせい ちやくしゆ</p>	<p>すいしん 推進</p>	<p>すいしん 推進</p>
<p>・バリアフリー歩行 ほこう 空間の整備 くうかん せいび</p>	<p>えきしゅうへん か すいしん 駅周辺のバリアフリー化を推進するため、 きほんこうそう もと どうろ バリアフリー基本構想に基づき、道路のバ リアフリー化を、引き続き、進めます。 か ひ つづ すす</p>	<p>ひ つづ とおかいちばえきしゅうへん ちくとう せいび 引き続き、十日市場駅周辺地区等の整備を すす 進めます。また、あら はざわよこはまこくだいえき 新たに、羽沢横浜国大駅 しゅうへん ちくとう どうろとくていじぎょうけいかく さくせい 周辺地区等の道路特定事業計画を作成しま す。</p>	<p>すいしん 推進</p>	<p>すいしん 推進</p>
<p>よこはまし こうきょう 横浜市公共サイン ガイドラインの うんようすいしん 運用推進</p>	<p>こうてききかん せっち ほこうしゃようあんない 公的機関により設置される歩行者用案内・ ゆうどう きかく ひょうじないようとう どういつ 誘導サインの規格や表示内容等の統一を はか うんよう すいしん 図るためのガイドラインの運用を推進しま す。 また、こうきょう けいさいきじゅんとう 公共サインの掲載基準等について ひつよう おう みなお けんとう ほこうしゃ 必要に応じて見直しを検討し、より歩行者 わ せいび すす に分かりやすいサイン整備を進めていきま す。</p>	<p>うんよう すいしん ガイドラインの運用を推進するとともに、 こうきょう けいさいきじゅんとう ひつよう おう 公共サインの掲載基準等について必要に応 じて見直しを検討し、より歩行者にわかりや みなお けんとう ほこうしゃ すいサイン整備を進めていきます。 せいび すす</p>	<p>すいしん 推進</p>	<p>すいしん 推進</p>


じぎょうめい 事業名	じぎょうないよう 事業内容	もくひょう む 目標に向けた れいわ ねんど とりくみないよう 令和3年度の取組内容	ちゅうかんき 中間期 もくひょう 目標	もくひょう 目標
エレベーター せっちじぎょう 設置事業	エレベーターの整備など、学校施設のバリアフリー化を進め、障害児が学びやすい環境を整備します。	車椅子利用等の児童・生徒がいる学校へのエレベーターの整備や段差解消など、学校施設のバリアフリー化を進め、障害のある児童・生徒が学びやすい環境を整備します。	すいしん 推進	すいしん 推進

せいかつ ばめん あんぜん あんしん
生活の場面2 安全・安心

2-1 けんこう いりよう
健康・医療

(1) しょうがいしゃ けんこう すいしん
障害者の健康づくりの推進

じぎょうめい 事業名	じぎょうないよう 事業内容	もくひょう む 目標に向けた れいわ ねんど とりくみないよう 令和3年度の取組内容	ちゅうかんき 中間期 もくひょう 目標	もくひょう 目標
しょうがいしゃ 障害者へのスポーツを通じた健康・体力作り支援	障害特性を理解した障害者スポーツ文化センターのスタッフ等が、障害者が体力づくりや余暇活動を身近な場所で行えるよう、地域の人材育成も含めた環境整備を進めます。	地域の様々な団体等へ障害理解や障害者スポーツの普及啓発のための研修等を実施し、障害のある人が身近な場所でスポーツに取り組める環境作りを進めます。	すいしん 推進	すいしん 推進

じぎょうめい 事業名	じぎょうないよう 事業内容	もくひょう お 目標に向けた れいわ ねんど とりくみないよう 令和3年度の取組内容	ちゅうかんき 中間期 もくひょう 目標	もくひょう 目標
さいけい 【再掲】 しょうがいふくしせつ しょくいん 障害福祉施設 職員 とう しえん 等への支援 	しょうがいしゃ きゅうおーえる こうじょう め ぎ 障害者のQOLの向上を目指して、 しょうがいとくせい おう 障害特性やライフステージに応じた しょうがい じゅうどか かんわ せいかつしゅうかんびよう 障害の重度化の緩和、生活習慣病の よぼうどう ふきゅうけいはつ はか しょうがいふくし 予防等の普及啓発を図るため、障害福祉 せつつ えいせいかんり えいようかんり かん 施設における衛生管理、栄養管理に関する けんしゅう れんらくかいとう じっし 研修、連絡会等を実施します。	しょうがいふくしせつ しょくいん たいしゅう えいせい 障害福祉施設の職員を対象とした衛生 かんり えいようかんり かんれん けんしゅう れんらくかいとう 管理、栄養管理に関連する研修、連絡会等を じっし 実施します。	すいしん 推進	すいしん 推進

いりようかんきょう じゅうじつ
(2) 医療環境の充実

じぎょうめい 事業名	じぎょうないよう 事業内容	もくひょう お 目標に向けた れいわ ねんど とりくみないよう 令和3年度の取組内容	ちゅうかんき 中間期 もくひょう 目標	もくひょう 目標
なんびようかんじゃいちじにゅういん 難病患者一時入院 じぎょう 事業	いりよういぞんど たか なんびようかんじゃ かいじょしゃ 医療依存度の高い難病患者が介助者の じじょう ざいたく かいじょ う 事情により、在宅で介助を受けることが こんなん ばあい いちじてき にゅういん 困難になった場合、一時的に入院できる ようにします。	びょういん いたくけいやく びょうしょう かくほ 7病院と委託契約をし、5病床の確保を けいぞく じったい はあく おこな 継続します。また、実態とニーズの把握を行 ひ つづ ひつよう ひと ていきょう い、引き続き必要な人にサービスを提供で きるよう18区への周知を徹底します。	すいしん 推進	すいしん 推進
し か ほけん いりよう すいしん 歯科保健医療推進 じぎょう 事業 しんしんしょうがい じ しゃ (心身障害児・者 し か しんりょう 歯科診療)	つうじょう し か しんりょう たいおう こんなん しんしん 通常の歯科診療では対応が困難な心身 しょうがい じ しゃ たい し か ちりょう かくほ ひ 障害児・者に対する歯科治療の確保を引 つづ はか き続き図ります。	し か ほけん いりよう ほんじょ おこな 歯科保健医療センターへの補助を行い、 しょうがい じ しゃ し か いりょう かくほ しえん 障害児・者の歯科医療の確保のための支援を おこな 行います。	すいしん 推進	すいしん 推進

<p>じぎょうめい 事業名</p>	<p>じぎょうないよう 事業内容</p>	<p>もくひょう お 目標に向けた れいわ ねんど とりくみないよう 令和3年度の取組内容</p>	<p>ちゅうかんき 中間期 もくひょう 目標</p>	<p>もくひょう 目標</p>
<p>さいけい 【再掲】 メディカルサポート ステイ事業 ㊦</p>	<p>いりようてき ひつよう じゅうしょうしんしんしょうがい じ 医療的ケアが必要な重症心身障害児・ しゃとう ざいたく かいご かぞく ふたんけいげん 者等を在宅で介護する家族の負担軽減と ざいたくせいかつ あんてい もくてき いちじてき 在宅生活の安定を目的として、一時的に ざいたくせいかつ こんなん ばあい びよう 在宅生活が困難となった場合などに、病 いん う い じっし 院での受け入れを実施します。</p>	<p>ひ つづ じぎょう じっし 引き続き事業を実施していくとともに、 きょうりよくいりようきかん えんかつ じぎょううんえい はか 協力医療機関との円滑な事業運営を図りま す。</p>	<p>すいしん 推進</p>	<p>すいしん 推進</p>
<p>なんびょうかんじゃ 難病患者 ざいたくりょうようけいかく 在宅療養計画 さくてい ひょうかじぎょう 策定・評価事業</p>	<p>ざいたくなんびょうかんじゃ たい ほけん いりよう ふくし 在宅難病患者に対し、保健・医療・福祉 かく てきせつ ていきよう の各サービスを適切に提供するために、 かんけいしゃ ごうどう ないよう けんとう 関係者が合同でサービス内容を検討しま す。</p>	<p>ざいたくなんびょうかんじゃ あんてい りょうようせいかつ おく 在宅難病患者が安定した療養生活を送る もくてき じぎょう かつよう く ことを目的としたこの事業の活用を、18区に しゅうち てってい 周知を徹底します。</p>	<p>すいしん 推進</p>	<p>すいしん 推進</p>
<p>いりようきかんれんけいじぎょう 医療機関連携事業 ㊦</p>	<p>しょうがいじ しゃ みちか ちいき てきせつ いりよう 障害児・者が身近な地域で適切な医療が う かんきよう すいしん 受けられる環境づくりを推進するため、 しょうがいとくせいとう りかい てきせつ いりよう ていきよう 障害特性等を理解し適切な医療を提供 いりようきかん ふ できる医療機関を増やします。</p>	<p>ちてきしょうがいしゃせんもんがいらいせつちいりようきかん びょういん 知的障害者専門外来設置医療機関を5病院 で実施します。 せっちいりようきかん <設置医療機関> よこはまあいはらびょういん ・横浜相原病院 しゅうんかいよこはまびょういん ・紫雲会横浜病院 こうほくびょういん ・港北病院 よこはま ・横浜カメラリアホスピタル つるみにしいびょういん ・鶴見西井病院 しないいっぱんせいしんかびょういん していびょういん また、市内一般精神科病院の指定病院12か しょはんすう びょういん せっち めざ 所の半数となる6病院までの設置を目指し ます。</p>	<p>すいしん 推進</p>	<p>すいしん 推進</p>

<p>じぎょうめい 事業名</p>	<p>じぎょうないよう 事業内容</p>	<p>もくひょう む 目標に向けた れいわ ねんど とりくみないよう 令和3年度の取組内容</p>	<p>ちゅうかんき 中間期 もくひょう 目標</p>	<p>もくひょう 目標</p>
<p>じゅうどしんけいなんびょうかんにゃ 重度神経難病患者 ざいたくしえん 在宅支援システムの こうちく 構築</p>	<p>はつびょう すうねん きゅうそく しんこう しんけい 発病から数年で急速に進行する神経 なんびょうかんにゃ たい ざいたくしえん 難病患者に対する在宅支援システムを、 せんもん いりょうきかん ざいたく 専門医療機関・在宅リハビリテーション とう ほけん いりょうかんけいしゃ しやうがいふくし 等の保健・医療関係者と障害福祉サ ー ビス事業等との連携により、構築します。 じぎょうとう れんけい こうちく ・ALS患者に加え、筋ジストロフィー えーえるえすかんじゃ くわ きん 症患者のライフステージに合わせた しやうかんにゃ あ 生活障害支援を目的に、在宅リハビリ せいかつしやうがいしえん もくてき ざいたく テーションを活用する流れを構築しま す。 かつよう なが こうちく</p>	<p>ひ つづ ざいたく じぎょう 引き続き、在宅リハビリテーション事業の かつようすいしん しな いりょうきかん 活用推進のため、市内11か所の医療機関 (しんだんきかん くふくしほけん ざいたく (診断機関)や区福祉保健センターへ在宅リ ハビリテーション事業の周知を行います。 きん じぎょう しゅうち おこな 筋ジストロフィー症患者に対しては、在宅 リハビリテーション事業のフォローアップ きのう かつよう そくしん 機能の活用を促進します。</p>	<p>こうちく 構築</p>	<p>こうちく 構築</p>
<p>ざいたくりょうようじ 在宅療養児の ち いきせいかつ ささ 地域生活を支える れんらくかい ネットワーク連絡会</p>	<p>しやうがいじ しゃ いりょう にゅういん ざいたく かか 障害児・者の医療(入院・在宅)に関 わり医療関係者を中心に、福祉・教育 かんけいしゃ たいしやう ざいたくしえん ひつよう 関係者を対象として、在宅支援に必要な じょうほうこうかん じんてきこうりゅう つう しやうがい 情報交換や人的交流を通じて、障 りかい そくしん 害理解を促進します。</p>	<p>ひ つづ じぎょう じっし しやうがいじ しゃ ざいたく 引き続き事業を実施し、障害児・者の在宅 しえん ひつよう じょうほうこうかんどう つう しやうがい 支援に必要な情報交換等を通じて、障 りかい そくしん 害理解を促進していきます。</p>	<p>すいしん 推進</p>	<p>すいしん 推進</p>
<p>じゅうしやうしんしんしやうがいじ 重症心身障害児・ しゃ ざいたくせいかつ ささ 者の在宅生活を支 えんたいせい えるための支援体制 の充実</p>	<p>じゅうしやうしんしんしやうがいじ しゃ ざいたくせいかつ ささ 重症心身障害児・者の在宅生活を支 えんたいせい えるための医療体制をはじめとする検討を おこな しえんたいせい じゅうじつ はか 行い、支援体制の充実を図ります。</p>	<p>じゅうしやうしんしんしやうがいじ しゃ ざいたくせいかつ ささ 重症心身障害児・者の在宅生活を支えるた め、かんけいきよく れんけい かだいせいり おこな 関係局と連携して、課題整理を行いま す。</p>	<p>けんどう 検討</p>	<p>すいしん 推進</p>

<p>じぎょうめい 事業名</p>	<p>じぎょうないよう 事業内容</p>	<p>もくひょう お 目標に向けた れいわ ねんど とりくみないよう 令和3年度の取組内容</p>	<p>ちゅうかんき 中間期 もくひょう 目標</p>	<p>もくひょう 目標</p>
<p>じゅうどしやうがいしやとう 重度障害者等 にゅういんじ 入院時コミュニケー ション支援事業 ㊦</p>	<p>にゅういんさきいりようきかん いし かんごしどう 入院先医療機関の医師・看護師等との いし そつう じゅうぶん はか しょうがいじ しや 意思疎通が十分に図れない障害児・者を たいしょう にゅういんさき 対象に、入院先にコミュニケーション しえんいん はけん 支援員を派遣します。</p>	<p>にゅういんさきいりようきかん いし かんごしどう いし 入院先医療機関の医師・看護師等との意思 そつう はか ひ つづ 疎通が図れるよう、引き続きコミュニケーション しえんいん はけん 支援員を派遣します。</p>	<p>すいしん 推進</p>	<p>すいしん 推進</p>
<p>けんこう 健康ノート</p>	<p>しょうがいじ しや じぶん す ちいき いりようきかん 障害児・者が自分の住む地域の医療機関 じゆしん さい かつよう けんこう で受診する際に活用できる「健康ノート」 について、入手しやすくなるよう検討 かつよう し、より活用できるようにします。</p>	<p>ホームページに掲載し、周知します。また、 かつようじようきやう かくにん ふきやう 活用状況を確認しながら、普及につながる にゅうしゅほうほう けんどう 入手方法を検討します。</p>	<p>すいしん 推進</p>	<p>すいしん 推進</p>
<p>さいけい 【再掲】 いりようじゅうじしや 医療従事者 けんしゅうじぎやう 研修事業 ㊦</p>	<p>しつぺい しょうがい しょうにおよ じゅうしやうしんしん 疾病や障害のある小児及び重症心身 しょうがいじ しや しえん ひつやう ちいき ぎじゆつ 障害児・者の支援に必要な知識・技術の こうじやう はか しょうがいとくせい りかい いりよう 向上を図り、障害特性を理解した医療 じゅうじしや いくせい けんしゅう じっし 従事者を育成するための研修を実施しま す。</p>	<p>しょうがいとくせいとう りかい いりようじゅうじしや いくせい 障害特性等を理解した医療従事者を育成す るために、引き続き「小児訪問看護・重症 ひ つづ しょうにほうもんかんご じゅうしやう 心身障害児者研修」を実施します。</p>	<p>すいしん 推進</p>	<p>すいしん 推進</p>
<p>さいけい 【再掲】 しょうがいふくししせつとう 障害福祉施設等 はたら かんごし しえん 働く看護師の支援 ㊦</p>	<p>しょうがいふくししせつとう はたら かんごし ていちゃく 障害福祉施設等で働く看護師の定着に む したえん おこな かくほ ほうさく 向けた支援を行うとともに、確保の方策 けんどう について検討します。</p>	<p>しょうがいふくししせつとう はたら かんごし ぎのうこうじやう 障害福祉施設等で働く看護師の技能向上 およ しゅうろうていちゃく もくてき いしどう かくしせつ 及び就労定着を目的に、医師等が各施設に ほうもん おこな こべつ じよげん けんしゅう かくしせつ 訪問して行う個別の助言や研修、各施設の かんごし たいしょう ごうどうけんしゅうとう じっし 看護師を対象とした合同研修等を実施し ます。</p>	<p>すいしん 推進</p>	<p>すいしん 推進</p>

<p>じぎょうめい 事業名</p>	<p>じぎょうないよう 事業内容</p>	<p>もくひょう お 目標に向けた れいわ ねんど とりくみないよう 令和3年度の取組内容</p>	<p>ちゅうかんき 中間期 もくひょう 目標</p>	<p>もくひょう 目標</p>
<p>せいしん か きゅうきゅういりよう 精神科救急医療 たいざくじぎょう 対策事業</p>	<p>せいしんしつかん きゅうげき はっしょう せいしんしょうじょう 精神疾患の急激な発症や精神症状の あつか そうきゅう てきせつ せいしん かいりよう 悪化などで、早急に適切な精神科医療を ひつよう ばあい せいしんほけんふくしほう もと 必要とする場合に、精神保健福祉法に基づ しんさつ びょういん しょうかい おこな く診察や病院の紹介を行うとともに、 ひつよう いりようしせつ かくほ どう 必要な医療施設を確保すること等により、 ひ つづ きゅうきゅうかんじゃ えんかつ いりようおよ 引き続き救急患者の円滑な医療及び ほご はか 保護を図ります。</p>	<p>きんきゅう いりよう ひつよう かんじゃ じんそく 緊急な医療を必要とする患者が、迅速かつ てきせつ いりよう う 適切な医療を受けられるようにするため、 ちいき びょういんおよ せいしんほけんしていい 地域において病院及び精神保健指定医の きょうりよく そくしん うけい たいせい じゅうじつ はか 協力を促進し、受入れ態勢の充実を図る ことで、救急患者に対して迅速に医療を ていきよう 提供します。</p>	<p>すいしん 推進</p>	<p>すいしん 推進</p>
<p>せいしんしつかん がっぺい 精神疾患を合併す る身体救急患者 の救急医療体制 せいびじぎょう 整備事業</p>	<p>せいしんしつかん がっぺい しんたいきゅうきゅうかんじゃ 精神疾患を合併する身体救急患者を てきせつ いりようきかん えんかつ はんそう 適切な医療機関へ円滑に搬送できるよ う、救急医療体制を構築します。 きゅうきゅう いりようたいせい こうちく</p>	<p>かだい せいり これまでの課題を整理し、より良い きゅうきゅういりようたいせい こうちく お けんとう けいそく 救急医療体制の構築に向けた検討を継続 します。 ひつよう おう とくていしょうじょうたいおうびょういん また、必要に応じて特定症状対応病院の さんかく かんしょう 参画を勧奨していきます。</p>	<p>すいしん 推進</p>	<p>すいしん 推進</p>

2-2 ぼうさい げんさい
防災・減災

<p>じぎょうめい 事業名</p>	<p>じぎょうないよう 事業内容</p>	<p>もくひょう む 目標に向けた れいわ ねんど とりくみないよう 令和3年度の取組内容</p>	<p>ちゅうかんき 中間期 もくひょう 目標</p>	<p>もくひょう 目標</p>
<p>さいがい じ しょう えん ご しゃ 災害時要援護者 しえんじぎょう 支援事業</p>	<p>さいがい じ じりき ひなん こんなん ようえん ご しゃ あん 災害時に自力避難が困難な要援護者の安 び かくにん ひなんしえんどう かつどう えんかつ おこな 否確認や避難支援等の活動が円滑に行わ れるよう、災害時要援護者名簿や避難支援 に必要の情報地域に提供し、日頃か らの地域における自主的な支え合いの取組 を支援します。</p>	<p>ちいき じつじょう おう さまざま さいがいじしょうえんごしゃ 地域の実状に応じた様々な災害時要援護者 支援の取組を支援します。</p>	<p>すいしん 推進</p>	<p>すいしん 推進</p>
<p>しょうがいしゃ しえんしゃ 障害者・支援者に よる さいがい じ とう 災害時等の しょうがいりかいそくしん 障害理解促進</p>	<p>よこはま えす セイフティーネットプロジェクト横浜（S -net横浜）や関係機関等と連携し、各区 で実施される地域防災拠点訓練等で障 害理解を促進します。</p>	<p>ひ つづ 引き続き、セイフティーネットプロジェクト 横浜（S-net横浜）や関係機関等と連携し、 各区で実施される地域防災拠点訓練等で 障害理解を促進します。</p>	<p>すいしん 推進</p>	<p>すいしん 推進</p>
<p>さいがい じ とう じ じりょく 災害時等の自助力 こうじょう む 向上に向けた さくせい ツールの作成 およ ぶきゅう けいはつ 及び普及・啓発 ⑨</p>	<p>ふうすいがい ふく さいがい じ そな じ じりょく 風水害を含めた災害時に備え、自助力の 向上のためのツールの検討・作成と、本 市ウェブサイト等を活用した普及・啓発を 行っています。</p>	<p>ひなんこうどうけいかく もと 避難行動計画「マイ・タイムライン」を基に、 市民に幅広く普及・啓発ができるよう本市ウ ェブサイト等を活用していきます。</p>	<p>すいしん 推進</p>	<p>すいしん 推進</p>
<p>さいがい じ 災害時における じじょ きょうじょ じょうほう 自助・共助の情報 きょうゆう すいしん 共有の推進⑨</p>	<p>よこはま し しょうがいしゃし さくすいしんきょうぎかい かくだんたい 横浜市障害者施策推進協議会や各団体 の会議体にて、災害時における自助・ 共助について情報共有を行います。</p>	<p>だんたい いけんこうかん ふ よこはまししょうがいしゃ 団体との意見交換を踏まえ、横浜市障害者 施策推進協議会にて情報共有を行います。</p>	<p>じっし 実施</p>	<p>じっし 実施</p>

じぎょうめい 事業名	じぎょうないよう 事業内容	もくひょう お 目標に向けた れいわ ねんど とりくみないよう 令和3年度の取組内容	ちゅうかんき 中間期 もくひょう 目標	もくひょう 目標
しょうがいしゅべつ 障害種別 おうきゅうびちくぶつし 応急備蓄物資 れんけいじぎょう 連携事業	しょうがいとくせい おう おうきゅう びちくぶつし 障害特性に応じた応急備蓄物資について、 ひ つづ ほかん ふきゅう けいはつ 引き続き保管できるように、普及・啓発 じっし を実施します。	ひ つづ ようそうぐ ほかん 引き続き、ストーマ用具の保管ができるよ う、せいび ふきゅう けいはつ おこな う、整備や普及・啓発を行っていきます。	じっし 実施	じっし 実施
しょうがいふくし 障害福祉サービス じぎょうしよとう 事業所等における サービス提供等 けいぞくしえん 継続支援 ⑨	しょうがいふくし じぎょうしよとう たい 障害福祉サービス事業所等に対して、 へいじょうじ かんせんしやう りゆうこう そな 平常時から、感染症の流行に備え、 えいせいぶつびんとう びちく じぎょうけいぞくけいかく さくてい 衛生物品等の備蓄、事業継続計画の策定 ひつよう じゅんび ふきゅうけいはつ おこな など必要な準備について、普及啓発を行 います。また、緊急時にはサービス提供 きんきゆうじ ていきよう 等々の継続に向けた支援を行います。	しょうがいふくし じぎょうしよとう たい とりくみ 障害福祉サービス事業所等に対する取組と かんせんぼうしだいさく かん じゅんかいほうもん して、感染防止対策に関する巡回訪問や、 じぎょうけいぞくけいかく さくていしえんとう おこな 事業継続計画の策定支援等を行います。 また、さくねんど ひ つづ きんきゆうじ また、昨年度に引き続き、緊急時にはサー ビス提供等の継続に向けた支援を行いま す。	けんとう 検討 ・ すいしん 推進	すいしん 推進

せいかつ ばめん はぐく まな
生活の場面3 育む・学ぶ

りょういく
3-1 療育

ちいきりょういく ちゅうしん しえん じゅうじつ
(1) 地域療育センターを中心とした支援の充実

じぎょうめい 事業名	じぎょうないよう 事業内容	もくひょう む 目標に向けた れいわ ねんど とりくみないよう 令和3年度の取組内容	ちゅうかんき 中間期 もくひょう 目標	もくひょう 目標
ちいきりょういく 地域療育センター うんえいじぎょう 運営事業	しょうがい うたが じどう 障害がある、またはその疑いのある児童 せんもんせい たか ひょうか しえんけいかく もと に、専門性の高い評価や支援計画に基づ しゅうだんりょういく ほいくしょ ようちえん がっこう き、集団療育や保育所、幼稚園及び学校 じゅんかいほうもん ほごしゃしえんどう おこな への巡回訪問、保護者支援等を行います。 す。 くふくしほけん りょういくそうだん また、区福祉保健センターの療育相談への はけんどう おこな スタッフ派遣等を行います。	しょうがい うたが じどう 障害がある、またはその疑いのある児童 せんもんせい たか ひょうか しえんけいかく もと に、専門性の高い評価や支援計画に基づき、 しゅうだんりょういく ほいくしょ ようちえんおよ がっこう 集団療育や保育所、幼稚園及び学校への じゅんかいほうもん ほごしゃしえんどう おこな 巡回訪問、保護者支援等を行います。 また、くふくしほけん りょういくそうだん 区福祉保健センターの療育相談への はけんどう おこな スタッフ派遣等を行います。	すいしん 推進	すいしん 推進

き め しえんたいせい じゅうじつ
(2) 切れ目のない支援体制の充実

じぎょうめい 事業名	じぎょうないよう 事業内容	もくひょう む 目標に向けた れいわ ねんど とりくみないよう 令和3年度の取組内容	ちゅうかんき 中間期 もくひょう 目標	もくひょう 目標
ちいきくんれんかい 地域訓練会 うんえいひじよせいじぎょう 運営費助成事業	しょうがいじ ほごしゃどう じしゅてき そしき ちいき 障害児の保護者等が自主的に組織し、地域 きのうかいふくくんれん ほいく おこな ちいき で機能回復訓練や保育を行う、地域 くんれんかい うんえいひ じよせい 訓練会の運営費を助成します。	ちいきくんれんかい さんか いぎ わ 地域訓練会への参加意義を分かりやすく しゅうち しゅうち さんかそくしん はか 周知することなどにより、参加促進を図れる よう、よこはまししゃかいふくしきょうざikai くやくしょどう 横浜社会福祉協議会や区役所等と けんどう とく 検討し、取り組んでいきます。	すいしん 推進	すいしん 推進

じぎょうめい 事業名	じぎょうないよう 事業内容	もくひょう む 目標に向けた れいわ ねんど とりくみないよう 令和3年度の取組内容	ちゅうかんき 中間期 もくひょう 目標	もくひょう 目標
ペアレントトレーニング実施者の養成 <small>じっししゃ ようせい</small> (新)	<small>こ ほんにん しえん あ じゅうよう</small> 子ども本人への支援と合わせて重要であ <small>ほごしゃ しえん おも しょうがいじつうしょ</small> る保護者への支援として、主に障害児通所 <small>しえんじぎょうしょどう しょくいん たい</small> 支援事業所等において、職員に対しペア <small>じっししゃようせいけんしゅう</small> レントトレーニング実施者養成研修を行 います。	<small>がつ がつ じぎょうしょしょくいん たい けんしゅう</small> 8月～9月に事業所職員に対する研修を <small>かいさい がつ がつ けんしゅう う しょくいん</small> 開催し、10月～2月に研修を受けた職員に <small>かくじぎょうしょ ほごしゃ</small> より各事業所において保護者にトレーニン <small>じっし</small> グを実施します。	すいしん 推進	すいしん 推進

(3) 学齢障害児に対する支援の充実
がくれいしょうがいじ しえん じゅうじつ

じぎょうめい 事業名	じぎょうないよう 事業内容	もくひょう む 目標に向けた れいわ ねんど とりくみないよう 令和3年度の取組内容	ちゅうかんき 中間期 もくひょう 目標	もくひょう 目標
<small>がくれいこうきしょうがいじ しえん</small> 学齢後期障害児支援 <small>じぎょう</small> 事業	<small>がくれいこうき ちゅうがくせい こうこうせいねんだい はったつ</small> 学齢後期（中学生・高校生年代）の発達 <small>しょうがいじどう あんてい せいじんき むか</small> 障害児等が安定した成人期を迎えられる <small>じどう かぞくどう そうだん せんもんてき</small> よう、児童や家族等からの相談に専門的な <small>しどう じょげん おこな</small> 指導、助言を行います。 <small>かんけいきかん れんけい はったつしょうがい きいん</small> また、関係機関と連携し、発達障害に起因 <small>もんだい かいけつ む しえん おこな</small> する問題の解決に向けた支援を行います。	<small>かんけいきかん れんけいちょうせい おこな</small> 関係機関との連携調整を行いながら、4か <small>しよめ じぎょうじっし む じぎょう やくわり</small> 所目の事業実施に向け、この事業の役割・ <small>きのうとう かか ぐたいてき かだいせいり おこな</small> 機能等に係る具体的な課題整理を行いま す。	<small>しよ</small> 4か所	<small>しよ</small> 4か所

3-2 教育

(1) 療育と教育の連携による切れ目のない支援

<p>じぎょうめい 事業名</p>	<p>じぎょうないよう 事業内容</p>	<p>もくひょう む 目標に向けた 令和3年度の取組内容</p>	<p>ちゅうかんき 中間期 もくひょう 目標</p>	<p>もくひょう 目標</p>
<p>よこはまがた てき 横浜型センターの きのう じゅうじつ 機能の充実</p>	<p>ちいきりょういく とくべつしえんがっこう つうきゅう 地域療育センターや特別支援学校、通級 しどうきょうしつどう たんとうしゃ しょう ちゅうがっこう じ 指導教室等の担当者が、小・中学校や児 どうせいと ほごしゃ そうだん たいおう 童生徒、保護者からの相談に対応するなど、 とくべつ しえん ひつよう じどうせいと しえん 特別な支援が必要な児童生徒を支援します。</p>	<p>とくべつしえんきょういく 特別支援教育コーディネーターのスキルアッ プと組織化を進めるため、チーフコーディネ ターを中心とした協議会を充実します。</p>	<p>すいしん 推進</p>	<p>すいしん 推進</p>
<p>しゅうがくせつめいかい 就学説明会</p>	<p>とくべつしえんきょういく きぼう ようじ しゅうがく かん 特別支援教育を希望する幼児の就学に関 する説明会を開催します。</p>	<p>しんがた たいさく ともな かいじょうかくほ 新型コロナウイルス対策に伴い、会場確保が 困難となったこと、また、感染防止の観点から も集合型の説明会ではなく、特別支援教育に かかる就学説明の動画をホームページに掲載 することにより事業を実施します。</p>	<p>すいしん 推進</p>	<p>すいしん 推進</p>
<p>しゅうがく きょういくそうだん 就学・教育相談の たいせいきょうか 体制強化</p>	<p>ひとり きょういく てきかく はあく 一人ひとりの教育ニーズを的確に把握し、 じんそく てきせい しゅうがく きょういくそうだん おこな 迅速で適正な就学・教育相談を行うた めに関係機関が相互に連携しながら、就学 まえ そつぎょうご みとお そうだんたいせい 前から卒業後までを見通した相談体制の きょうか はか 強化を図ります。</p>	<p>しんがた かんせんぼうしたいさく ほか あんぜん 新型コロナウイルス感染防止対策を図り、安全 かつ、効率的に相談を行うとともに、待機期間 の短縮及び円滑な事業の推進を図ります。</p>	<p>すいしん 推進</p>	<p>すいしん 推進</p>
<p>ほごしゃきょうしつ 保護者教室 かいさいじぎょう 開催事業</p>	<p>よこはましりつしょう ちゅうがっこう とくべつしえんがっこう 横浜市立小・中学校、特別支援学校の ほごしゃ たいしょう しょうがい たい だ 保護者を対象とした障害に対する正しい ちしき けいはつ すず 知識の啓発を進めます。</p>	<p>れいわ ねんど じゅこうけいたい くふう かんせん 令和3年度は、受講形態を工夫するなど感染 防止対策を講じ、事業を実施します。</p>	<p>すいしん 推進</p>	<p>すいしん 推進</p>

じぎょうめい 事業名	じぎょうないよう 事業内容	もくひょう む 目標に向けた れいわ ねんど とりくみないよう 令和3年度の取組内容	ちゅうかんき 中間期 もくひょう 目標	もくひょう 目標
しりつ ようちえん とう とく べつ 私立 幼稚園 等 特別 しえんきょういくひほじよじぎょう 支援教育費補助事業	しりつ ようちえん とう ざいえん しょうがい じ たい 私立幼稚園等に在園している障害児に対す る教育が、障害の種類・程度などに応じて きょういく しょうがい しゅるい ていど おう てきせつ おこな けいひ いちぶ せっち 適切に行われるよう、その経費の一部を設置 しゃ ほじよ しょうがい じ きょういく やくだ 者に補助し、障害児の教育に役立てます。	とくべつしえんきょういくひほじよ たいしょうえんじすう じん 特別支援教育費補助の対象園児数は237人を みこ 見込んでいます。	すいしん 推進	すいしん 推進


きょういくかんきょう きょういくかつどう じゅうじつ
(2) 教育環境・教育活動の充実

じぎょうめい 事業名	じぎょうないよう 事業内容	もくひょう む 目標に向けた れいわ ねんど とりくみないよう 令和3年度の取組内容	ちゅうかんき 中間期 もくひょう 目標	もくひょう 目標
あいしーていー かつよう ICTを活用 した教育環境 の充実 ①	こ こ じどうせいと しょうがい じょうきょう じゅうぶん 個々の児童生徒の障害の状況を十分に ふ がくしゅうじょう せいかつじょう さまざま こんなん 踏まえ、学習上、生活上の様々な困難に たい あいしーていー かつよう しどう しえん 対し、ICTを活用した指導や支援を じゅうじつ きんきゅうじ 充実させるとともに、緊急時におけるオン ラインでの学習保障や動画コンテンツ配信 がくしゅうほうしょう どうが はいしん などについて、検討、実施します。	ぎ が こうそう ふ あいしーていーかんきょう GIGAスクール構想を踏まえ、ICT環境のさ らなる充実を進めるとともに、オンラインで がくしゅうどう じっし の学習等についても実施していきます。	じっし 実施	すいしん 推進

じぎょうめい 事業名	じぎょうないよう 事業内容	もくひょう お 目標に向けた れいわ ねんど とりくみないよう 令和3年度の取組内容	ちゅうかんき 中間期 もくひょう 目標	もくひょう 目標
しょうがいとくせい おう 障害特性に応じた きょういく じゅうじつ 教育の充実	こべつしえんがつきゅう くわ いっぱんがつきゅう 個別支援学級に加えて、一般学級におい とくべつ しえん よう じどうせいと ぞうか ても、特別な支援を要する児童生徒が増加し、 しえん たようか じょうきょう ふ 支援のニーズが多様化している状況を踏ま え、ケーススタディを重視した研修を充実 させます。全ての教員が障害の状態や とくせい おう しどう しえん せんもんせい 特性に応じた指導・支援が行えるよう専門性 こうじょう はか の向上を図ります。 しょう ちゅうがっこう きょういん とくべつしえんがっこう また、小・中学校の教員が特別支援学校 きょうゆめんきょじょう しゅとく じゅこうりょう 教諭免許状を取得するための受講料 じよせいじぎょう あら じっし 助成事業を新たに実施します。	すべ きょういん しょうがい じょうたい とくせい おう 全ての教員が障害の状態や特性に応じた しどう しえん おこな けんしゅう じゅうじつ 指導・支援が行えるよう、研修を充実させま す。また、しょう ちゅうがっこう きょういん とくべつしえんがっこう 小・中学校の教員が特別支援学校 きょうゆめんきょじょう しゅとく じゅこうりょう じよせい 教諭免許状を取得するための受講料を助成 します。	じっし 実施	じっし 実施

じぎょうめい 事業名	じぎょうないよう 事業内容	もくひょう む 目標に向けた れいわ ねんど とりくみないよう 令和3年度の取組内容	ちゅうかんき 中間期 もくひょう 目標	もくひょう 目標
とくべつしえんきょういく 特別支援教育 コー ディネーターの機能 きょうか 強化とスキルアップ	とくべつしえんきょういく ようせいけんしゅう 特別支援教育 コーディネーター養成研修 じゅこう かつどう とくべつしえんきょういく を受講して活動している特別支援教育 コ ーディネーター（教員）を たいしょう さら 対象に、更なる スキルアップを めざ じれいけんきゅう 目指して、事例研究などを ちゅうしん けんしゅう すず かんけい 中心とした研修を進めるとともに、関係 きかん れんけい きょうか せんもんてき ししつ たか 機関との連携を強化し、専門的な資質を高 めめます。	とくべつしえんきょういく ようせいけんしゅう 特別支援教育 コーディネーター養成研修に くわ じつむけいけん ねんいじょう たいしょう 加え、実務経験3年以上を対象としたブラッ シュアップ研修及び5年目以上を対象とし たスキルアップ研修を行い、さらなるせんもんせい の向上を図ります。また、チーフコーディネ ーター会議等において、けんしゅう じょうほうきょうゆう 研修・情報共有・ じれいけんとう すず 事例検討を進めます。 【実施予定】 ・コーディネーター養成研修 （5～11月/全12回/約300人受講） ・ブラッシュアップ研修 （10・11月/全2回/約500人受講） ・スキルアップ研修 （5～11月/全9回/約70人受講）	すいしん 推進	すいしん 推進
とくべつしえんきょういくしえんいん 特別支援教育支援員 じぎょう 事業	しょう ちゅう ぎ む きょういくがっこう しょうがい がく 小・中・義務教育学校で障害により学 しゅうめん せいかつめん あんぜんめん はいりよう ひつよう 習面、生活面や安全面への配慮等が必要 じどうせいと とくべつしえんきょういくしえんいん はいち な児童生徒に特別支援教育支援員を配置 こうないしえんたいせい じゅうじつ はか し、校内支援体制の充実を図ります。	しょうちゅうがっこうとう しょうがい 小中学校等において、障害などにより がくしゅうめん せいかつめんとう しえん ひつよう じどうせいと 学習面、生活面等への支援が必要な児童生徒 たい とくべつしえんきょういくしえんいん はいち に対し、特別支援教育支援員を配置します。	はいち 配置	はいち 配置

<p>じぎょうめい 事業名</p>	<p>じぎょうないよう 事業内容</p>	<p>もくひょう お 目標に向けた れいわ ねんど とりくみないよう 令和3年度の取組内容</p>	<p>ちゅうかんき 中間期 もくひょう 目標</p>	<p>もくひょう 目標</p>
<p>ちょうかくしょうがいじ 聴覚障害児 しえんじぎょう 支援事業</p>	<p>しょう ちゅう ぎ むきょういっくがっこう ざいせき ちょうかく 小・中・義務教育学校に在籍する聴覚 しょうがい じどうせいと 障害のある児童生徒にノートテイクによる じょうほう ほしょう じっし 情報の保障を実施します。</p>	<p>たいしょう じどうせいと 対象の児童生徒にノートテイクボランティア を派遣します。</p>	<p>じっし 実施</p>	<p>じっし 実施</p>
<p>じゅんかいがたしどう じっし 巡回型指導の実施 つうきゅうしどう による通級指導の じゅうじつ 充実</p>	<p>じどうせいと ざいせきこう じゅんかい しどう おこな 児童生徒の在籍校を巡回して指導を行う きょうどうがたじゅんかいがたしどう じっし 「協働型巡回型指導」を実施します。 つうきゅうしどう たんとうきょういん ざいせきこう ほうもん 通級指導の担当教員が在籍校を訪問し、 じどうせいと しどう じゅぎょうさんかん おこな 児童生徒の指導や授業参観を行うとともに がっきゅうたんにとん ちじょうてき じょうほう きょうゆう に、学級担任等と日常的に情報を共有 するなど、協働して学校生活を支援します。</p>	<p>あら こう つうきゅうしどう きょうしつせつちこう るいけい 新たに4校の通級指導教室設置校（累計8 校）において、協働型巡回指導を実施します。</p>	<p>じっし 実施</p>	<p>じっし 実施</p>
<p>いりょうてき たいせい 医療的ケア体制の じゅうじつ 充実</p>	<p>しょう ちゅう ぎ むきょういっくがっこう とくべつしえんがっこう 小・中・義務教育学校や特別支援学校に いりょうてき じっしたいせい じゅうじつ おける医療的ケアの実施体制を充実させま す。 とくべつしえんがっこう じんこうこきゅうきとうこうど 特別支援学校においては、人工呼吸器等高度 いりょうてき たいおう たいせい な医療的ケアにも対応できるよう、体制の きょうか ほか 強化を図ります。</p>	<p>しょうちゅうがっこうとう にちじょうてき かくたんきゅういん 小中学校等において日常的に喀痰吸引など いりょうてき ひつよう じどうせいと たい の医療的ケアが必要な児童生徒に対し、看護師 を派遣します。 とくべつしえんがっこう かんごし はいち 特別支援学校においては、看護師を配置すると ともに、ひきつづき じんこうこきゅうきとう こうど 引き続き、人工呼吸器等の高度な いりょうてき てきとく 医療的ケアにモデル的に取り組みます。</p>	<p>せいび 整備</p>	<p>せいび 整備</p>
<p>とくべつしえんがっこう 特別支援学校の じゅうじつ 充実</p>	<p>ざいせきじどうせいと しょうがい たようか じゅうどか 在籍児童生徒の障害の多様化・重度化・ じゅうふくか ふ きょういっくかてい じゅうじつ しせつ 重複化を踏まえ、教育課程の充実、施設 せつび かいしゅう ふくししゃりよう かつよう つうがく 設備の改修や、福祉車両の活用など通学 しえん あら ほうさく けんとう しこう きょういっくかん 支援の新たな方策の検討・試行など教育環 きょう じゅうじつ とく 境の充実に取り組みます。</p>	<p>たよう じどうせいとひとり 多様な児童生徒一人ひとりのニーズを踏まえ、 きょういっくかんきょう じゅうじつ ひ つづ とく 教育環境の充実に引き続き取り組みます。 また、いりょうてき ひつよう じどうせいと つうがくしえん 医療的ケアが必要な児童生徒の通学支援 の試行にも引き続き取り組みます。</p>	<p>すいしん 推進</p>	<p>すいしん 推進</p>

じぎょうめい 事業名	じぎょうないよう 事業内容	もくひょう む 目標に向けた れいわ ねんど とりくみないよう 令和3年度の取組内容	ちゅうかんき 中間期 もくひょう 目標	もくひょう 目標
じゅうどほうもんかいごりようしゃ 重度訪問介護利用者 だいがくしゅうがくしえん の大学修学支援 じぎょう 事業 	じゅうどほうもんかいご りよう じゅうどしょうがいしゃ だい 重度訪問介護を利用する重度障害者が大 がく しゅうがく しえん じっし 学で修学するための支援を実施します。	だいがくどう じゅうどしょうがいしゃ しゅうがく 大学等において重度障害者が修学するた め に必要の支援体制が構築されるまで、進学を ひつよう しえんたいせい こうちく 希望する人が本制度を利用し安心して修学が できるよう、引き続き円滑な事業運営を行っ ていきます。	すいしん 推進	すいしん 推進

きょういく しゅうろう しえん
(3) 教育から就労への支援

じぎょうめい 事業名	じぎょうないよう 事業内容	もくひょう む 目標に向けた れいわ ねんど とりくみないよう 令和3年度の取組内容	ちゅうかんき 中間期 もくひょう 目標	もくひょう 目標
とくべつしえんがっこう 特別支援学校 しゅうろうしえんじぎょう 就労支援事業	しょうがいしゃしゅうろうしえん どうかんけいきかん れん 障害者就労支援センター等関係機関と連 けい せいと しゅうろう しえん 携しながら、生徒の就労を支援します。 また、実習先開拓や職場定着支援のため、 じっしゅうさきかいたく しょくばていちゃくしえん こうとうとくべつしえんがっこう わかばだいとくべつしえんがっこう ち 高等特別支援学校（若葉台特別支援学校知 てきしょうがいきょういくぶもん ふく しゅうろうしえん 的障害教育部門を含む）に就労支援 しどういん はいち 指導員を配置します。	こうとうとくべつしえんがっこう ひのちゅうおう ふた ぼし わかばだい 高等特別支援学校（日野中央、二つ橋、若葉台 ちてきしょうがいきょういくぶもん こう ひとりずつ しゅうろう 知的障害教育部門）の3校に一人ずつ就労 しえんしどういん はいち せいと しゅうろう しえん 支援指導員を配置し、生徒の就労を支援しま す。	すいしん 推進	すいしん 推進
とくべつしえんがっこう 特別支援学校 しんろたんどうかん 進路担当間 れんけいきょうか の連携強化	しりつとくべつしえんがっこう しんろたんどうしゃ しょうがい 市立特別支援学校の進路担当者が障害 しゅべつ こ ていきてき じょうほうこうかん じれい 種別を超えて定期的に情報交換や事例 けんきゅう おこな はばひろ しんろせんたく たいおう 研究を行い、幅広い進路選択に対応でき るよう連携を強化します。	しんろたんどうしゃれんらくかいどう じっし がっこうかん れんけい 進路担当者連絡会等を実施し、学校間の連携 きょうか 強化につなげます。	すいしん 推進	すいしん 推進

せいかつ ばめん はたら たの
生活の場面4 働く・楽しむ

しゅうろう
4-1 就労

いっばんしゅうろう そくしん こよう ご ていちゃくしえん じゅうじつ
(1) 一般就労の促進と雇用後の定着支援の充実

じぎょうめい 事業名	じぎょうないよう 事業内容	もくひょう む 目標に向けた れいわ ねんど とりくみないよう 令和3年度の取組内容	ちゅうかんき 中間期 もくひょう 目標	もくひょう 目標
しゅうろうしえん 就労支援センター を中心とした、地域 における就労支援 ネットワークの構築	しょうがいしゃ しゅうろう さぎ かんけいきかん とくべつし 障害者の就労を支える関係機関（特別支 えんがっこう しゅうろうい こうしえんじぎょうしよ 援学校、就労移行支援事業所、ハローワ ーク等）との連携・協力体制を構築しま す。就労の継続に欠かせない生活面でのサ ポートを充実させるため、地域の関係機関 と連携し、本人への支援を円滑に進めま す。	しゅうろうしえん ちゅうしん とくべつしえん 就労支援センターを中心として、特別支援 がっこうやハローワーク、医療機関との研修会や れんらくかい じっし 連絡会を実施します。	すいしん 推進	すいしん 推進
さいけい 【再掲】 しゅうろうしえん 就労支援センター しよくいん じんざいいくせい 職員の人材育成	たよう しゅうろう たいおう 多様な就労ニーズに対応できるよう、 しゅうろうしえん こうじょう けんしゅう 就労支援スキルを向上させるため、研修 の実施など、人材育成を進めます。	かく センター間で支援員の人事交流を行い、 しえんしゅほうどう きょうゆう おこな 支援手法等の共有を行います。また、センタ ー共通で使用する人材育成シートを作成し、 たようか こうどか たいおう 多様化・高度化するニーズへ対応するため、 しえん しつ たか 支援の質を高めます。	すいしん 推進	すいしん 推進
さいけい 【再掲】 しゅうろうそくしん もくてき 就労促進を目的と した事業所職員向 け研修	しょうがいしゃこよう おこな きぎょう しゅう 障害者雇用を行っている企業での「就 ぎょうたいけん けんしゅう つう じぎょうしよしよくいん 業体験」の研修を通じて、事業所職員 の就労支援スキルの向上、就労に向けた いしきつ 意識付けにつなげます。	しな いしゅうろうしえんじぎょうしよしよくいん たいしゅう きぎょうどう 市内就労支援事業所職員を対象に、企業等で の じっしゅう けんがく つう きぎょう しょうがい 実習や見学を通じて、企業で障害のある 社員が担当する仕事内容や求められる職業 のうりよくおよ きぎょう いくせいほうほうどう まな きかい もう 能力及び企業の育成方法等を学ぶ機会を設け ます。	すいしん 推進	すいしん 推進

じぎょうめい 事業名	じぎょうないよう 事業内容	もくひょう む 目標に向けた れいわ ねんど とりくみないよう 令和3年度の取組内容	ちゅうかんき 中間期 もくひょう 目標	もくひょう 目標
こようしさく ふくししさく 雇用施策と福祉施策 れんけい の連携による じゅうどしょうがいしゃとう 重度障害者等への しゅうろうしえん 就労支援 じゅうどしょうがいしゃとう (重度障害者等 しゅうろうしえんとくべつじぎょう 就労支援特別事業) 新	ほうてい たいしょうがい じゅうど 法定サービスでの対象外となっている重度 しょうがいしゃ けいざいかつどう じかんちゅう しえん こよう 障害者の経済活動時間中の支援を雇用 しさく ふくししさく れんけい おこな せいど けんとう 施策と福祉施策が連携して行う制度を検討 じっし し、実施します。	かんけいじぎょうしょ とう もと せいどこうちく 関係事業所へのアンケート等を基に、制度構築 にお けんとう すず に向けた検討を進めていきます。	けんとう 検討 ・ じっし 実施	けんとう 検討 ・ じっし 実施

(2) 幅広い仕事や工賃の向上による生活の充実

じぎょうめい 事業名	じぎょうないよう 事業内容	もくひょう む 目標に向けた れいわ ねんど とりくみないよう 令和3年度の取組内容	ちゅうかんき 中間期 もくひょう 目標	もくひょう 目標
きょうどうじゅちゅう 共同受注センター とう じゅちゅうそくしん 等による受注促進	きぎょう ぎょうせいきかん じぎょうしょ とくせい い 企業・行政機関から、事業所の特性を生 かした幅広い仕事の受注ができるよう、コ ーディネートを行います。 しない どう しゅってん じしゅせいひん 市内イベント等への出店や自主製品の しょうかいとう つう はんろ かくだい 紹介等を通じ、販路を拡大するとともに、 しょうがいしゃしゅうろう りかいそくしん ほか 障害者就労への理解促進を図ります。	きょうどうじゅちゅう しないしょうがいしゃせつとう 共同受注センターでは市内障害者施設等の とうろく すず さぎょうないようとう じょうほう しゅうやく 登録を進め、作業内容等の情報を集約し、ウ ェブサイトで周知していきます。 じゅちゅうそくしん きぎょうかいたく はんろかいたく おこな 受注促進のための企業開拓や販路開拓を行 い、登録事業所の特性を活かした受注調整を すす 進めます。 ほか とりくみ しない とう その他の取組として、市内イベント等において じぎょうしょ さんか きかい ふ しょうがいしゃしゅうろう 事業所が参加する機会を増やし、障害者就労 への理解促進を図ります。	すいしん 推進	すいしん 推進

じぎょうめい 事業名	じぎょうないよう 事業内容	もくひょう む 目標に向けた れいわ ねんど とりくみないよう 令和3年度の取組内容	ちゅうかんき 中間期 もくひょう 目標	もくひょう 目標
じぎょうしょ じゅちゆう 事業所の受注スキ ルの向上 (新)	はっちゅうしゃがわ こた しょうひん かい 発注者側のニーズに応えられる商品の開 はつ さぎょう じゅちゆう けんしゅうかい 発や作業の受注ができるよう、研修会や モデルケースとなる事例検討などを実施し、 じぎょうしょ じゅちゆう こうじょう はか おお 事業所の受注スキルの向上を図り、多く の受注につながります。	民間企業との連携による販売支援や研修会の 開催等を通じて、事業所の受注スキル向上を 図ります。	すいしん 推進	すいしん 推進
ゆうせんちようたつ すいしん 優先調達の推進	よこはま しやくしょ じぎょうしょ ゆうせんてき 横浜市役所からの事業所への優先的な 発注を更に推進します。 また、庁内LANなどを活用し、区局等の 発注事例を広く周知し、新たな発注に つながります。	優先調達方針に基づく調達目標等の達成に 向け、発注事例を庁内会議等の場を通じて 周知するとともに、複数部署で発注可能な 類似事例を紹介するなどの発注の促進を行 います。	すいしん 推進	すいしん 推進

(3) 多様な働き方や障害者就労に対する理解促進

じぎょうめい 事業名	じぎょうないよう 事業内容	もくひょう む 目標に向けた れいわ ねんど とりくみないよう 令和3年度の取組内容	ちゅうかんき 中間期 もくひょう 目標	もくひょう 目標
しょうがいしゃしゅうろう 障害者就労に 関する市民啓発	シンポジウムの開催等を通じ、様々な分野 で働く障害者や障害者雇用を進めてい る企業の「生の声」を伝え、障害者就労 に対する理解・関心を高めます。	「働きたい！わたしのシンポジウム」を開催 (1月予定)し、当事者や家族等の就労への 理解を促進し、様々な働き方の周知や支援 機関の紹介等を通じて、働くきっかけづくり 等を行います。	すいしん 推進	すいしん 推進

<p>じぎょうめい 事業名</p>	<p>じぎょうないよう 事業内容</p>	<p>もくひょう お 目標に向けた れいわ ねんど とりくみないよう 令和3年度の取組内容</p>	<p>ちゅうかんき 中間期 もくひょう 目標</p>	<p>もくひょう 目標</p>
<p>しょうがいしゃこよう 障害者雇用 かん きぎょうけいはつ に関する企業啓発</p>	<p>しょうがいしゃこよう けんどう きぎょう む 障害者雇用を検討している企業に向けて、 こよう かん どう じっし ごうりてき 雇用に関するセミナー等を実施し、合理的 はいりよ ひつようせい きぎょうない しょうがいりかい 配慮の必要性など企業内での障害理解の そくしん はか 促進を図ります。</p>	<p>しえんきかん かながわけん れんけい きぎょうむ 支援機関や神奈川県と連携した企業向けセミ ナーを開催し、障害者雇用に関する情報 ていきょう こようじれい しょうかい おこな 提供や雇用事例の紹介を行います。 また、きぼう きぎょう たい しょうがいしゃこよう 希望する企業に対して、障害者雇用の けいはつ かん だまこざどう じっし 啓発に関する出前講座等を実施します。</p>	<p>すいしん 推進</p>	<p>すいしん 推進</p>
<p>ふれあいショップ等 かつよう しょうがいしゃ を活用した障害者 しゅうろう かん りかい 就労に関する理解 そくしん 促進 ①</p>	<p>あら かいぎょう じえいあーかんないえききたぐちこうかした 新たに開業する J R 関内駅北口高架下 しゅうろうけいはつしせつおよ しちょうしゃない の就労啓発施設及び市庁舎内のふれあい ショップをはじめ、既存のふれあいショップ どう うんえい つう しゅうろう かん りかい 等の運営を通じて、就労に関する理解の そくしん はか 促進を図ります。</p>	<p>しんきかいぎょうてんぼおよ きそん 新規開業店舗及び既存のふれあいショップの うんえいじょうきょう ちくじじょうほうきょうゆう てんぼかん 運営状況を逐次情報共有し、店舗間のネッ トワーク形成等を目的としたふれあいショッ プ店長会等を開催します。</p>	<p>すいしん 推進</p>	<p>すいしん 推進</p>

4-2 日中活動

にっちゅうかつどう

(1) 日中活動場所の選択肢の充実

にっちゅうかつどうばしょ せんたくし じゅうじつ

4-3 スポーツ・文化芸術

ぶんかけいじゆつ

(1) スポーツ活動の推進

かつどう すいしん

<p>じぎょうめい 事業名</p>	<p>じぎょうないよう 事業内容</p>	<p>もくひょう む 目標に向けた れいわ ねんど とりくみないう 令和3年度の取組内容</p>	<p>ちゅうかんき 中間期 もくひょう 目標</p>	<p>もくひょう 目標</p>
<p>しょうがいしゃ 障害者スポーツの けいはつ りかい そくしん 啓発と理解の促進</p>	<p>とうきょう たか かんしん 東京2020パラリンピックにより高まる関心 しょうがいしゃ ふきゆうけいはつ を障害者スポーツの普及啓発につなげるた め、しょうがいしゃ ぶん か よこはまし め、障害者スポーツ文化センターや横浜市 きょうかい ちいき さまざま だんたいとう スポーツ協会、地域の様々な団体等と れんけい しょうがいしゃ すその ひろ 連携し、障害者スポーツの裾野を広げる とりくみ おこな しょうがいしゃ 取組を行うとともに、障害者スポーツを つう しょうがい りかいそくしん はか 通じた障害への理解促進を図ります。</p>	<p>しょうがいしゃ ぶん か よこはまし 障害者スポーツ文化センター（横浜ラポール・ ラポール上大岡）で、さまざまな機会を捉え、 しょうがいしゃ たいけんかい きょうしつどう じっし 障害者スポーツの体験会や教室等を実施し ていきます。</p>	<p>すいしん 推進</p>	<p>すいしん 推進</p>
<p>みぢか ちいき 身近な地域における しょうがいしゃ 障害者スポーツの すいしん 推進</p>	<p>ひ つづ しょうがいしゃ みぢか ちいき 引き続き、障害者が身近な地域でスポーツ と く かくく に取り組めるよう、各区のスポーツセンター ちゅうとしょうがいしゃちいきかつどう どう れんけい や中途障害者地域活動センター等と連携 し、ちいき じんざいいくせい すす しょうがい 地域の人材育成を進めながら、障害 しゃ すいしん はか 者スポーツの推進を図ります。</p>	<p>ちゅうとしょうがいしゃちいきかつどう よこはまし 中途障害者地域活動センター、横浜市スポー ツ協会等と連携し、障害のある人の身近な ちいき しょうがいしゃ とりくみ すいしん 地域での障害者スポーツの取組を推進してい きます。また、しょうがいしゃ しゅうちかつどう 障害者スポーツの周知活動、ス ポーツボランティア養成講座や初級障害者 しどういんけんしゅうかいどう じっし どお スポーツ指導員研修会等の実施を通して、 しえんしゃ しどうしゃ じんざいいくせい すす 支援者・指導者の人材育成を進めていきます。</p>	<p>すいしん 推進</p>	<p>すいしん 推進</p>

ぶん か げいじゅつかつどう すいしん
 (2) 文化芸術活動の推進

じぎょうめい 事業名	じぎょうないよう 事業内容	もくひょう む 目標に向けた れいわ ねんど とりくみないよう 令和3年度の取組内容	ちゅうかんき 中間期 もくひょう 目標	もくひょう 目標
しょうがいしゃ 障害者の ぶんかげいじゅつかつどう 文化芸術活動の しえん 支援	かいさい かつどう ささ じん アートイベントの開催や、活動を支える人 ざい いくせい さまざま だんたいどう れんけい ぶんか 材の育成、様々な団体等と連携した文化 げいじゅつかつどう ば そうしゅつ と く 芸術活動の場の創出に取り組みます。	げいじゅつさい てんらんかいどう かいさい つう かつどう ささ 芸術祭や展覧会等の開催を通じて、活動を支 える人材の育成や文化芸術活動の場の創出を すす 進めていきます。	すいしん 推進	すいしん 推進
しょうがいしゃ 障害者の ぶんかげいじゅつかんしょう 文化芸術鑑賞の しえん 支援 (新)	さまざま だんたいどう れんけい しょうがい とくせい おう 様々な団体等と連携し、障害の特性に応 じた鑑賞の機会の充実、円滑な施設利用 かんしょう きかい じゅうじつ えんかつ しせつりよう のための環境整備、活動を支える人材の いくせいどう と く 育成等に取り組みます。	よこはまのうがくどう 横浜能楽堂において「バリアフリー能」を実施 します。	すいしん 推進	すいしん 推進
ぶんかげいじゅつ 文化芸術による ちいききょうせいしゃかい じつげん 地域共生社会 実現 む とりくみ すいしん に向けた取組の推進 (新)	かんけいきかん れんけい ふか ぶんか げいじゅつたいけん 関係機関との連携を深め、文化芸術体験 こうえん てんじどうかんしょう ぶんか げいじゅつかつどう や公演・展示等鑑賞の文化芸術活動を とお しょうがい だれ 通して、障害のあるなしにかかわらず誰も たが たいどう たちば かか あ すす が互いに対等な立場で関わり合うことを進 かつどう そくしん める活動を促進します。	しょうがいしゃしせつ れんけい ・障害者施設とアーティストの連携により、 しょうがいしゃ げいじゅつかつどう しえん 障害者の芸術活動を支援します。 しみん ・市民ギャラリーあざみ野での「フェローア トギャラリー」を推進します。 ・「ヨコハマ・パラトリエンナーレ」のレガシ ーを継承するとともに、障害のある人の創作 かつどう ささ じんざい いくせい 活動を支える人材を育成します。 だんす だんす だんす あつと よこはまにーまるにーいち ・Dance Dance @ YOKOHAMA 2021に おいて、市内特別支援学校でのダンスワークシ ョップを開催し、有志生徒による発表の場を もう 設けます。	すいしん 推進	すいしん 推進

じぎょうめい 事業名	じぎょうないよう 事業内容	もくひょう お 目標に向けた れいわ ねんど とりくみないよう 令和3年度の取組内容	ちゅうかんき 中間期 もくひょう 目標	もくひょう 目標
かしょう どくしょ (仮称) 読書バリア フリー法に基づく横 浜市計画の策定、推 進 ⑨	どくしょ ほう もと ちほうこうきょう 読書バリアフリー法に基づく、地方公 共 だんたい けいかく さくてい けいかく もと 団体の計画として策定し、計画に基づく とりくみ すいしん 取組を推進します。	しな い しやうがいしゃだんたい せんもんできちけん ゆう がいぶ 市内の障害者団体や専門的知見を有する外部 かんけいしゃ こうせい かいぎ かいさい どくしょ 関係者で構成された会議を開催し、読書バリア フリー法に基づく本市取組の方向性について きょうぎ けいかくさくてい さんこう 協議いただき、計画策定の参考とします。あわ せて、庁内の関係課を集めた会議を開催し、 かんれんしさく じっしじょうきょう かくにん こんご とりくみ 関連施策の実施状況の確認や今後の取組の ほうこうせい けんどう 方向性を検討します。	さくてい 策定 ・ すいしん 推進	すいしん 推進

しょうがいしゃしきくすいしんきょうぎかい
障害者施策推進協議会
れいわ 3 ねん 6 がつ 30 にち
令和 3 年 6 月 30 日
しょうがいせさくすいしんか
障害者施策推進課
しょうがいしゃこうせいそうだんしょ
障害者更生相談所
こころの健康相談センター

カード様式障害者手帳の交付について（報告）

1 趣旨

よこはまし
横浜市では、カード様式の障害者手帳発行に向けて準備を進めてまいりました。6月からカード様式手帳を希望された方へ順次カード様式手帳をお渡ししています。

ようしきへんこう
・様式変更のみの方のお渡しにあたっては、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、区役所窓口ではなく郵送で行っています。

がつ にち
・6月1日からは、障害者手帳の新規申請や、再認定・再判定・更新などの手続きの際に、カード様式を選択できるようになりました。

げんざい
・現在、障害者手帳による割引制度を受けられる交通機関や施設等の事業者にカード様式手帳を周知しています。

こんねんど
・今年度から同様にカード化を始める予定の近隣自治体とも協力し、広報を行っていきます。

【参考】

カード様式申請者数

せんこうしんせい
先行申請（令和3年1月～3月） 2,763件

がついこう
4月以降（4月30日時点） 274件

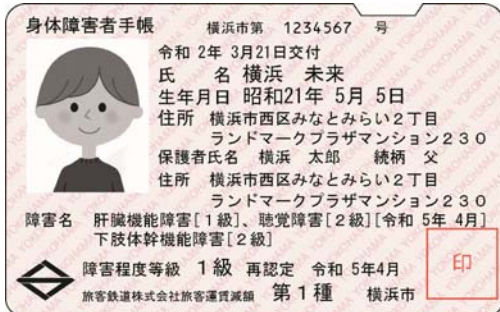
【手帳のカード化について】

こうせいろうどうしやうれい
厚生労働省令が平成31年4月に改正され、カード様式の障害者手帳を発行できることとなりました。（従来の紙製手帳との選択）これにより、障害者手帳の耐久性や携帯性が高まることとなります。

りめん
裏面あり

2 カード様式手帳の特徴

身体障害者手帳 (ピンク色)



【備考】

注)住所や氏名が変わったときは、速やかに変更の届出を提出してください。

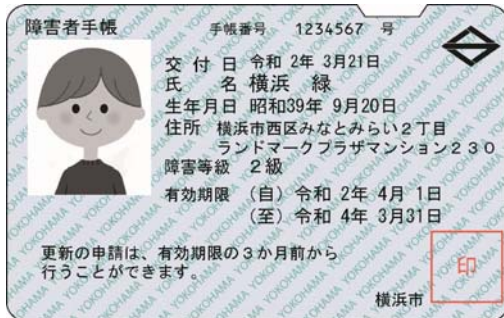
愛の手帳 (療育手帳) (クリーム色)



【備考】

注)住所や氏名が変わったときは、速やかに変更の届出を提出してください。

精神障害者保健福祉手帳 (水色)



精神保健及び精神障害者福祉に関する法律第45条の保健福祉手帳

更新 (自)	(至)
更新 (自)	(至)

【備考】

注)住所や氏名が変わったときは、速やかに変更の届出を提出してください。

- ・プラスチック製のカードで、耐久性が高まるとともに、携帯しやすくなります。
- ・カードに切り欠き加工を入れるほか、き章 (ハママーク) 部分は浮き出し加工となっています。
- ・顔写真はモノクロになり、サイズは22mm×27mmになります。(紙様式より少し小さくなります。)

れいわ ねん がつ
◇令和3年10月から

しょうがい かた いどうし えんせいど かくじゅう
障害がある方の移動支援制度を拡充します◇ R3.6

こうきょうこうつうきかん がいしゅつ こんなん じゅうど しょうがい かた たい いどう
公共交通機関での外出が困難な重度の障害がある方に対して、移動の
せんたくし ひろ せいど かくじゅう はか
選択肢を広げるため、制度の拡充を図ります。

ふくしたくしーりようけん たいしょうしゃ かくだい
福祉タクシー利用券の対象者の拡大

さいいじょう がいとう しんたいしょうがいしゃてちょう こうふ かた ふくしたくしーりようけん えら
65歳以上で該当の身体障害者手帳を交付された方も「福祉タクシー利用券」を選ぶことが
できるようになります。

ふくしたくしーりようけん
福祉タクシー利用券とは？

かながわけんか うんこう すべ たくしーとうじょうしゃじ うんちん げいしゃりょう じょうこうかいじりょうとう
神奈川県下を運行するほぼ全てのタクシー等乗車時に運賃や迎車料、乗降介助料等に
りよう
利用できる、1枚500円の券です。10月から翌年9月末までの1年間で84枚を交付します。
まい えん けん がつ よくねん がつまつ ねんかん まい こうふ
1回の乗車で7枚まで利用できます。

よこはましほーむぺーじ
■横浜市ホームページ

よこはましふくしたくしーりようけん
横浜市福祉タクシー利用券

しょうさい うえぶさいと さんしょう
詳細はWEBサイトを参照してください。



しょうがいしゃじどうしゃねんりようけん しんせつ
障害者自動車燃料券の新設

しょうがい かた ほんにん かぞくとう しょうゆ じかようしゃ にりん のぞ ねんりようひ じよせい
障害がある方ご本人、またはご家族等が所有する自家用車（二輪を除く）の燃料費を助成
するため、新たに「障害者自動車燃料券」を選ぶことができるようになります。

しょうがいしゃじどうしゃねんりようけん
障害者自動車燃料券とは？

ほんし けいやく がそりんすたんど じぜん とうろく しゃりょう がそりんとう きゅうゆ
本市と契約しているガソリンスタンドで、事前に登録した車両にガソリン等を給油
さい りよう さい えん けん がつ よくねん がつまつ ねんかん
する際に利用できる、1枚1,000円の券です。10月から翌年9月末までの1年間で
まい こうふ
24枚を交付します。

りようかのう がそりんすたんど ほんしほーむぺーじ かくにん
利用可能なガソリンスタンドは、本市ホームページでご確認ください。

よこはましほーむぺーじ
■横浜市ホームページ

よこはまししょうがいしゃじどうしゃねんりようけん
横浜市障害者自動車燃料券

しょうさい うえぶさいと さんしょう
詳細はWEBサイトを参照してください。



たいしょうしゃ 対象者

い か がいとう し ない す かた
以下のいずれかに該当する、市内にお住まいの方

か し たいかん しかく ないぶしょうがい ふく きゅう しんたいしょうがいしゃてちょう も かた
◇下肢、体幹、視覚、内部障害のいずれかを含む1・2級の身体障害者手帳を持っている方

あい てちょう りょういくてちょう も かた しょうがいしゃこうせいそうだんしょ じどうそうだんじょ
◇愛の手帳（療育手帳）A1・A2を持っている方、または障害者更生相談所、児童相談所で
ちのうしすう い か はんてい かた
知能指数35以下と判定された方

か し たいかん しかく ないぶしょうがい ふく きゅう しんたいしょうがいしゃてちょう も かた
◇下肢、体幹、視覚、内部障害のいずれかを含む3級の身体障害者手帳を持っている方の
あい てちょう りょういくてちょう も かた しょうがいしゃこうせいそうだんしょ じどうそうだんじょ
うち、愛の手帳（療育手帳）B1を持っている方または障害者更生相談所・児童相談所で
ちのうしすう い か はんてい かた
知能指数50以下と判定された方

せいしんしょうがいしゃほけんふくしてちょう きゅう も かた
◇精神障害者保健福祉手帳1級を持っている方
じよせいがく えら

助成額（いずれかを選ぶことができます）

ふくしたくしーりょうけん えら ばあい ねんがく えん えんけん まい
◇福祉タクシー利用券を選ばれた場合：年額42,000円（500円券×84枚）

がついこう しんせい ばあい ゆうこうきかん のこ つきすう まい こうふ
※11月以降の申請の場合は有効期間の残り月数×7枚を交付します。

じんぞうきのうしょうがい じんこうとうせき しゅう かいじょうつういん かた ねんがく えん えんけん まい
※腎臓機能障害で人工透析に週3回以上通院している方は年額84,000円(500円券×168枚)

しょうがいしゃじどうしゃねんりょうけん えら ばあい ねんがく えん えんけん まい
◇障害者自動車燃料券を選ばれた場合：年額24,000円（1,000円券×24枚）

がついこう しんせい ばあい ゆうこうきかん のこ つきすう まい こうふ
※11月以降の申請の場合は有効期間の残り月数×2枚を交付します。

じんぞうきのうしょうがい じんこうとうせき しゅう かいじょうつういん かた ねんがく えん えんけん まい
※腎臓機能障害で人工透析に週3回以上通院している方は年額48,000円(1,000円券×48枚)

ちゅういじこう 【注意事項】

しょうがいしゃじどうしゃねんりょうけん ふくしたくしーりょうけん ふくしとくべつじょうしゃけん けいろうとくべつじょうしゃしょう
※①障害者自動車燃料券、②福祉タクシー利用券、③福祉特別乗車券、④敬老特別乗車証、
とくべつじょうしゃけん おやかていとう たいしょう けん
⑤特別乗車券（ひとり親家庭等が対象となるもの）は①～⑤のうちひとり1つの券を
りょう いじょう あわ りょう
利用することができます。2つ以上を併せてご利用いただくことはできません。

がつ にちいこうゆうこう てちょう も ばあい かくけん こうふ てちょう こうしん
※10月1日以降有効な手帳をお持ちでない場合は各券の交付はできませんので、手帳の更新が
ひつよう かた はや てつづ あたら てちょう こうふ あと もう こ
必要となる方はお早めにお手続きいただき、新しい手帳が交付された後でお申し込みください。

しょうがいしゃじどうしゃねんりょうけん ほんし けいやく がそりんすたんど りょう
※「障害者自動車燃料券」は本市と契約しているガソリンスタンドでのみ利用できます。

りょうかのう がそりんすたんど いちぶ かぎ ほんしほーむぺーじ かくにん
利用可能なガソリンスタンドは一部に限られますので、本市ホームページでご確認ください。

ふくしたくしーりょうけん かながわけんか いっぱん たくしー おおむ りょう
※「福祉タクシー利用券」は神奈川県下の一般のタクシーは概ね利用できるほか、

ふくしたくしー ふくしゅうしょううんそう りょう ばあい じぜん りょう
福祉タクシーや福祉有償運送でも利用できる場合があります。事前に利用できるかを

かくじぎょうしゃ かくにん ねが
各事業者の確認をお願いします。

【お問合せ】専用ダイヤル

れいわ ねん がつ にち れいわ ねん がつ にち どにちしゅくじつ ふく
(令和3年6月1日から令和3年7月9日まで ※土日祝日を含む)

でんわ ふあつくす
電話：0120-200-570 F A X：050-3451-1653

うけつけじかん ごぜん じ ぶん ごご じ
受付時間 午前8時30分から午後7時まで